



HP DesignJet Z6610 60 インチ プロダクシ
ョン プリンタ

HP DesignJet Z6810 42 インチ プロダクシ
ョン プリンタ

HP DesignJet Z6810 60 インチ プロダクシ
ョン プリンタ

ユーザー ガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する保証書の明示的な記載内容に限られます。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切の責任を負いません。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、および PostScript®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®*は、*Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

目次

1 はじめに	1
安全に関する注意事項	2
製品モデル	2
このガイドの使用	3
プリンタの主な機能	4
プリンタの主なコンポーネント	4
埋め込み Web サーバの主なコンポーネント	10
HP DesignJet Utility の主な機能	11
プリンタの印刷メニュー	11
プリンタをオン・オフする	12
2 接続およびソフトウェア手順	13
使用する接続方法を選択する	14
ネットワークに接続する (Windows)	14
ネットワークに接続する (Mac OS X)	15
プリンタソフトウェアのアンインストール	15
顧客の貢献プログラムとプリンタのその他のサービスを設定する	15
3 プリンタをカスタマイズする	17
フロントパネルの表示の言語を変更する	18
内蔵 Web サーバにアクセスする	18
内蔵 Web サーバの言語を変更する	18
HP DesignJet Utility へのアクセス	19
HP DesignJet Utility の言語の変更	19
スリープモード設定を変更する	19
ブザーをオン/オフにする	19
フロントパネルの表示のコントラストを変更する	20
測定単位を変更する	20
ネットワーク設定を構成する	20
グラフィック言語の設定を変更する	21
用紙の種類のリストのカスタマイズ	22
用紙が一致しない場合の動作の選択	23

4 使用方法 (用紙)	25
概要	26
ロールをスピンドルに取り付ける	31
ロールをプリンタに取り付ける	33
プリンタからロールを取り外す	34
巻き取りリールを使用する	35
用紙に関する情報を表示する	42
用紙送りのキャリブレーションを実行する	43
用紙プリセットのダウンロード	44
HP 純正以外の用紙を使用する	44
乾燥時間をキャンセルする	45
乾燥時間を変更する	45
用紙情報の印刷	46
用紙を給紙してカットする	46
用紙を保管する	47
用紙の注文	47
推奨しない用紙の種類	52
5 インク システムの取り扱い	53
インク システム コンポーネント	54
インク システムのヒント	57
インク システム コンポーネントの取り扱い	58
インク サプライの注文	77
6 印刷オプション	79
印刷ジョブを作成する	80
印刷品質の選択	81
試し印刷をする	82
高品質で印刷する	82
用紙サイズの選択	83
マージン オプションを選択する	84
印刷を拡大縮小する	85
印刷をプレビューする	86
16 ビット カラー イメージの印刷	86
重なった線の処理方法を変更する	86
切り取り線を印刷する	87
イメージを回転させる	87
グレー階調で印刷する	89
用紙を節約する	89
用紙を節約するためにジョブをネスティングする	89
インクを節約する	91

7 カラー マネージメント	93
色について	94
問題： コンピュータの世界での色	94
解決法： カラー マネージメント	95
Z6810 プリンタとカラー	97
Z6610 プリンタとカラー	101
カラーマネージメント オプション	105
カラー調整オプション	107
HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション	108
カラー エミュレーション モード	109
8 ジョブ キュー管理	113
埋め込み Web サーバのジョブ キュー ページ	114
ジョブのプレビュー	114
ジョブのキューをオフにする	115
ジョブキューの一時停止	115
キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する	115
キュー内のジョブの識別	115
キュー内の特定ジョブを優先させる	116
キューからジョブを削除する	116
キュー内のジョブを再印刷またはコピーする	116
ジョブのステータス メッセージ	116
9 プリンタの使用状況に関する情報を取得する	119
プリンタのアカウント情報	120
プリンタの使用状況に関する情報を確認する	120
ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する	120
10 実際の印刷の例	123
概要	124
Adobe PhotoShop CS4 での画像のリサイズ	124
Photoshop CS2 でのカラー写真の印刷	126
正しい倍率で試し印刷する	128
一貫したカラーでジョブを再印刷する	130
ESRI ArcGIS 9 を使用してマップを印刷する	132
11 プリンタの保守	135
プリンタ外観のクリーニング	136
プラテンのクリーニング	136
用紙送りセンサーの窓をクリーニングする	137
プリントヘッドキャリッジを潤滑する	138
インクカートリッジをメンテナンスする	139

予防保守を実行する	139
プリンタを移動または保管する	139
プリンタ ファームウェアのアップデート	140
インク アブソーバーを交換する	141
安全なディスク消去	144
12 アクセサリ	147
アクセサリの注文	147
13 印刷品質の問題のトラブルシューティング	149
一般的なアドバイス	151
トラブルシューティング用ツール	151
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない	152
線画が段状またはギザギザに表示される	153
描画またはテキストの一部が印刷されない	153
線が二重または間違っただけで印刷される	154
線がぼやけている (にじむ)	154
線が少しゆがんでいる	155
イメージに、暗いまたは明るい横線 (バンディング) が現れる	155
イメージが粒状になる	156
イメージにメタリックの色相 (褐色化する) が現れる	156
印刷結果が平らになっていない	156
触れたときに印刷が汚れる	157
用紙にインク跡が付く	157
印刷の上部で不具合が発生する	158
色が正確に再現されない	158
まったく印刷されない	161
一部しか印刷されない	161
イメージの一部が印刷されない	161
イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される	162
イメージが誤った向きに回転される	162
イメージが左右反対に印刷される	163
印刷が歪むまたは不鮮明になる	163
同じ印刷上でイメージが別のイメージと重なる	163
ペンの設定が適用されない	163
イメージに木目が現れる (エアロワーム)	163
正方形が正方形でない	164
塗りつぶし領域の端で色がずれる	164
14 トラブルシューティング (用紙)	165
用紙が正しく取り付けられない	166
用紙が詰まっている	166

印刷物がスタッカに正しくスタックされない	168
自動用紙カッターが機能しない	168
巻き取りリールの紙詰まり	168
巻き取りリールで巻き取ることができない	168
15 インクシステムに関するトラブルシューティング	171
インクカートリッジを挿入できない	172
プリントヘッドが挿入できない	172
メンテナンスカートリッジを挿入できない	172
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直すか交換するようにメッセージが表示される	172
プリントヘッドのクリーニング	172
プリントヘッドの軸合わせ	173
16 その他のトラブルシューティング	177
プリンタが印刷しない	178
印刷ジョブの生成中にソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止する	178
プリンタの印刷が遅い	178
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	179
内蔵 Web サーバにアクセスできない	179
[メモリ不足] エラー メッセージ	180
プラテンローラーからきしみ音がする	180
HP DesignJet Utility にアクセスできない	180
プレビュー待ちのとき、印刷ジョブがキャンセルおよび削除される	181
プリンタアラート	181
17 HP カスタマー・ケア	183
はじめに	184
HP プロフェッショナル サービス	184
HP Instant Support	185
HP プロアクティブ サポート	185
カスタマー セルフ リペア	186
HP のサポートに問い合わせる	186
付録 A シナリオ (無人印刷ジョブ)	189
タスク 1: デジタル コンテンツの取り扱い	189
タスク 2: 使用方法 (用紙)	189
タスク 3: インク システムの取り扱い	190
タスク 4: 印刷ジョブの取り扱い	191
タスク 5: 印刷されるイメージの調整	191
付録 B シナリオ (予約なしで入った緊急ジョブ)	193
タスク 1: デジタル コンテンツの取り扱い	193

タスク 2：印刷ジョブの取り扱い	193
タスク 3：使用方法 (用紙)	194
タスク 4：インク システムの取り扱い	195
タスク 5：印刷されるイメージの調整	196
付録C フロントパネルメニュー	197
用紙メニュー	198
ジョブ管理メニュー	199
インクメニュー	200
セットアップメニュー	201
イメージ品質の保守メニュー	203
接続メニュー	204
印刷メニュー	205
情報メニュー	206
付録D フロントパネルのエラーメッセージ	207
付録E プリンタの仕様	211
機能の仕様	212
物理的仕様	213
メモリの仕様	214
電源の仕様	215
エコロジーに関する仕様	215
動作環境の仕様	215
動作音に関する仕様	216
用語集	217
索引	219

1 はじめに

- [安全に関する注意事項](#)
- [製品モデル](#)
- [このガイドの使用](#)
- [プリンタの主な機能](#)
- [プリンタの主なコンポーネント](#)
- [埋め込み Web サーバの主なコンポーネント](#)
- [HP DesignJet Utility の主な機能](#)
- [プリンタの印刷メニュー](#)
- [プリンタをオン・オフする](#)

安全に関する注意事項

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- プリンタが接地していることを確認します。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- 弊社の許可がない限り、プリンタを分解または修理しないでください([186 ページのカスタマーセルフリペア](#)を参照)。サービスについては、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。[183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)を参照してください。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体 (HP クリーニングキットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
 - 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
 - プリンタ内部に手を入れる場合
 - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
 - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
 - 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
 - 雷雨時
 - 停電時

製品モデル

このガイドでは、次の製品モデルを対象にします。通常は、これらのモデルを簡潔に省略名で表現します。

正式名称	パーツ番号
HP DesignJet Z6810 60 インチ プロダクション プリンタ	2QU14
HP DesignJet Z6610 60 インチ プロダクション プリンタ	2QU13
HP DesignJet Z6810 42 インチ プロダクション プリンタ	2QU12
HP DesignJet Z6810 60 インチ プロダクション (PostScript/PDF アップグレード)	2QU14
HP DesignJet Z6610 60 インチ プロダクション (PostScript/PDF アップグレード)	2QU13
HP DesignJet Z6810 42 インチ プロダクション (PostScript/PDF アップグレード)	2QU12

このガイドの使用

このガイドには本製品の情報の詳細が収められており、以下の章で構成されています。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- [13 ページの「接続およびソフトウェア手順」](#)
- [17 ページの「プリンタをカスタマイズする」](#)
- [25 ページの「使用方法\(用紙\)」](#)
- [53 ページの「インクシステムの取り扱い」](#)
- [79 ページの「印刷オプション」](#)
- [93 ページの「カラー マネージメント」](#)
- [123 ページの「実際の印刷の例」](#)
- [135 ページの「プリンタの保守」](#)

トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- [149 ページの「印刷品質の問題のトラブルシューティング」](#)
- [171 ページの「インクシステムに関するトラブルシューティング」](#)
- [165 ページの「トラブルシューティング\(用紙\)」](#)
- [177 ページの「その他のトラブルシューティング」](#)
- [207 ページの「フロントパネルのエラーメッセージ」](#)

サポートおよび仕様

これらの章では、HP Customer Care やプリンタの仕様などのリファレンス情報を参照できます。

- [183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)
- [211 ページの「プリンタの仕様」](#)

付録

付録では、ユーザが直面する可能性のあるより一般的な印刷シナリオの一部を取り上げています。各付録では、順を追ったアプローチを使用して特定の印刷シナリオに沿った作業を行い、よりタスクに特化した情報や手順を提供している本ガイド内のセクションを紹介します。

用語集

この章には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

⚠ 警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

⚠ 注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

プリンタの主な機能

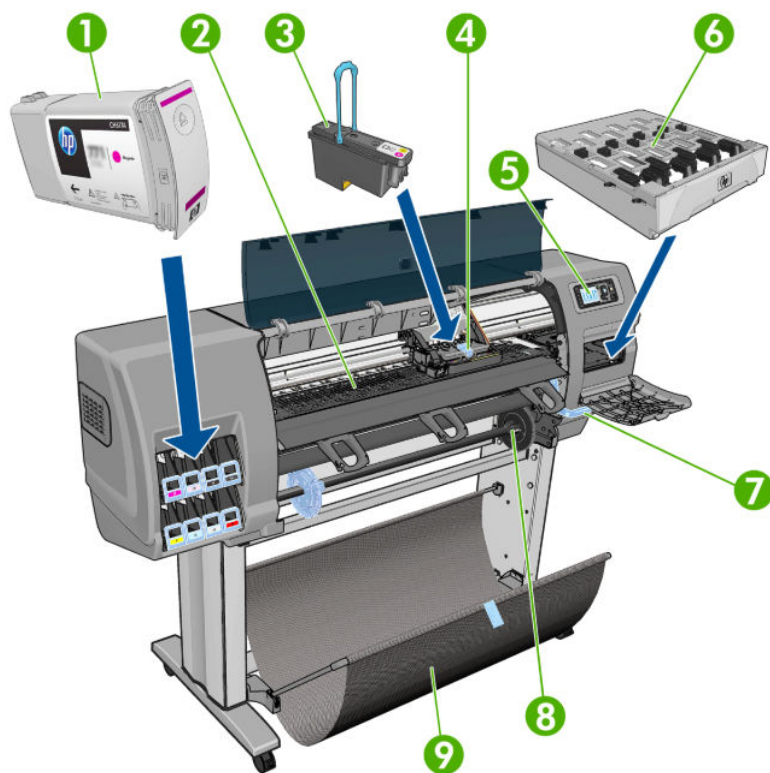
主な機能を以下に示します。

- 入力時 1200×1200dpi のイメージを最大 2400×1200dpi の最適化された解像度で高速、高品質に印刷 (フォト用紙の最適化 オプションを使用した場合)
- 最大用紙幅が 1067mm (42 インチ) または 1524mm (60 インチ)。
- 巻き取りリール。60 インチ プリンタには付属、42 インチ プリンタでは別売オプション
- 正確で一貫したカラー再現機能
 - 米国、ヨーロッパ、および日本の規格に対する印刷エミュレーション。および、カラーモニタの赤 - 緑 - 青 (RGB) のエミュレーション
 - 自動カラーキャリブレーション (Z6610/Z6810) とプロファイリング (Z6810 のみ)
- 6 色 (Z6810) および 8 色 (Z6610) のインク システム。写真印刷およびグラフィック アート印刷においてつや消しファインアート紙と光沢フォト用紙で幅広い範囲の色を実現します。また、このインク システムは、プリプレス アプリケーションでのカラー精度において、ISO (国際標準化機構) および SWOP (Specifications for Web Offset Publications) 色域を完全に網羅します。
- HP 内蔵分光光度計が、用紙や環境が変わっても一貫した正確なカラーを実現します。また Z6810 では、分光光度計によって国際標準化機構のカスタムカラー (ICC) プロファイルを簡単に作成できます ([97 ページの HP 内蔵分光測光器](#) を参照)。
- インクと用紙の使用状況は、フロントパネルおよび埋め込み Web サーバによる Web 上で確認可能です ([10 ページの埋め込み Web サーバの主なコンポーネント](#) を参照)。
- 柔軟な用紙対応と簡単な自動取り付け機能。情報および用紙プリセットは、フロントパネルまたは HP DesignJet コーティリティから利用できます。

プリンタの主なコンポーネント

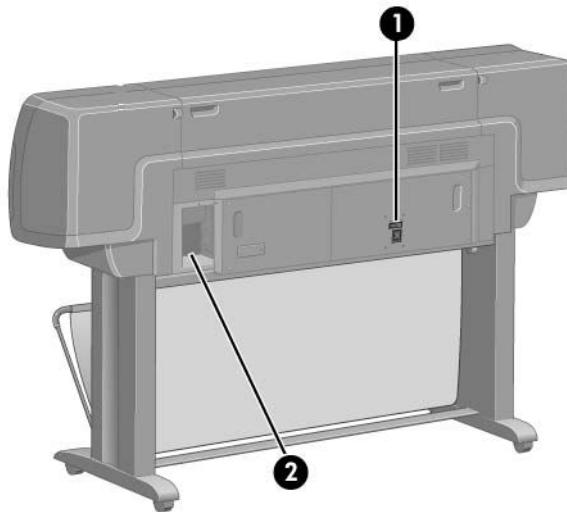
以下の図で、Z6810 42 インチおよび Z6610/Z6810 60 インチ プリンタの主なコンポーネントについて説明します。

前面図 (42 インチ プリンタ)



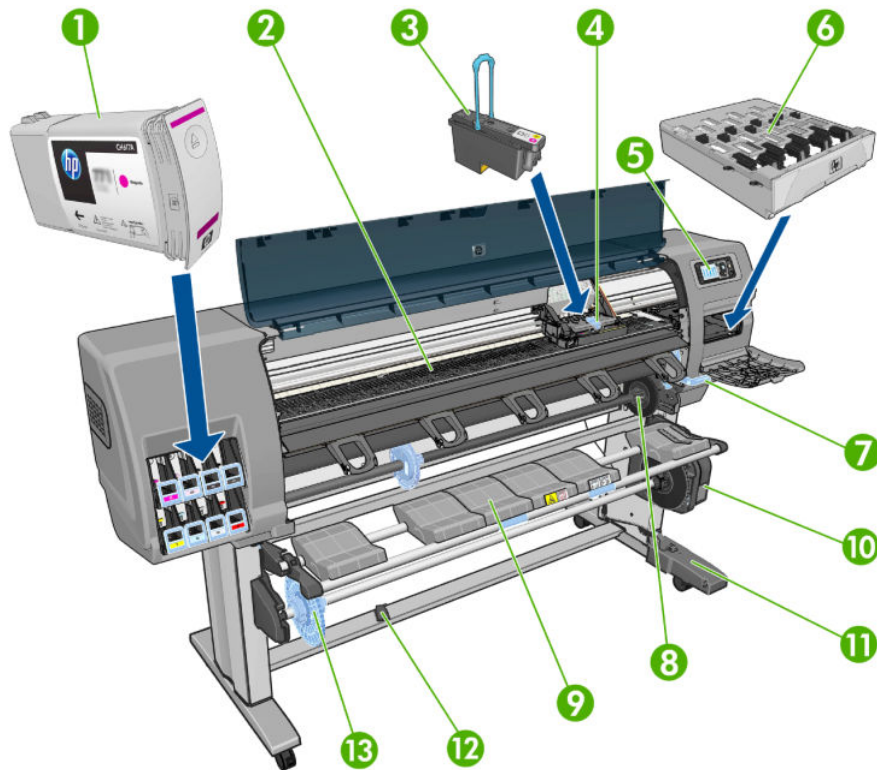
1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッドキャリッジ
5. フロントパネル
6. メンテナンスカートリッジ
7. 用紙取り付けレバー
8. スピンドル
9. トレイ

背面図 (42 インチ プリンタ)



1. 電源スイッチおよび電源ソケット
2. 通信ケーブルおよびオプションアクセサリ用ソケット

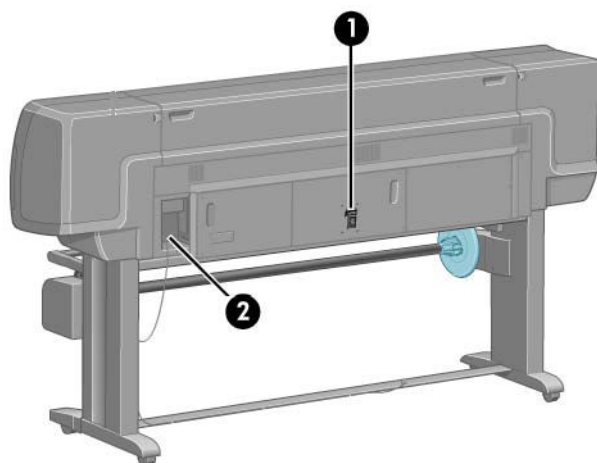
前面図 (60 インチ プリンタ)



1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッドキャリッジ
5. フロントパネル
6. メンテナンスカートリッジ


7. 用紙取り付けレバー
8. スピンドル
9. 取り付けテーブル
10. 巻き取りリールモーター
11. 巻き取りリールケーブルおよびセンサー格納ユニット
12. 巻き取りリールセンサー
13. 巻き取りリールスピンドルハブ

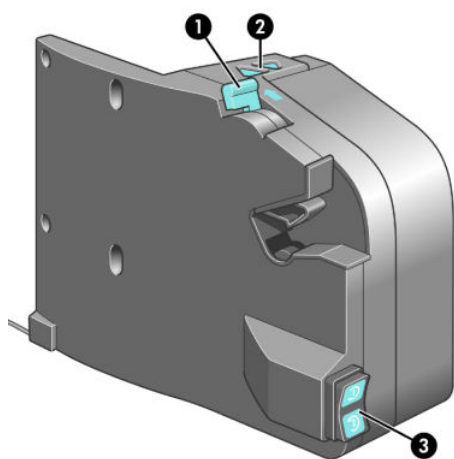
背面図 (60 インチ プリンタ)



1. 電源スイッチおよび電源ソケット
2. 通信ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

巻き取りリールモーター

 **注記:** 巻き取りリールは Z6610 60 インチ プリンタの標準機能です。Z6810 42 インチプリンタでは別売オプションとなります。147 ページの「アクセサリ」を参照してください。




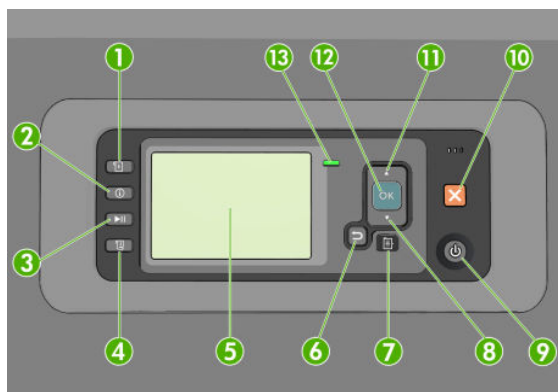
1. 巻き取りリールスピンドルレバー
2. 手動巻き取りボタン
3. 巻き取り方向スイッチ

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジ、用紙、印刷ジョブ、およびその他の部品や処理のステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラーメッセージが表示され、注意を促すために警告音が鳴ります。
- プリンタの設定値を変更して、プリンタの動作を変更する際に使用できます。

 **注記：** 埋め込み Web サーバの設定またはプリンタ ドライバの設定でフロントパネルの設定が上書きされます。



フロントパネルには、4つの直接アクセスボタンから始まる以下コンポーネントがあります。

1. **[用紙の取り付け]** ボタンは、用紙の取り付け処理を開始します。 [33 ページのロールをプリンタに取り付ける](#) を参照してください。
2. **[用紙情報の表示]** では、取り付けられている用紙についての情報が表示されます。
3. **[印刷の一時停止]** ボタンは、現在のページの終了後に一時停止します。 ボタンを再度押すと、印刷が再起動されます。 このボタンは、たとえば異なる種類のロール紙を交換したり取り付けたりする際に便利です。
4. **[排紙/カット]** ボタン： [46 ページの用紙を給紙してカットする](#) を参照してください。
5. **[フロントパネルの表示]** は、プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報を表示します。
6. **[戻る]** ボタン： 手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。 上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。
7. **[メニュー]** ボタン： このボタンを押すと、フロントパネルの表示がメインメニューに戻ります。すでにメインメニューが表示されている場合は、ステータス画面が表示されます。
8. **[下矢印]** ボタン： メニューまたはオプション内を下に移動したり、数値を減らします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
9. **[電源]** ボタン： プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。また、電源ボタンのランプでプリンタのステータスを示します。電源ボタンのランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。電源ボタンのランプが緑色に点滅している場合、プリンタは起動中です。電源ボタンのランプが緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。電源ボタンのランプが黄色に点灯している場合、プリンタは待機中です。電源ボタンのランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

10. [キャンセル] ボタン：手順または操作を中止します。
11. [上矢印] ボタン：メニューまたはオプション内を上に移動したり、数値を増やします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
12. [OK] ボタン：手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。ステータス画面が表示されている場合、このボタンを押すと、メインメニューが表示されます。
13. ステータス ランプ：プリンタのステータスを示します。ステータス ランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能です。LED ランプが緑色に点滅している場合、プリンタが使用中です。LED ランプが黄色に点灯している場合、プリンタはシステム エラーです。LED ランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

フロントパネルの表示上の項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトされるまで [上矢印] または [下矢印] ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を選択するには、まずその項目をハイライトして、[OK] ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、**項目 1 - 項目 2 - 項目 3** のように記述されている場合は、**項目 1**、**項目 2**、**項目 3** の順に選択してください。

フロントパネルのメニューについての詳細は、[197 ページの「フロントパネルメニュー」](#)を参照してください。

フロントパネルのエラー メッセージの注釈一覧については、[207 ページの「フロントパネルのエラーメッセージ」](#)を参照してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

プリンタ ソフトウェア

ダウンロード元 (プリンタ モデルによって異なります) :


- <http://hp.com/go/Z6610/software>
- <http://hp.com/go/Z6810/software>


このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- 埋め込み Web サーバ。プリンタ内で動作し、任意のコンピュータから Web ブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認できるようにします ([10 ページの埋め込み Web サーバの主なコンポーネント](#)を参照)。

このプリンタでは、以下のソフトウェアが提供されています。

- PCL および PS プリンタ ドライバ (Windows オペレーティング システム用) :
 - <http://hp.com/go/Z6610/software>
 - <http://hp.com/go/Z6810/software>
- 埋め込み Web サーバ。プリンタ内で動作し、任意のコンピュータから Web ブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認できるようにします ([10 ページの埋め込み Web サーバの主なコンポーネント](#)を参照)。
- HP DesignJet Utility: <http://www.hp.com> にアクセスします ([11 ページの HP DesignJet Utility の主な機能](#)を参照)。
- Windows および MAC OS 用の PostScript ドライバ (PostScript/PDF アップグレード キットのリンクを使用して入手できます) ([147 ページの「アクセサリ」](#)を参照)。

 **注記** : Mac OS X 用の HP Utility と Windows 用の HP DesignJet Utility は機能が似ており、このガイドではまとめて HP DesignJet Utility と呼ぶことがあります。

 **注記** : 新しいバージョンのすべてのプリンタ ソフトウェアは、随時サポートされる予定です。場合によっては、プリンタを受け取った時点で、以降のバージョンの一部のプリンタ ソフトウェアを HP の Web サイトから入手できる場合があります。

埋め込み Web サーバの主なコンポーネント

内蔵 Web サーバはプリンタ内部で実行される Web サーバです。ユーザは、プリンタ情報の入手、印刷キューや用紙プリセットの管理、印刷設定の変更、および問題のトラブルシューティングを埋め込み Web サーバから行うことができます。また、サービス エンジニアは、プリンタの問題に関する内部情報を取得することができます。

埋め込み Web サーバには、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザからリモートでアクセスします ([18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。機能と操作は 3 つのタブで構成されています。オンライン ヘルプはすべてのページで利用できます。

メインタブ

- 印刷キューを管理する
- 新しいジョブをキューに追加する
- サプライ品のステータスを表示する
- 用紙およびインクの使用状況をモニタする
- PANTONE®のエミュレーション (PostScript/PDF のアップグレードキットを使用)

セットアップタブ

- プリンタ、ネットワーク、およびセキュリティ設定を定義する
- アカウンティング レポート、および警告やエラーの通知を電子メールで送信する
- ファームウェアのアップデート
- 用紙プリセットのインポートとエクスポートを行う
- 日付および時刻の設定

[サポート] タブ

- [印刷品質のトラブルシューティング] ウィザードを使用して、印刷品質に関する最も一般的な問題の一部の解決に役立つ
- さまざまなソースから役に立つ情報の参照
- HP DesignJet リンクにアクセスして、プリンタ、ドライバ、およびアクセサリに関する技術サポートを得る
- サービス サポート ページにアクセスして、プリンタの使用状況に関する現在および過去のデータの表示

HP DesignJet Utility の主な機能


HP DesignJet Utility では、操作の簡単なインターフェースを使用して、プリンタのさまざまな機能を管理し、アクセスできます。

- HP Color Center を使用したシングルポイント カラーコントロールなどのプリンタ管理
- オンラインの HP Knowledge Center へのアクセス
- インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
- ICC (国際カラーコンソーシアム) プロファイルの管理、インストール、および作成 (PostScript/PDF アップグレードキットを使用)
- 埋め込まれたプロファイルへのアクセスおよび使用 (PostScript/PDF アップグレードキットを使用)
- プリンタのファームウェアのアップデート ([140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照)
- プリンタおよびディスプレイのキャリブレーション
- さまざまなプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内)
- ネットワーク設定を構成する

プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、用紙が取り付けられており、フロントパネルに「印刷可能です」のメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、 アイコンを選択し、次に必要な印刷メニューの種類を選択します。

次の印刷メニューを使用できます。

- [デモ印刷]: プリンタの機能の一部を表示します。
- [メニュー マップの印刷]: すべてのフロントパネルのメニューの詳細を表示します。
- 設定: 現在のフロントパネルの設定をすべて表示します。
- 使用状況レポート: 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。これらの推定値の正確性は保証されていません。
- [PS フォント一覧の印刷]: プリンタにインストールされている PostScript フォントを表示します (PostScript/PDF アップグレードキットを使用)。
- サービス情報: サービスエンジニアが必要とする情報を表示します。

プリンタをオン・オフする

✦ **ヒント:** 電源を入れたままでも消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間(デフォルトの時間は Energy Star によって指定される)使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うか、新しい印刷ジョブを送信すると、直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。スリープモード時間を変更するには、[19 ページのスリープモード設定を変更する](#)を参照してください。

📖 **注記:** スリープモードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドルング後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープモードにしておくことを強くお勧めします。

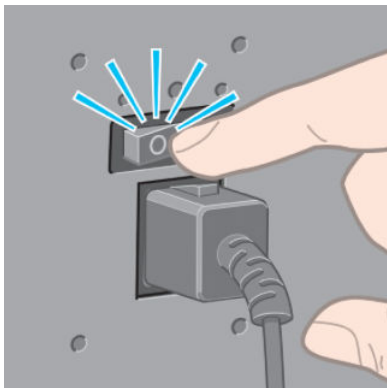
このプリンタには、3つの消費電力レベルがあります。

- プラグ接続：電源コードがプリンタ背面に接続されている状態。
- スイッチ オン：プリンタ背面のスイッチがオンになっている状態。
- 電源オン：フロントパネルの **[電源]** ボタンのランプが緑色に点灯している状態。

プリンタの電源をオンまたはオフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの **電源** ボタンを使用することを推奨します。



ただし、プリンタの保存期間を無期限で保管する場合は、**[電源]** ボタンでプリンタの電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。また、**[電源]** ボタンが機能しない場合は、代わりに背面のスイッチを使用できます。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。


2 接続およびソフトウェア手順


- [使用する接続方法を選択する](#)
- [ネットワークに接続する \(Windows\)](#)
- [ネットワークに接続する \(Mac OS X\)](#)
- [プリンタソフトウェアのアンインストール](#)
- [顧客の貢献プログラムとプリンタのその他のサービスを設定する](#)

使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
ギガビットイーサネット	超高速：ネットワークのトラフィックにより、速度は異なります。	長：100m	追加機材(スイッチ)要。
Jetdirect プリント サーバ (別売オプション)	中速：ネットワークのトラフィックにより、速度は異なります。	長：100m	追加機材(スイッチ)要。 ワイヤレス、AppleTalk 接続、および Novell 印刷向き。


 **注記：**ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

 **注記：**プリンタをネットワークに接続する方法は数多くありますが、アクティブにできるのは1つだけです。ただし、Jetdirect プリント サーバだけは、他のネットワーク接続と同時に稼働させることができます。

ネットワークに接続する (Windows)

ネットワーク ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにすると、プリンタは自動的に IP アドレスを取得します。プリンタをネットワークに設定するには、以下の手順を実行する必要があります。

1. 使用するプリンタのフロントパネルで、**[メニュー]** ボタンを押します。必要であれば、以下の画面が表示されるまで押してください。

```
Load paper for printhead
alignment
-----
http://NF18C3C348E367D.gsf.fid
.hp.com
http://15.77.133.124
Press  to enter
menu
```



プリンタの IP アドレス (この例では、15.77.133.124) をメモします。

2. アクセス先 (プリンタ モデルによって異なります) :
 - <http://hp.com/go/Z6610/software>
 - <http://hp.com/go/Z6810/software>
3. プリンタのソフトウェアをダウンロードするページが開きます。[Windows インストーラーをダウンロード] をクリックすると、ソフトウェア構成パッケージのダウンロードが始まります。ソフトウェア構成パッケージのダウンロードが完了したら、クリックして実行します。
4. 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われます。検出が完了すると、プリンタのリストが表示されます。IP アドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択します。


使用するプリンタがリストにない場合は、**[ネットワークプリンタの検出]** をクリックし、**[次へ]** をクリックします。次の画面で、プリンタの IP アドレスを指定します。

ネットワークに接続する (Mac OS X)

1. フロントパネルに行くか、埋め込み Web サーバを開きます ([18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。プリンタの mDNS サービス名または TCP/IP、あるいはその両方をメモします。
2. アクセス先(プリンタ モデルによって異なります) :
 - <http://hp.com/go/Z6610/software>
 - <http://hp.com/go/Z6810/software>
3. お使いの Web ブラウザが開き、その他のソフトウェアのインストール手順が表示されます。Windows または Mac OS X のソフトウェアを選択し、インストールする特定のソフトウェア(デフォルトではすべてのソフトウェア)を選択する必要があります。
4. HP DesignJet Utility をインストールする場合、コンピュータに表示されるインストール手順に従ってください。
5. [セットアップアシスタント] 画面のプリンター名と詳細の列で、手順 1 で書き留めたプリンタの mDNS サービス名または TCP/IP プリンタアドレスを探します。
 - 正しい名前が見つかった場合は、必要に応じて横方向にスクロールして **[接続方法]** 列を表示し、**[Bonjour または TCP/IP]**であることを確認します。次に、その行をハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。
 - プリンタ名が見つからない場合は、**続行** をクリックし、後でシステム環境設定 で手動でセットアップを行います。
[続行]をクリックします。
6. 画面の指示に従って続行します。

プリンタソフトウェアのアンインストール

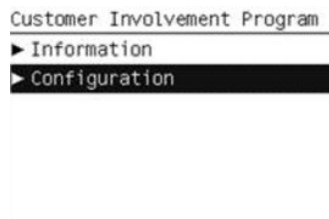
前述のインストールの手順では、HP アンインストーラ アプリケーションをシステムにインストールするオプションを選択することができます。このアプリケーションは、システムの「アプリケーション」フォルダの「HP」内にあります。

 **重要** : HP アンインストーラ アプリケーションは、システムにインストールされているすべての HP ソフトウェアをアンインストールします。

印刷キューのみを削除するには、システム環境設定で**[プリンタとファクス]**ダイアログボックスを選択します。プリンタ名を選択して、**[-]**ボタンをクリックします。

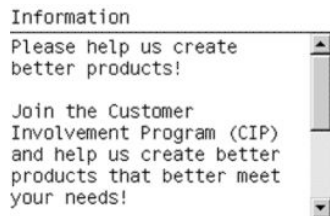
顧客の貢献プログラムとプリンタのその他のサービスを設定する

顧客の貢献プログラムのステータスは、プリンタのフロントパネルまたは EWS から確認できます。フロントパネルで変更するには、**[メインメニュー]-[設定]-[顧客の貢献プログラム]**に移動します。このメニューが表示されます。

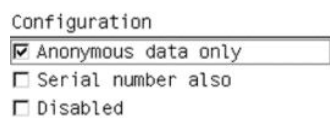


次の操作が可能です。

1. 情報： CIP 情報が表示されます。



2. 設定： ステータスを変更できます。




EWS で対応するタブを探します。

3 プリンタをカスタマイズする

- [フロントパネルの表示の言語を変更する](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスする](#)
- [内蔵 Web サーバの言語を変更する](#)
- [HP DesignJet Utility へのアクセス](#)
- [HP DesignJet Utility の言語の変更](#)
- [スリープモード設定を変更する](#)
- [ブザーをオン/オフにする](#)
- [フロントパネルの表示のコントラストを変更する](#)
- [測定単位を変更する](#)
- [ネットワーク設定を構成する](#)
- [グラフィック言語の設定を変更する](#)
- [用紙の種類のリストのカスタマイズ](#)
- [用紙が一致しない場合の動作の選択](#)

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには2通りの方法があります。

- フロントパネルの現在の表示言語を理解できる場合は、フロントパネルでセットアップアイコン  を選択し、[フロントパネルオプション]-[言語の選択]を選択します。
- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、[OK] ボタンを長く押しします。[OK] ボタンを押したままの状態、[電源] ボタンを長く押しします。フロントパネルの表示の右側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、点滅を始めたら両方のボタンを放します。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。[上矢印] ボタンと [下矢印] ボタンで希望する言語をハイライトさせ、[OK] ボタンを押します。

希望する言語を選択した場合は、[電源] ボタンでプリンタの電源を切ってから、電源を入れ直してください。フロントパネルが、選択した言語で表示されます。

内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

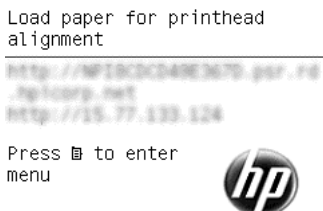
内蔵 Web サーバに直接アクセスするには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。ただし、HP DesignJet Utility を通じて内蔵 Web サーバに間接的にアクセスすることができます。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 以降 (Windows)
- Safari 2 以降 (Mac OS X 10.4)
- Firefox 1.5 以降

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

フロントパネルにプリンタの IP アドレス(この例では 192.168.1.1)が表示されます。



この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、[179 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。Web ブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの[言語の優先順位]設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer バージョン 6 の場合は、[ツール]メニューに移動して、[インターネットオプション]、[言語]を選択します。[言語の優先順位]ダイアログボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

HP DesignJet Utility へのアクセス

HP DesignJet Utility を使用すると、TCP/IP 接続または Jetdirect 接続を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。HP DesignJet Utility を初めて開いた場合、機能強化の自動アップデートを促される場合があります。この自動アップデートを実行することをお勧めします。

- **Windows の場合**、デスクトップのショートカットから、または[スタート]-[すべてのプログラム]-[HP]-[HP DesignJet Utility]-[HP DesignJet Utility] から、HP DesignJet Utility を起動します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。HP DesignJet Utility を初めて開いた場合、機能強化の自動アップデートを促される場合があります。この自動アップデートを実行することをお勧めします。
- **Mac OS X の場合**、Dock のショートカットから、または[アプリケーション]-[HP]>[HP DesignJet Utility]の順に選択して、HP DesignJet Utility を起動します。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

左側のパネルでプリンタを選択すると、右側のパネルに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。


この手順に従っても HP DesignJet Utility にアクセスできない場合は、[180 ページの HP DesignJet Utility にアクセスできない](#)を参照してください。

HP DesignJet Utility の言語の変更


HP DesignJet Utility は次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語 (Windows のみ)、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。

- **Windows の場合**、[ツール]-[言語設定]を選択し、リストから言語を選択します。
- **Mac OS X では**、別のアプリケーションに関しても言語が変更されます。[システム環境設定]で[言語とテキスト]を選択し、アプリケーションを再起動します。


スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルでセットアップアイコン  を選択し、次に[フロントパネルオプション]-[スリープモード待ち時間]を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて [OK] ボタンを押します。待機時間は 1 ~ 240 分に設定できます。デフォルトの時間は 25 分です。


ブザーをオン/オフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルでセットアップアイコン  を選択します。次に[フロントパネルオプション]-[ブザーの有効化]を選択し、オンまたはオフをハイライトして [OK] ボタンを押します。デフォルトでは、ブザーはオンに設定されています。

フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、セットアップアイコン  を選択し、次に [フロントパネルオプション]-[画面コントラストの選択] を選択して、[上矢印] または [下矢印] ボタンで値を入力します。[OK] ボタンを押して、その値を設定します。デフォルトのコントラストは 50 に設定されます。


測定単位を変更する

フロントパネルの表示の測定単位を変更するには、セットアップアイコン  を選択し、[フロントパネルオプション]-[単位の選択] を選択して、[インチ] または [メートル] を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。


ネットワーク設定を構成する

ネットワーク設定を HP DesignJet Utility から表示および構成できます。Windows を使用している場合は、[管理者] タブ、[ネットワーク設定] の順に選択します。Mac OS X の場合、[ネットワーク設定] を選択します。以下の設定があります。


- **IP 設定方法**：IP アドレスの設定方法を指定します。[BOOTP]、[DHCP]、[Auto IP]、または [手動] から選択します。
- **ホスト名**：ネットワーク デバイスの IP 名を指定します。名前は最大 32 ASCII 文字を含むことができます。
- **IP アドレス**：プリントサーバの IP アドレスを指定します。TCP/IP の専用 IP アドレスは使用できません。

 **注記**：現在の IP アドレスを変更して [適用] をクリックすると、ブラウザはプリントサーバへの現在の接続を失います。これは、ブラウザが変更前のアドレスを参照していたためです。再接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **サブネットマスク**：サブネット マスクを指定します。サブネット マスクは、IP アドレスに適用される 32 ビットの数値です。ネットワークとサブネットを示すビット構成部分と一意のノードを示すビット構成部分が決められます。
- **デフォルト ゲートウェイ**：他のネットワークまたはサブネットワークへの接続に使用するルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリントサーバの IP アドレスを使用します。
- **ドメイン名**：プリントサーバが常駐する DNS ドメイン (support.hp.com など) の名前を指定します。

 **注記**：ドメイン名はホスト名を含みません。ドメイン名は、printer1.support.hp.com のような完全修飾ドメイン名ではありません。

- **アイドルタイムアウト**：開いた状態を維持できるアイドル接続の秒数を指定します。30 がデフォルト値です。ゼロに設定すると、タイムアウトは無効になり、TCP/IP 接続は、ネットワーク上の他のノードが開いているまで開いた状態を続けます。
- **デフォルト IP**：電源をオンにしたときや BOOTP または DHCP を使用するように再構成したときに、プリントサーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **DHCP 要求の送信**：レガシーのデフォルトの IP アドレスまたはデフォルトの Auto IP が割り当てられているとき、DHCP 要求を送信するかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を指定するには、接続アイコン  を選択し、[ファーストイーサネット]または[ギガビットイーサネット]から [設定の変更] を選択します。


接続アイコンから他のさまざまなオプションを使用できます。


- [Jetdirect EIO] : Jetdirect 接続に関する情報の表示、設定、リセットを行います
- [詳細設定]- [I/O タイムアウトの選択] : 開いた状態を維持できるアイドル接続の秒数を指定します。270 がデフォルト値です。ゼロを設定すると、タイムアウトは無効になります
- [詳細設定]- [SNMP を使用] : SNMP の使用を許可するかどうかを指定します。
- [詳細設定]- [埋め込み Web サーバ]- [埋め込み Web サーバを使用] : 埋め込み Web サーバが有効であるかどうかを指定します。
- [詳細設定]- [Web サービス]- [HP DesignJet Utility ソフトウェア] : HP DesignJet Utility ソフトウェアの設定を表示します
- [詳細設定]- [Web サービス]- [色と素材の管理] : 色と素材の管理の設定を表示します

グラフィック言語の設定を変更する

次の手順に従って、HP DesignJet Utility からグラフィック言語の設定を変更できます。

1. Windows を使用している場合は、[管理者] タブ - [プリンタ設定] - [印刷設定] を選択します。
Mac OS を使用している場合は、[プリンタ設定] - [印刷設定] を選択します。
2. 以下のオプションの 1 つを選択します。
 - [自動] を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定です。この設定は、大半のソフトウェアアプリケーションに適用されます。通常は、デフォルトの設定を変更する必要はありません。
 - プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[HP-GL/2] を選択します。
 - プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[PDF] を選択します (PostScript/PDF のアップグレードキットを使用)。
 - プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[PostScript] を選択します (PostScript/PDF のアップグレードキットを使用)。
 - プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[TIFF] を選択します (PostScript/PDF のアップグレードキットを使用)。
 - プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[JPEG] を選択します (PostScript/PDF のアップグレードキットを使用)。

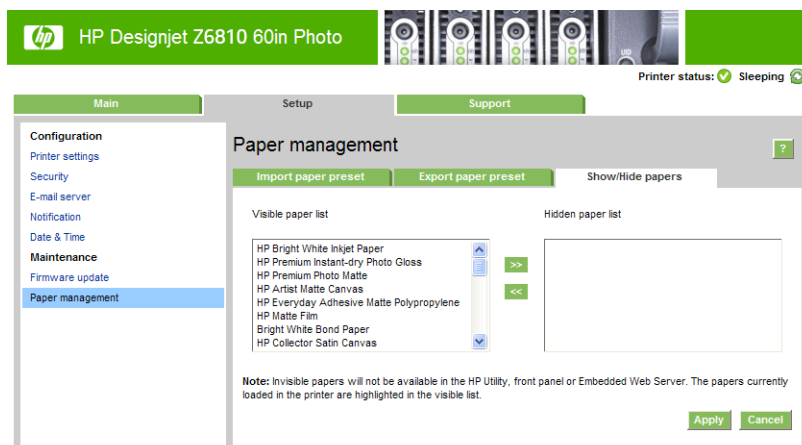
フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。セットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [グラフィック言語の選択] を選択します。希望するオプションを選択し、[OK] ボタンを押すと値が設定されます。

 **注記** : グラフィック言語を HP DesignJet Utility から設定した場合は、フロントパネルの設定より優先されます。

用紙の種類のリストのカスタマイズ

使用しない用紙の種類がある場合は、フロントパネル、内蔵 Web サーバ、および HP DesignJet Utility に表示されるリストから削除できます。

1. 埋め込み Web サーバで **[セットアップ]** タブを選択し、**[用紙管理]** を選択します。
2. 用紙管理ペインで **[用紙の表示/非表示]** タブを選択します。



3. 非表示にする用紙の種類を選択し、**[>>]** ボタンを使用して、その用紙の種類を、非表示用紙リストに移動します。
4. 終了したら、**[適用]** ボタンを使用して変更を保存します。



後で元に戻したい場合は、非表示リストの用紙をいつでも表示リストに戻すことができます。

用紙が一致しない場合の動作の選択

現在プリンタに取り付けている用紙が特定のジョブに適していない場合、プリンタは、適合する用紙が取り付けられるまでジョブを保留にするか、その問題を無視して、適合しない用紙にジョブを印刷します。取り付けられた用紙を不適合と見なすには次の2つの方法があります。

- 用紙の種類がジョブに指定したものと異なる
- 用紙のサイズがジョブに指定したものより小さい

このような場合のプリンタの動作はフロントパネルから設定できます。

- 取り付けられた用紙に関係なくジョブを印刷する場合は、セットアップアイコン  を選択し、**[ジョブ管理オプション]-[用紙の不一致操作の選択]-[そのまま印刷をする]** を選択します。これはデフォルトのオプションです。
- ジョブを保留にする場合は、セットアップアイコン  を選択し、**[ジョブ管理オプション]-[用紙の不一致操作の選択]-[ジョブを保留にする]** を選択します。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。

ジョブが用紙の保留状態になると、そのジョブは、適合する用紙が取り付けられるまでプリンタキューに置かれます(この場合、適合する用紙の種類を待機しているすべてのジョブは印刷可能です)。これに対し、別の要件の他のジョブは印刷を続行できます。

4 使用方法 (用紙)

- [概要](#)
- [ロールをスピンドルに取り付ける](#)
- [ロールをプリンタに取り付ける](#)
- [プリンタからロールを取り外す](#)
- [巻き取りリールを使用する](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙送りのキャリブレーションを実行する](#)
- [用紙プリセットのダウンロード](#)
- [HP 純正以外の用紙を使用する](#)
- [乾燥時間をキャンセルする](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [用紙情報の印刷](#)
- [用紙を給紙してカットする](#)
- [用紙を保管する](#)
- [用紙の注文](#)
- [推奨しない用紙の種類](#)

概要

用紙は、プリンタが処理できる印刷素材のラインアップのサブセットにすぎません。さまざまな種類のフィルム、クロスや布地、粘着用紙、粘着紙、およびバナーや看板用紙にも印刷可能です。ただし、このガイド全体では、これらの素材は通常、用紙を意味します。

- 📖 **注記：** フロントパネルのスペースが限られているため、HP 純正用紙の名前は省略される場合があります、パッケージラベルに表示されている名前がフロントパネルにそのまま正確に表示されない場合があります。
- 📖 **注記：** サポートされている用紙の完全なリストは非常に長いため、最も一般的な用紙の種類のみがフロントパネルに表示されます。フロントパネルに表示されない HP 純正用紙を表示するには、Z6810 用の用紙プリセットを <http://www.hp.com/go/Z6800/paperpresets/> から、または Z6610 用の用紙プリセットを <http://www.hp.com/go/Z6600/paperpresets/> からダウンロードします。 [44 ページの用紙プリセットのダウンロード](#) を参照してください。
- 📖 **注記：** 自動用紙カッターの機能は、一部の最も厚手の用紙の種類では無効になっています。これは、一部の厚手印刷素材ではカッターが損傷する可能性があるためです。

用紙を使用する

良好な印刷品質を得るためには、目的に合った適切な用紙を選択することが非常に重要です。最適な印刷結果を得るには、推奨されている HP 純正用紙（詳細は、[27 ページのサポートされている用紙の種類](#) を参照）のみを使用してください。HP 純正用紙は十分な検査を受けて開発され、高い信頼性とパフォーマンスが保証されています。すべてのプリンタ関連製品（プリンタ、インクシステム、用紙）は、一緒に使用することで高性能を発揮し、最適な印刷品質を実現することができます。

用紙の使用方法に関するその他のヒントを以下に示します。


- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する 24 時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムとフォト用紙は、端を持つ綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。素材をロールにしっかりと巻き付けるには、ロールをプリンタから取り外す直前に、ロールの先端をコアにテープで止めておいてください。保管中はロールをテープで接着させておくことができます。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。


📖 **注記：** ロール紙の先端を接着させる際にテープを使用することは、76.2mm 芯の場合特に重要です。印刷物自体の硬さによって印刷物が緩み、芯から外れてしまう可能性があります。

- ロール紙を取り付けた場合、取り付け用紙の種類を指定するようにフロントパネルにメッセージが表示されます。これは、印刷品質を高くするために必要です。パッケージラベルに印刷されている用紙名がフロントパネルの説明と一致していることを確認してください。

フロントパネルの表示で特定の用紙が見つからない場合は、Z6810 用の用紙プリセットを <http://www.hp.com/go/Z6800/paperpresets/> から、または Z6610 用の用紙プリセットを <http://www.hp.com/go/Z6600/paperpresets/> からダウンロードするか、またはパッケージラベルに印刷されている用紙名に最適なメディアプリセットを選択します。

- イメージに適さない用紙を使用した場合、イメージによっては品質が低下するものがあります。これは、HP スタンダードコート紙、HP コート紙、HP 厚手コート紙および HP スタンダード厚手コート紙などの繊維ベースの用紙に印刷する場合に、特に重要なこととして考慮に入れる必要があります。繊維ベースの用紙上に高彩度の塗りつぶし領域が含まれているイメージを印刷する場合は用紙の広がりによって不要な波形パターンが作成される可能性があります。最終的には、これによってより深刻な問題が発生する可能性があります。高彩度の塗りつぶし領域を印刷する場合は、スーパー厚手コート紙などのしわのない用紙を使用するか、巻き取りリールを使用してみてください。

- 適切な出力品質設定 ([高品質]、[標準]、または [高速]) が選択されていることを確認してください。印刷品質は、ドライバ、埋め込み Web サーバ、またはフロントパネルで設定できます。ドライバまたは埋め込み Web サーバの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。用紙の種類と印刷品質設定の組み合わせによって、用紙に対するインクの転写方法が決定されます (たとえば、インク濃度、ハーフトーンなど)。 [81 ページの印刷品質の選択](#) を参照してください。
- プリンタに付属のインクシステムは光に対して優れた耐久性を備えていますが、日光に長期間さらされると退色または変色します。
- フロントパネルに表示される用紙の種類が使用する用紙の種類に対応していない場合、次の操作のいずれかを行います。
 - ロール紙をプリンタに取り付け直し、適切な用紙の種類を選択します。 [34 ページのプリンタからロールを取り外す](#) および [33 ページのロールをプリンタに取り付ける](#) を参照してください。
 - 内蔵 Web サーバまたは HP DesignJet Utility を使用してロール紙のために用紙の種類を再設定します。
 - プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、[アクティブな用紙の種類を変更] を選択します。

 **注記:** フロントパネルから用紙の種類を変更した場合、用紙送りのキャリブレーションは行われません。

乾燥時間

印刷物の種類や印刷する環境によっては、印刷物を取り外す前にインクを乾燥させる時間が必要になる場合があります。用紙の種類ごとに以下の設定から選択できます。

- **[自動]:** 最適: 選択した用紙と印刷時の温度および湿度に基づき、適切な乾燥時間が自動的に判断されます。乾燥時間が必要な場合は、「乾燥時間の残り時間」がフロントパネルに表示されます。
- **[長い]:** デフォルトの乾燥時間よりも長くなります。デフォルトの乾燥時間では十分にインクが乾燥しない場合は、この設定を選択します。
- **[短い]:** デフォルトの乾燥時間よりも短くなります。できるだけ早く印刷する必要があり、乾燥時間が短くても大きな問題がない場合は、この設定を選択します。
- **[なし]:** 乾燥時間を設定しません。印刷物がプリンタから排紙されたらすぐに手動で取り外す場合は、この設定を選択します。
- **[手動]:** 秒単位で乾燥時間を指定できます。

乾燥時間を変更するには、 [45 ページの乾燥時間を変更する](#) を参照してください。

サポートされている用紙の種類

次の表に、このプリンタで使用できる最も一般的な用紙の種類と、用紙を取り付けるときにフロントパネルで選択する表示名を示します。フロントパネルに表示されない HP 純正用紙を使用する場合は、 <http://www.hp.com/go/Z6600/paperpresets/> または <http://www.hp.com/go/Z6800/paperpresets/> にアクセスして使用しているプリンタのモデルに合った用紙プリセットをダウンロードしてください。プリセットは繰り返しダウンロードする必要はありません。プリセットは今後使用できるようにプリンタに保存され、フロントパネルに表示されます。

用紙の製品番号、幅、重量については、 [47 ページの用紙の注文](#) を参照してください。


 **注記**：以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.globalbmg.com/hp> を参照してください。

表 4-1 サポートされている用紙の種類 - Z6810

用紙の種類	用紙名	フロントパネルでの表示名
普通紙とコート紙	HP プラススーパー厚手マット紙	HP プラススーパー厚手マット紙
	HP 厚手コート紙	HP 厚手コート紙
	HP スタンダード厚手コート紙	HP スタンダード厚手コート紙
	HP コート紙	HP コート紙
	HP スタンダードコート紙	HP スタンダードコート紙
	HP インクジェット用上質普通紙	HP インクジェット紙
	HP スタンダード普通紙	HP スタンダード普通紙
	HP リサイクル普通紙	HP リサイクル普通紙
	スーパー厚手コート紙	スーパー厚手コート紙
	厚手コート紙	厚手コート紙
	コート紙	コート紙
	インクジェット普通紙	インクジェット普通紙
	普通紙	普通紙
フォト用紙	HP プレミアムマットフォト用紙	HP プレミアムマットフォト用紙
	HP エブリデイ速乾光沢フォト紙	HP エブリデイ光沢フォト
	HP エブリデイ速乾半光沢フォト紙	HP エブリデイ半光沢フォト (顔料)
	HP プロフェッショナル速乾半光沢フォト用紙	HP プロ半光沢フォト用紙
	HP プレミアム速乾光沢フォト紙	HP プレミアム速乾光沢フォト紙
	HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	HP プレミアム速乾半光沢フォト紙
	HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	HP スタン.速乾性光沢フォト用紙
	HP ユニバーサル速乾性半光沢フォト用紙	HP スタン.速乾性セミグロスフォト用紙
	光沢フォト/セミグロス/半光沢フォト用紙	光沢/セミグロス/半光沢フォト用紙
	光沢フォト/セミグロス/半光沢フォト用紙 (少インク量)	光沢フォト/セミグロス/半光沢フォト用紙 - インク
	光沢フォト/セミグロス/半光沢フォト用紙 (多インク量)	光沢/セミグロス/半光沢フォト(多インク)
	つや消しフォト用紙	つや消しフォト用紙
美術用紙	HP リトグラフ調マット紙	HP リトグラフ調マット紙
	HP プロフェッショナルマットキャンバス	HP プロマットキャンバス
	HP コレクター半光沢キャンバス	HP コレクター半光沢キャンバス

表 4-1 サポートされている用紙の種類 - Z6810 (続き)

用紙の種類	用紙名	フロントパネルでの表示名
	HP アーティストキャンパス(つや消し)	HP アーティスト キャンパス(つや消し)
	HP スタンダードマットキャンパス	HP スタンダードマットキャンパス
	キャンパス (Hインク)	キャンパス (Hインク)
	キャンパス	キャンパス
	ファインアート紙(多インク量)	ファインアート紙(Hインク)
	ファインアート紙	ファインアート紙
バックライト用紙	HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	HP プレミアムビビッドカラーバックライト
	バックライト用紙	バックライト用紙
	バックライト用紙(多インク量)	バックライト用紙(多インク量)
バナーおよび署名用紙	HP オパークスクリム	HP オパークスクリム
	HP 耐久バナー (DuPont Tyvek)	HP 耐久バナー - Tyvek®
	スクリムバナー	スクリムバナー
	屋内バナー	屋内バナー
テクニカル用紙	HP モノクロ&カラートレーシングペーパー	HP モノクロ&カラートレーシングペーパー
	HP 半透明ボンド紙	HP 半透明ボンド紙
	HP ベラム紙	HP ベラム紙
	トレーシングペーパー	トレーシングペーパー
	半透明ボンド紙	半透明ボンド紙
	ベラム紙	ベラム紙
フィルム	HP クリアフィルム	HP クリアフィルム
	HP マットフィルム	HP マットフィルム
	透明/クリアフィルム	透明/クリアフィルム
	マットフィルム	マットフィルム
ブルーフ用紙	ブルーフ用光沢紙	ブルーフ用光沢紙
	セミグロス/半光沢ブルーフ用紙	セミグロス/半光沢ブルーフ用紙
	ブルーフ用マット紙	ブルーフ用マット紙
粘着紙	HP ビニール(粘着タイプ)	HP ビニール(粘着タイプ)
	HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙	HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙
	ポリプロピレン (粘着タイプ)	ポリプロピレン (粘着タイプ)
	ポリプロピレン粘着マット紙	ポリプロピレン粘着 つや消し
	粘着ビニール紙	粘着ビニール紙
追加の HP 用紙	HP プレミアム ポリプロピレン マット紙	HP プレミアム ポリプロピレン マット紙

表 4-2 サポートされている用紙の種類 - Z6610

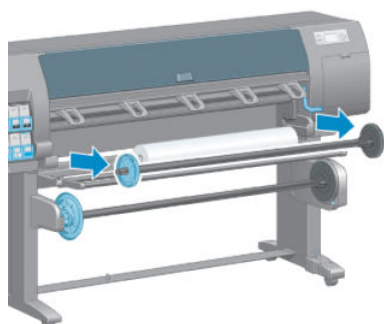
用紙の種類	用紙名	フロントパネルでの表示名
普通紙とコート紙	HP スタンダード普通紙	HP スタンダード普通紙
	HP 厚手コート紙	HP 厚手コート紙
	HP インクジェット用上質普通紙	HP インクジェット紙
	スーパー厚手コート紙	スーパー厚手コート紙
	厚手コート紙	厚手コート紙
	コート紙	コート紙
	普通紙	普通紙
フォト用紙	HP プレミアムマットフォト用紙	HP プレミアムマットフォト用紙
	HP エブリデイ速乾光沢フォト紙	HP エブリデイ光沢フォト
	HP エブリデイ速乾半光沢フォト紙	HP エブリデイ半光沢フォト (顔料)
	HP プロフェッショナル速乾半光沢フォト用紙	HP プロ半光沢フォト用紙
	HP プレミアム速乾光沢フォト紙	HP プレミアム速乾光沢フォト紙
	HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	HP プレミアム速乾半光沢フォト紙
	HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	HP スタン.速乾性光沢フォト用紙
	HP ユニバーサル速乾性半光沢フォト用紙	HP スタン.速乾性セミグロスフォト用紙
	フォト用紙	光沢/セミグロス/半光沢フォト用紙
	インク量の少ないフォト用紙	光沢/セミグロス/半光沢フォト (ローインク)
	インク量の多いフォト用紙	光沢/セミグロス/半光沢フォト(Hインク)
	つや消しフォト用紙	つや消しフォト用紙
	美術用紙	HP リトグラフ調マット紙
HP アーティスト キャンバス (つや消し)		HP アーティスト キャンバス (つや消し)
HP スタンダードマットキャンバス		HP スタンダードマットキャンバス
キャンバス		キャンバス
ファインアート紙		ファインアート紙
インク量の多いファインアート紙		ファインアート紙(Hインク)
バックライト用紙	HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	HP プレミアムビビッドカラーバックライト
	バックライト用紙	バックライト用紙
粘着紙	HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙	HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙
	ポリプロピレン粘着マット紙	ポリプロピレン粘着 つや消し
	粘着ビニール紙	粘着ビニール紙

表 4-2 サポートされている用紙の種類 - Z6610 (続き)

用紙の種類	用紙名	フロントパネルでの表示名
バナーおよび署名用紙	HP オパークスクリム	HP オパークスクリム
	スクリムバナー	スクリムバナー
追加の HP 用紙	HP プレミアム ポリプロピレンマ ット紙	HP プレミアム ポリプロピレンマ ット紙

ロールをスピンドルに取り付ける

1. プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。
2. 右側のスピンドルロックを解除します。
3. まずスピンドルの右端をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端を取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れないでください。

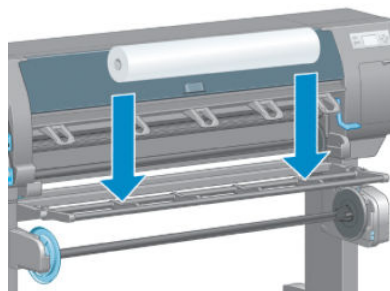


スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するハブが付いています。左端の青いハブを取り外して、新しいロール紙を取り付けます。ハブはスピンドルに沿ってスライドし、異なる幅のロール紙が固定されます。

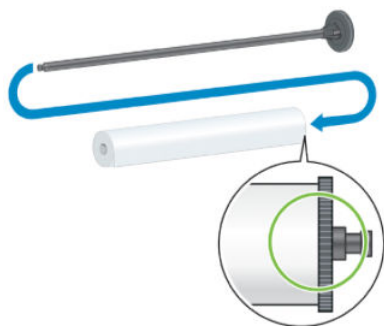
4. 青いハブのロックレバーをロック解除の位置までスライドさせて、ハブ(1)をスピンドルの左端から取り外します。



5. 取り付ける用紙のロールを取り付けテーブルに置きます。ロール紙は長くて重い場合があり、取り扱いには2人必要な場合があります。

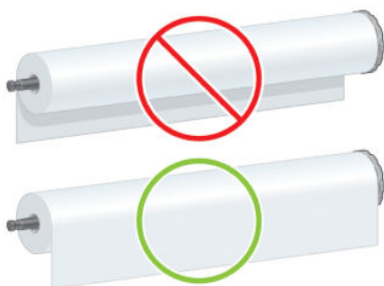


6. スピンドルをロールに取り付けます。スピンドルの右端で、ロール紙と固定ハブの間に隙間がないことを確認してください。

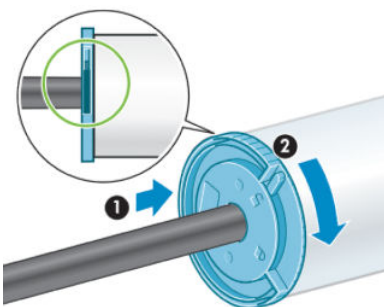


用紙が正しい方向でロール紙に巻き付けられていることを確認してください。正しい方向で巻き付けられていない場合、スピンドルをロール紙から取り外し、ロール紙を 180°回転させて取り付けテーブルに置いてください。次にスピンドルをロール紙に取り付けます。

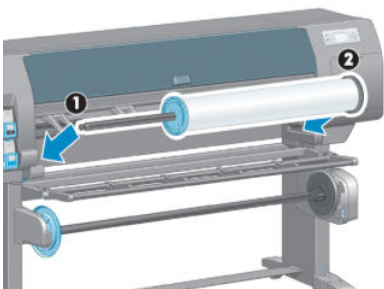
 **注記：** スピンドルのラベルにも、正しい巻き取り方向が表示されています。



7. スピンドルの端に青いハブを取り付け、以下のイメージの手順 1 で示したロール紙の端に向けて押し込みます。次に、ロックレバーを手順 2 で示したロックの位置にスライドさせます。




8. 左にある青いハブで、スピンドルをプリンタの左側 (1) に挿入してからプリンタの右側 (2) に挿入します。




9. 右側のスピンドルロックを閉じます。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けられたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。


ロールをプリンタに取り付ける

 **注記:** この手順を始める前に、ロールをスピンドルに取り付けておく必要があります。 [31 ページのロールをスピンドルに取り付ける](#) を参照してください。

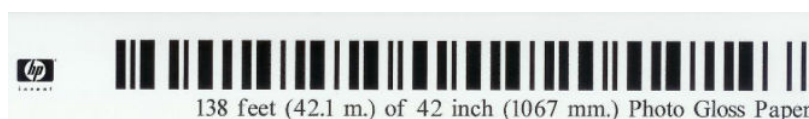
1. プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、**[用紙の取り付け]-[ロール紙の取り付け]** を選択します。

Paper load
▶ Load roll
▶ Load take-up reel
▶ Learn how to load spindle

代わりに、用紙が取り付けられていないときに、給紙するかピンチレバーを持ち上げて、用紙の取り付けをフロントパネルを使用せずに開始できます。

 **注記:** ピンチレバーを持ち上げている場合は、用紙を手動で合わせる必要があります。フロントパネルの指示にしたがいます。

2. 用紙情報の印刷が無効な場合は、フロントパネルで用紙の種類を選択するようにメッセージが表示されます。
3. フロントパネルで給紙を促す指示が出ます。プリンタが用紙を検出すると、用紙の確認が開始されます。
4. 使用している用紙のロールの先端に用紙データバーコードが印刷されている場合、用紙情報の印刷が有効であると、プリンタはその情報を自動的に読み取ります。用紙情報の印刷が無効な場合は、バーコードは無視されます。



用紙情報の印刷が有効であるとき、取り付け中のロールでバーコードが検出されない場合、フロントパネルで、用紙の種類と取り付けのロールの長さの入力を促す指示が出ます。ロール紙の用紙カテゴリと用紙の種類を選択します。選択する用紙カテゴリまたは用紙の種類が不明な場合は、[27 ページのサポートされている用紙の種類](#) を参照してください。

Paper types list
☑ Bond and Coated Paper
☐ Technical Paper
☐ Photo Paper
☐ Fine Art Material
☐ Film
☐ Backlit Material
☐ Banner & Sign material

ロール紙の長さを選択します。

Select roll length
☑ Unknown
☐ 175 m (574 feet)
☐ 91.4 m (300 feet)
☐ 61 m (200 feet)
☐ 45.7 m (150 feet)
☐ 38.1 m (125 feet)
☐ 30.5 m (100 feet)


5. 用紙確認の一部が失敗すると、フロントパネルは問題の説明を表示し、用紙を正常に取り付ける指示を出します。
6. 巻き取りリール(1.5m プリンタの標準機能、および 1.1m プリンタの別売オプション)が装備されている場合、用紙を巻き取りリールに取り付けるかどうかのメッセージがフロントパネルに表示されます。【いいえ】を選択した場合(または巻き取りリールを装備していない場合)、フロントパネルに「印刷可能です」というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。【はい】を選択した場合、巻き取りリールを今すぐに、または印刷中のどちらで取り付けるかをたずねるメッセージがフロントパネルに表示されます。


Would you like to load paper
onto take-up reel now or
save paper and load it later
during printing?

Load take-up reel now


Load it during printing


- 巻き取りリールを今すぐに取り付ける場合は、**今すぐリールに取り付ける**を選択してセクション [35 ページの巻き取りリールを使用する](#) の導入テキスト全体を読んでから処理の手順 3 に進みます。
- 巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合は、**印刷中リールに取り付ける**を選択してセクション [35 ページの巻き取りリールを使用する](#) の導入テキスト全体を読んでから処理の手順 3 に進みます。

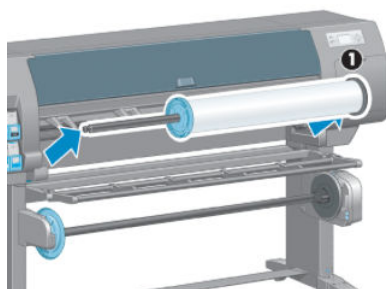
 **注記:** 巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが用紙を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があるため、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、約 1m 用紙を節約できます。

 **注記:** プリンタの最初のセットアップ中、ロール紙がプリンタにセットされた後、プリントヘッドの軸合わせとカラーキャリブレーションが自動的に行われます。

プリンタからロールを取り外す

 **注記:** 巻き取りリールを印刷中に使用した場合、印刷されたロール紙を巻き取りリールから取り外してから、ロールをプリンタから取り外してください。 [40 ページのロール紙を巻き取りリールから取り外す](#) を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [用紙の取り外し]-[ロール紙の取り外し] を選択します。
2. 用紙をプリンタから取り外します。
3. スピンドルロックを解除します。
4. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れないでください。



巻き取りリールを使用する

△ 注意：巻き取りリールモーターをプリンタに取り付ける際は、プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。


巻き取りリールは、フロントパネルから操作します。

ロール紙を巻き取りリールスピンドルの芯にテーピングする際は、以下の説明に従ってください。

- 用紙がスピンドルの芯に真っすぐに取り付けられていることを確認してください。真っすぐに取り付けられていない場合、用紙が芯に巻き取られる際に歪みます。
- 巻き取りリールのスピンドルの芯の幅は、印刷する用紙（プリンタに取り付けられている用紙のロール）と同じ幅にする必要があります。
- スピンドルの芯の両端にエンドキャップが取り付けられていないこと、およびスピンドルの芯が両方のスピンドルガイドにしっかりとはめ込まれていることを確認します。

📖 注記：印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが用紙を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があります。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、約 1m 用紙を節約できます。

ロールを巻き取りリールに取り付ける

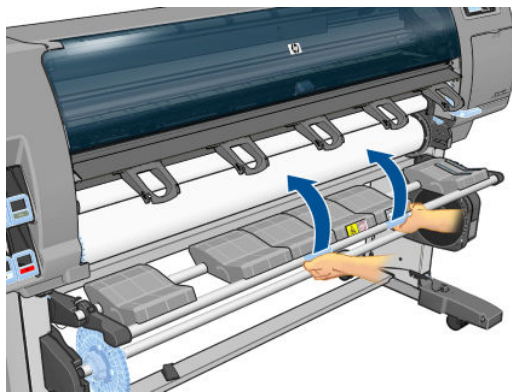
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙の取り付け]-[巻き取りリールの取り付け]** を選択します。
2. 巻き取りリールを今すぐ取り付ける場合は、フロントパネルで **[今すぐリールに取り付ける]** を選択します。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合は、フロントパネルで **[印刷中リールに取り付ける]** を選択します。

Would you like to load paper
onto take-up reel now or
save paper and load it later
during printing?

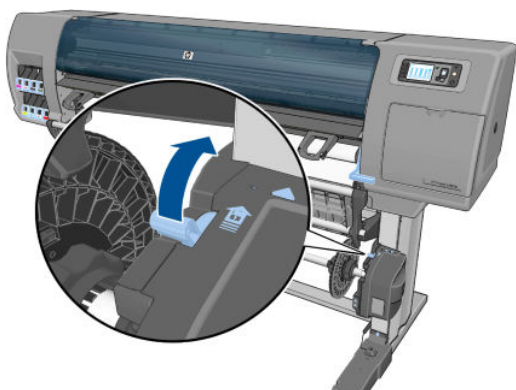
Load take-up reel now

Load it during printing

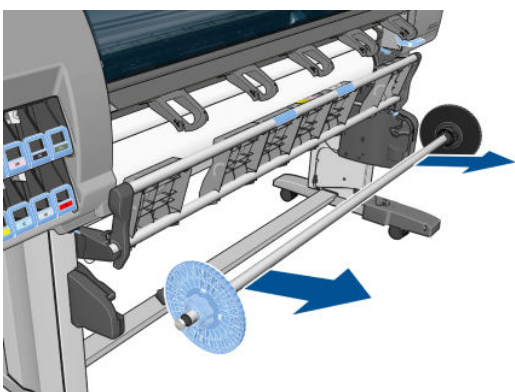
3. 取り付けテーブルが垂直に立っていることを確認します。



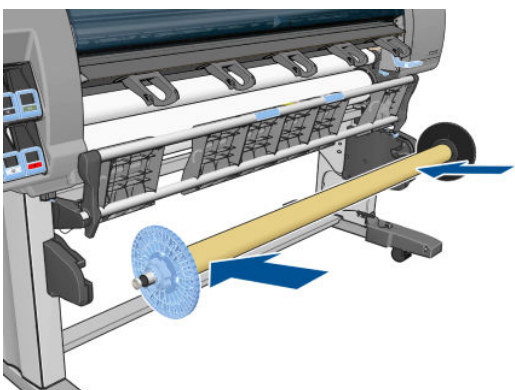
4. スピンドルレバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリールスピンドルのロックを解除します。



5. 巻き取りリールスピンドルを取り外します。



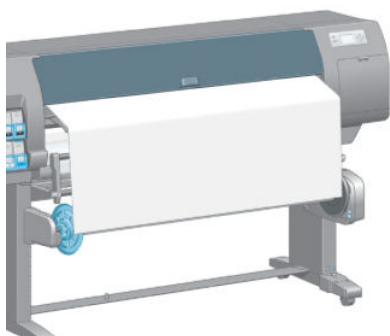
6. フロントパネル画面に巻き取りリールスピンドルの芯を巻き取りリールスピンドルに取り付ける手順が表示されます。タスクが終了したら、巻き取りリールスピンドルの両端をしっかりと押してプリンタに取り付けます。




7. フロントパネルの [OK] ボタンを押して、巻き取り方向を選択します。

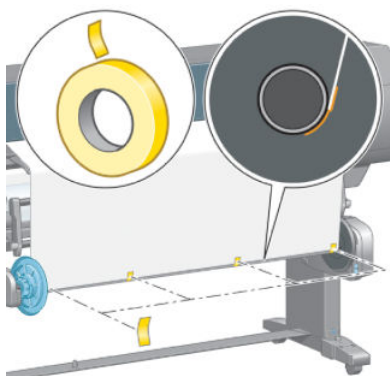
Select the printed roll winding direction
<input type="checkbox"/> Printed face outwards
<input type="checkbox"/> Printed face inwards


プリンタから用紙が排出されます。以下に示すように、用紙が取り付けテーブルの前を通過することを確認します。



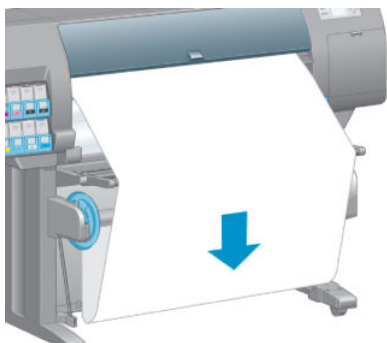
8. ピンと張った状態で、次の図の位置まで用紙を引き出します。プリンタから余分の用紙を *引き出さない* てください。粘着テープを使用して、用紙を芯に固定します。下の図に示されているよりも多くの粘着テープを使用する場合があります。用紙をしっかりと固定して、管状の芯(手順 12 で取り付けます)が張りに耐えられる必要があります。


 **注記** : 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、ピンと張った状態で用紙を引き出す必要はありません。印刷開始後に必要な長さで用紙がプリンタから排出されたら、用紙をスピンドルの芯にテープで止めます。




 **注記** : 用紙が芯に巻き取られる際に歪まないようにするために、用紙が真っすぐに取り付けられていることを確認します。用紙を合わせるには、芯の溝を使用すると便利な場合があります。

9. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。プリンタから用紙が排出されます。



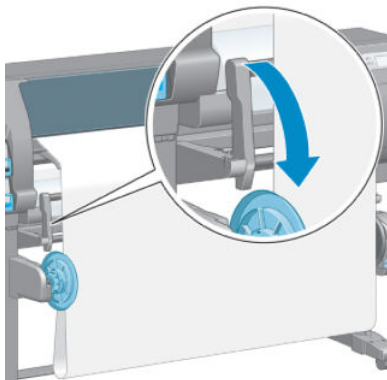
 **注記:** 必ず管状の芯を取り付けてください。管状の芯を取り付けないと、巻き取りリールが正常に機能しません。管状の芯にはエンドキャップが必要です。エンドキャップが取り付けられ、用紙の両端に達していることを確認します。

10. 形および色のラベルの付いたプラスチック管を組み合わせて、管状の芯を取り付けます。管状の芯の幅は、使用する用紙と同じ幅にする必要があります。両方のエンドキャップが管状の芯の両端にしっかりと取り付けられていることを確認します。

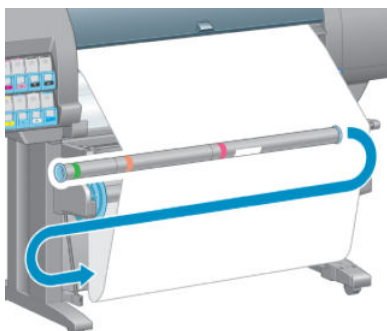
 **注記:** フロントパネル画面には、プリンタにセットしたロール紙の長さに基づき、管状の芯の必要な長さが表示されます。




11. 取り付けテーブルを静かに下げます。



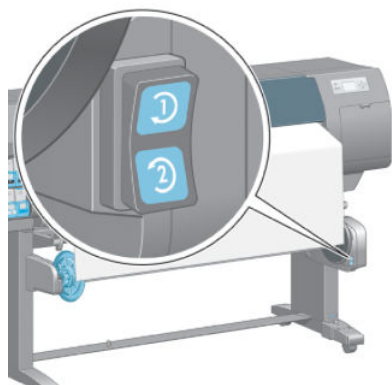
12. 管状の芯を静かに注意して挿入します。



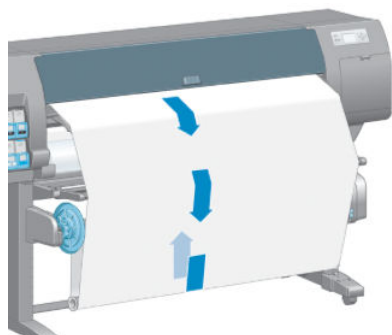
 **注記:** 必ず管状の芯を取り付けてください。管状の芯を取り付けないと、巻き取りリールが正常に機能しません。管状の芯にはエンドキャップが必要です。エンドキャップが取り付けられ、用紙の両端に達していることを確認します。


13. 巻き取りリール モーターの巻き取り方向スイッチを使用して、巻き取り方向を選択します。1に設定すると、印刷するイメージが上向きになるように用紙を巻き取ります。2に設定すると、印刷するイメージが下向きになるように用紙を巻き取ります。

手順7で設定した巻き取り方向に基づいて設定を修正するよう、フロントパネルに表示されます。




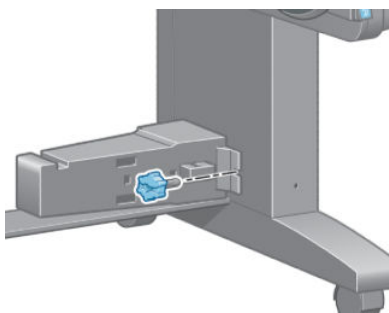
14. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。「巻き取りリールが正しく取り付けられました」というメッセージが表示されます。
15. 下の図に、印刷時のプリンタの様子を示します。プリンタから排紙された用紙が、ループ状になって垂れ下がってから巻き取りリールに巻き付いています。




 **注記：**巻き取りリールが動作している場合は、巻き取りリールセンサーが遮られていないことを確認してください。

 **注記：**巻き取りリールを使用すると、自動用紙カッターはオフになります。

 **注記：**プリンタを移動させたい場合、最初に巻き取りリールセンサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンド下部から取り外します。センサーとケーブル格納ユニットをプリンタ スタンドのクロスバーに合わせて配置し、図に示すように、プリンタの移動中に、青いプラスチック ネジを使用して格納ユニットをスタンドの脚部に固定します。格納ユニットを再度取り付ける場合、プリンタ スタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。

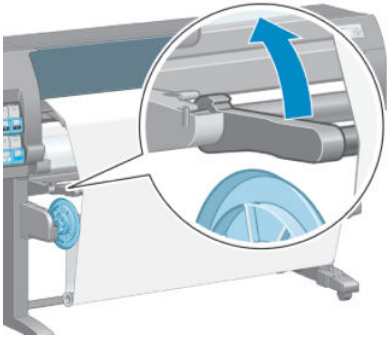


ロール紙を巻き取りリールから取り外す

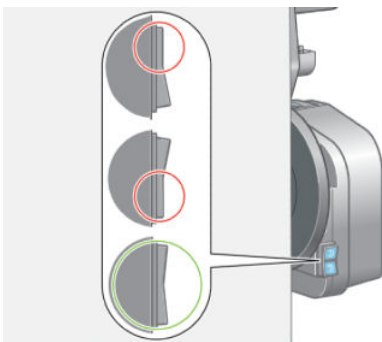
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【用紙の取り外し】-【巻き取りリールの取り外し】を選択します。

用紙がプリンタから排出され、カットが可能になります。

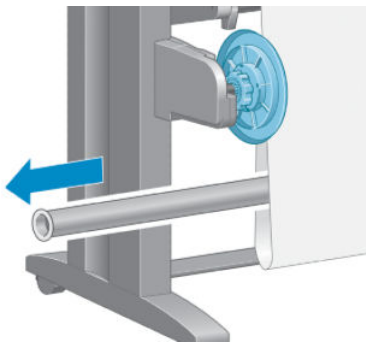
2. 取り付けテーブルを垂直に立つように上げます。



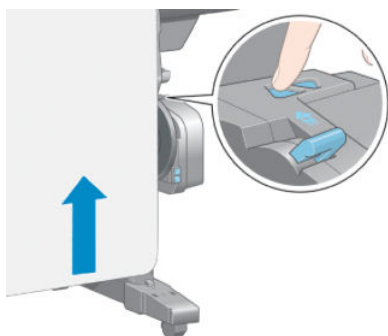
3. 巻き取り方向スイッチを【オフ】の位置にします。スイッチは中央がオフの位置です（つまり、スイッチが1および2のどちらの位置にもない状態）。




4. 管状の芯を取り外します。

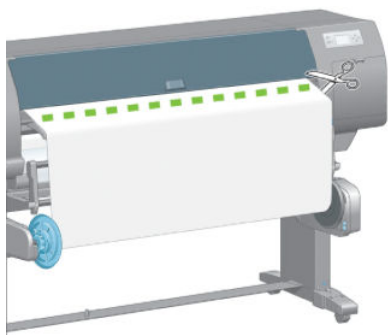


5. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な用紙を巻き取ります。

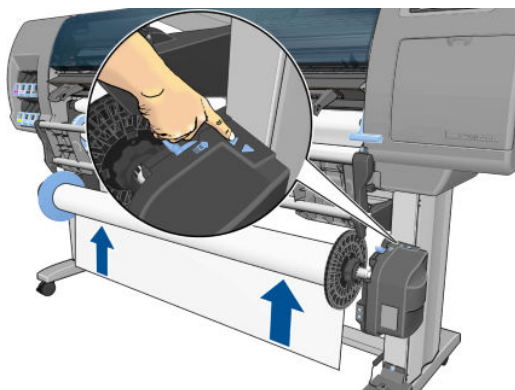


6. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。
7. 取り付けられた用紙の種類が自動用紙カッターに適しているかどうかプリンタによって認識されます。適している場合、用紙はカットされます。適していない場合、手動で用紙をカットします。

 **注記：**自動用紙カッターの機能は、一部の最も厚手の用紙の種類では無効になっています。これは、一部の厚手メディアではカッターが損傷する可能性があるためです。

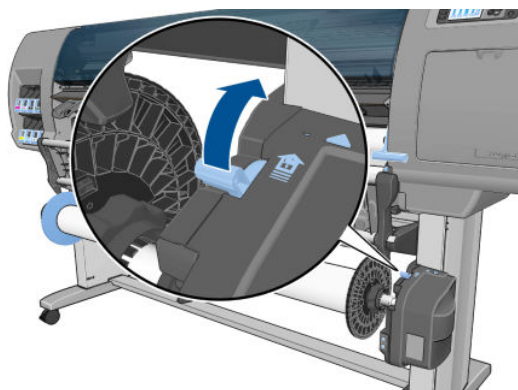


8. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリール スピンドルの余分な用紙を巻き取ります。

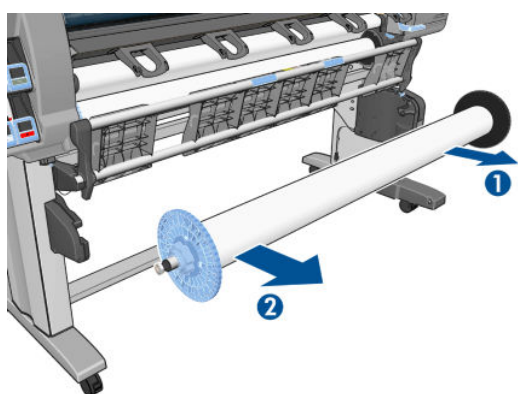


9. フロントパネルの [OK] ボタンを押します。
巻き取りリール スピンドルにある印刷物の量がフロントパネルに表示されます。

10. スピンドルレバーを最上部の位置まで押して、巻き取りリールスピンドルのロックを解除します。




11. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れないでください。



12. 巻き取りリールを取り外した後にプリンタからロールを取り外す場合は、[34ページのプリンタからロールを取り外す](#)を参照してください。

用紙に関する情報を表示する

プリンタのフロントパネルで、**i** ボタンを押します。または、 アイコンを選択し、**[取り付けられている用紙の表示]** を選択します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙のステータス
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (mm) (プリンタによる推定値)
- 用紙の長さ (mm) (プリンタによる推定値)
- カラー キャリブレーション ステータス
- 用紙送りのキャリブレーション ステータス


用紙が取り付けられていない場合は、「ステータス：用紙がありません」というメッセージが表示されます。

同じ情報が内蔵 Web サーバのサプライ品ページにも表示されます。


用紙送りのキャリブレーションを実行する


プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、印刷のイメージ品質を微調整する場合、用紙を送る間隔をキャリブレーションする必要があります。用紙送りのキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、[149 ページの「印刷品質の問題のトラブルシューティング」](#)を参照してください。

正確に用紙を送ることで、用紙に対して適切にドットを配置することができます。用紙が正確に送られないと、明るい帯または暗い帯が印刷イメージに現われ、イメージのざらつきが増える場合があります。


用紙の用紙送りのキャリブレーション ステータスを確認するには、 アイコンを選択し、次に **[取り付けられている用紙の表示]** を選択します。ステータス画面が表示されます。


- **デフォルト**：このステータスは、HP 純正用紙を取り付けると表示されます。帯状または粒上のムラなどのイメージ品質に関する問題が発生していない限り、用紙送りのキャリブレーションをすることはお勧めしません。
- **推奨**：このステータスは、新しい用紙を作成するときに表示されます。この用紙の用紙送り値は、ファミリの種類から継承されます。このような場合は、用紙送りのキャリブレーションを実行して値を最適化することをお勧めします。
- **OK**：このステータスは、取り付けられた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記**：プリンタのファームウェアを更新した場合には必ず、用紙送りのキャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。[140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。

 **注記**：半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、モノクロ&カラートレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、用紙送りのキャリブレーションに適していません。


用紙送りのキャリブレーションの概要

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[イメージ品質の保守]-[用紙送りのキャリブレーション]-[用紙送りのキャリブレーション]** を選択します。プリンタにより自動的に用紙送りのキャリブレーションが行われ、用紙送りのキャリブレーションイメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

 **注記**：キャリブレーションの処理には、約 6 分間かかります。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できるイメージが得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。イメージ品質に改善が見られる場合、手順 3 に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します。


[44 ページのデフォルトのキャリブレーションに戻す](#)を参照してください。

3. キャリブレーションを微調整するには、 アイコンを選択し、次に **[イメージ品質の保守]-[用紙送りのキャリブレーション]-[用紙送りの調整]** を選択します。
4. -100% ~ 100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。

5. フロントパネルの [OK] ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、すべての用紙送りのキャリブレーションが0に設定されます。デフォルトの用紙送りのキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [イメージ品質の保守] - [用紙送りのキャリブレーション] - [用紙送りのリセット] を選択します。
2. フロントパネルに作業の正常終了が表示されるまで待ってから、[戻る] ボタンを押して [印刷可能です] 画面に戻ります。

用紙プリセットのダウンロード

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを「用紙プリセット」といいます。

用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにインストールされています。


このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類を購入する場合は、フロントパネルからその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには3つの方法があります。

- フロントパネルまたは HP DesignJet Utility で、使用する用紙の種類になるべく近いカテゴリと種類を選択して、HP の工場出荷時の用紙プリセットを使用します。

 **注記**：カラーが正確ではない場合があるため、この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- 使用しているプリンタのモデルに応じて、<http://www.hp.com/go/Z6610/paperpresets/> または <http://www.hp.com/go/Z6810/paperpresets/> から適切な用紙プリセットをダウンロードします。


 **注記**：HP では、HP 用紙の種類に対するプリセットのみを提供しています。必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください。[140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。

- カスタム用紙の種類を追加します。[44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する](#)を参照して、HP 純正用紙と HP 純正以外の用紙の両方で必要な ICC プロファイルを作成します。

HP 純正以外の用紙を使用する

HP 純正用紙は、このプリンタでの使用について完全にテスト済みであるため、最高の印刷品質を得ることができます。


他のメーカーの用紙もお使いいただけますが、使用する前に、カスタム用紙の種類をプリンタに追加して、プリンタでカラーキャリブレーションを実行できるようにします。HP DesignJet Utility の HP Color Center を使用して、カスタム用紙を追加できます。


 **注記** : HP DesignJet Utility で **[ユーザー定義用紙]** - **[ユーザー定義用紙を追加]** をすでに選択した場合は、最初の **[ユーザー定義用紙を追加]** 画面が表示されるので、以下の手順 4 から作業を開始します。

1. HP DesignJet Utility で Color Center に移動します。
2. **[用紙の管理]** を選択します。
3. Windows の場合、**[ユーザー定義用紙を追加]** を選択します。Mac OS X の場合、**[+]** をクリックします。
4. 用紙名を入力します。


 **ヒント** : 別のユーザがすぐにわかるように、用紙の商品名を使用することをお勧めします。

5. 用紙のカテゴリを選択します。これは重要です。これにより、プリンタと用紙とのやり取りに必要ないくつかの基本パラメータが決まり、用紙の両側のプロパティが考慮されます。

 **ヒント** : 場合によっては、実際に最適な結果を出すものを見つけるために、さまざまな用紙カテゴリで試す必要がある場合があります。

ヒント : HP 純正用紙の各種類の特性に関する情報をフロントパネルから取得するには、 アイコンを選択し、**[用紙の種類のリスト]** - **[用紙のカテゴリ]** - **[用紙の種類]** - **[用紙の詳細を表示]** を選択します。この手順は、HP 純正以外の用紙を HP の同様の用紙の種類とマッチする場合に便利です。

6. カスタム用紙をプリンタに取り付けます。[33 ページのロールをプリンタに取り付ける](#)を参照してください。
7. **[次へ]** をクリックします。プリンタはカラーキャリブレーションを実行し、キャリブレーションチャートを印刷します。これには最大 10 分かかることがあります。

 **注記** : Color Center で利用可能なプロセスの詳細については、Z6810 に関しては[98 ページのカラーマネジメントプロセスの概要](#)を、Z6610 に関しては[102 ページのカラーマネジメントプロセスの概要](#)を参照してください。

8. 新しいキャリブレーションパラメータが計算されて保存されると、ICC プロファイルの作成を促すメッセージが表示されます。**[完了]** をクリックします。カスタム用紙が選択した用紙カテゴリに追加されます。
9. 最適なカラー精度で用紙に印刷する ICC プロファイルを作成するには、Z6810 については[100 ページのカラープロファイリング](#)を、Z6610 については[104 ページのカラープロファイリング](#)を参照してください。
10. 用紙送りのキャリブレーションを実行してください([43 ページの用紙送りのキャリブレーションを実行する](#)を参照)。カスタム用紙のデフォルトの用紙送り値は、用紙カテゴリから継承します。ただし、この値は、キャリブレーションによって改善できます。

乾燥時間をキャンセルする


フロントパネルの **[排紙/カット]** ボタン  を押します。


 **注意** : 乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

乾燥時間を変更する

特別な印刷条件に合わせるために、HP DesignJet Utility を使用して乾燥時間を変更できます。

1. HP Color Center を開きます。
2. [用紙プリセット管理] を選択します。
3. [印刷プロパティの変更] を選択します。
4. 用紙のカテゴリを選択します。
5. 用紙の種類を選択します。
6. [Dry Time] (乾燥時間) プルダウン メニューから乾燥時間を選択します。

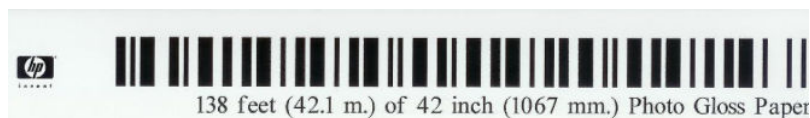
 **注記** : [自動] オプションが選択されている (すべての用紙の種類でデフォルトで選択されます) と、プルダウン メニューの右側のテキスト ボックスに時間が秒で表示されません。これは、[自動] オプションを選択すると、プリンタが印刷時の温度に基づいて最適な乾燥時間を計算するため、前もって乾燥時間を知ることができないことによります。

すべての用紙の種類で乾燥時間をオフにするには、 アイコンを選択して、[素材の取り扱い]-[乾燥時間の選択]-[オフ] を選択します。


乾燥時間の詳細は、[27 ページの乾燥時間](#)を参照してください。


用紙情報の印刷

[用紙情報の印刷] オプションはデフォルトで有効になってます。この設定では、用紙が取り外されるときにロールの先端に印刷されているバーコードを読み取ることで、残りのロールの長さが推定されます。




新しい未使用のロールを取り付ける場合、ロールに印刷済みのバーコードがないため、フロントパネルで長さの入力を要求します。取り外し時にバーコードに印刷される長さは、開始時に宣言した長さから印刷された長さを引いて計算されます。


 **注記** : 取り付け時にロールの長さが不明であると宣言し、後で同じロールを再取り付けすると、フロントパネルで長さを再度要求します。

[用紙情報の印刷] オプションを無効にするには、プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷設定]-[用紙オプション]-[用紙情報の印刷の無効化] を選択します。この場合は、長さは要求されず、バーコードは印刷も読み取りもされません。

用紙を給紙してカットする

フロントパネルで [排紙/カット] ボタン  を押すと、プリンタは用紙を送り、用紙は前面を横切ってまっすぐにカットされます。これが行われる理由はいくつかあります。

- 用紙が破れていたりまっすぐでない場合に、用紙の先端をカットするため
- 自動カッターが無効な場合に、用紙を排紙/カットするため
- プリンタが他のページのネスティングを待機中であるとき、待機時間をキャンセルして、印刷可能なページを直ちに印刷するため。

 **注記** : プリントヘッドは、印刷が終わるたびにサービスを受け、用紙は、プロセスが完了するまでカットできないため、遅れに気付く場合があります。

⚠ **注意** : 排紙トレイからカットの切れ端を取り出します。細長い切れ端や短い印刷物が排紙トレイに残っていると、プリンタは紙詰まりを起こす可能性があります。

用紙を保管する

用紙を保管する際のヒントは次の通りです。

- 用紙の変色を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの包装に包んでおくようにしてください。開封済みのロールは、未使用時には再度包装してください。
- ロールは積み重ねないでください。
- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する 24 時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムと光沢紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

用紙の注文

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

📖 **注記** : 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.globalbmq.com/hp> を参照してください。

販売国/地域を示すコード

- (E): ヨーロッパ、中東、アフリカ
- (J): 日本
- (L): 中南米
- (N): 北米

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

表 4-3 ロール紙

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
HP 普通紙とコート紙				
HP プラススーパー厚手マット紙	200	30.5m	610mm	Q6626B (ELN)
			914mm	Q6627B (AELN)
			1066 mm	Q6628B (ELN)
			1524 mm	Q6630B
HP プラススーパー厚手マット紙、3 インチ コア	200	61 m (2007ft)	914mm (36 インチ)	D9R36A
			1066 mm (42 インチ)	D9R37A (ELN)
			1372mm (54 インチ)	D9R38A
			1524 mm (60 インチ)	D9R39A

表 4-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号			
HP スタンダード普通紙	80	45.7 m (1507フート)	594 mm (23.4 インチ) (A1)	Q8003A (AJ) SA089A (2 個パック) (J)			
			610mm (24 インチ)	Q1396A SA025A (2 個パック) (J)			
			914mm (36 インチ)	Q1397A			
			1066 mm (42 インチ)	Q1398A			
			1117mm (44 インチ)	2NC45A			
		175 m (574フート)	914mm (36 インチ)	Q8751A (ELN)			
		90.1 m (3007フート)	594 mm (23.4 インチ) (A1)	Q8004A (AEJ)			
			841 mm (33.1 インチ) (A0)	Q8005A (AEJ)			
		HP インクジェット用上質普通紙	90	45.7m	421 mm (16.5 インチ) (A2)	Q1446A (EJ)	
					594 mm (23.4 インチ) (A1)	Q1445A (EJ)	
610mm (24 インチ)	C1860A (LN)						
610mm (24 インチ)	C6035A (EAJ)						
841 mm (33.1 インチ) (A0)	Q1444A (EAJ)						
914mm (36 インチ)	C6036A (EAJ)						
914mm (36 インチ)	C1861A (LN)						
914mm	914mm (36 インチ)				C6810A		
HP 厚手コート紙	131				30.5m	610mm	C6029C
						914mm	C6030C
		1066 mm	C6569C				
		1372 mm	C6570C				
		1524 mm	C6977C				
		68.5m	1066 mm	Q1956A (ELN)			
		1524 mm	Q1957A (ELN)				
HP コート紙	90	45.7m	420mm (A2)	Q1443A (J)			
			594mm (A1)	Q1442A (AEJ)			
			610mm	C6019B			
			841mm (A0)	Q1441A (EJ)			
			914mm	C6020B			
			1066 mm	C6567B			
			1372 mm	C6568B			

表 4-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号	
		91.4m	914mm	C6980A	
HP スタンダードコート紙	90	45.7m	610mm	Q1404B	
			914mm	Q1405B	
			1066 mm	Q1406B	
			1524 mm	Q1408B	
HP スタンダードコート紙、3 インチ コア	90	91.4 m (3007フート)	914mm (36 インチ)	L5C74A	
HP スタンダード厚手コート紙	131	30.5m	610mm	Q1412B	
			914mm	Q1413B	
			1066 mm	Q1414B	
			1524 mm (60 インチ)	Q1416B	
HP スタンダード厚手コート紙、3 インチ コア	131	61 m (1007フート)	914mm	D9R44B (LN)	
			1372 mm	D9R46B (LN)	
			1524 mm	D9R47B (LN)	
			91.4 m (3007フート)	914mm (36 インチ)	L5C80A
			1016mm (40 インチ)	L5C81A (LNE)	
HP フィルム (テクニカル&グラフィクス)					
HP クリアフィルム	174	22.9m	610mm	C3876A	
			914mm	C3875A	
HP マットフィルム	160	38.1m	610mm	51642A	
			914mm	51642B	
HP モノクロ&カラートレーシングペーパー	90	45.7 m (1507フート)	610mm	C3869A	
			914mm	C3868A	
HP フォト用紙					
HP 半光沢ラッピング紙、3 インチ コア	100	152.4 m (5007フート)	762mm (30 インチ)	Z6G71A	
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	200	30.5m	610mm	Q6574A	
			914mm	Q6575A	
			1066 mm	Q6576A	
			1524 mm	Q6578A	
		61m	1066 mm	Q8754A (ELN)	
		1524 mm (60 インチ)	Q8756A (ELN)		
HP ユニバーサル速乾性半光沢フォト用紙	200	30.5m	610mm	Q6579A	
			914mm	Q6580A	
			1066 mm	Q6581A	
			1270mm	Q6582A (ALN)	
			1524 mm	Q6583A	

表 4-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
		61m	1066 mm	Q8755A (AELN)
			1524 mm	Q8757A (ELN)
HP エブリデイ速乾光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q8916A
				SD709A (2 個パック) (J)
			914mm	Q8917A
			1066 mm	Q8918A
			1524 mm	Q8919A
HP エブリデイ速乾半光沢フォト紙	235	30.5m	610mm	Q8920A
			914mm	Q8921A
			1066 mm	Q8922A
			1524 mm	Q8923A
		61m	1524 mm	CG842A
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	260	22.9m	610mm	Q7991A (AELN)
		30.5m	914mm	Q7993A (AELN)
			1066 mm	Q7995A (AELN)
			1270mm	Q7997A (LN)
			1524 mm	Q7999A (AELN)
HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	260	22.9m	610mm	Q7992A (AELN)
		30.5m	914mm	Q7994A (AELN)
			1066 mm	Q7996A
			1270mm	Q7998A (AJLN)
			1524 mm	Q8000A
HP プレミアムマットフォト用紙	200	30.5m	610mm	CG459B
			914mm	CG460B
HP バックライト用紙				
HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	285	30.5m	914mm	Q8747A (AELN)
			1066 mm	Q8748A (AELN)
			594 mm (23.4 インチ) (A1)	Y3N93A (E)
			1372 mm	Q8749A (AELN)
			1524 mm	Q8750A
HP 粘着紙				
HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙、2 本パック	120	22.9m	610mm	COF18A (AELN)
	168 (裏地を含む)		914mm	COF19A (AELN)
			1066 mm	COF20A (AELN)
			1524 mm	COF22A (AELN)

表 4-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着マット紙 (3 インチ コア)	120 168 (裏地 を含む)	30.5 m (100フィート)	914mm	D9R24A (ELN)
			1066 mm	D9R25A (AELN)
			1270mm (50 インチ)	D9R26A (ELN)
			1524 mm	D9R27A (ELN)
HP エブリデイ ポリプロピレン 粘着光沢紙、2 本パック	140 190 (裏地 を含む)	22.9m	914mm	COF28A (AELN)
			1066 mm	COF29A (AELN)
HP スタンダード粘着ビニール	160 300 (裏地 を含む)	20m	610mm (24 インチ)	W4Y93A (ELN)
			914mm	C2T51A (2 個パック) (AELN)
			1066 mm (42 インチ)	C2T52A (2 個パック) (ELN)
HP スタンダード粘着ビニール	160 300 (裏地 を含む)	45.7 m (150フィート)	914mm	1AF11A (ELN)
			1016mm (40 インチ)	2HY31A (ELN)
HP サイン&バナー				
HP エブリデイ ポリプロピレン マット紙、2 本パック	120	30.5m	610mm	CH022A
			914mm	CH023A
			1066 mm	CH025A
			1270mm	CH026A
			1524 mm	CH027A
			61m	CH024A
HP エブリデイ ポリプロピレン マット紙、3 インチ コア	120	61 m (200フィート)	914mm	D9R28A
			1066 mm	D9R29A
			1270mm	D9R30A
			1524 mm	D9R31A
HP プレミアム ポリプロピレン マット紙、2 本パック	140	22.9m	914mm	C2T53A (ELN)
			1066 mm	C2T54A (ELN)
HP エブリデイ ブロックアウト ディスプレイ フィルム	220	30.5 m (100フィート)	914mm	Y3Z17A (ELN)
			1270mm (50 インチ)	Y3Z19A (E)
			1524 mm	Y3Z20A (ELN)
HP 耐久性半光沢ディスプレイ フィルム	265	15.2 m (50フィート)	914mm	Q6620B (ELN)
HP オパークスクリム	495	15.2m	914mm	Q1898C (AELN)
			1066 mm	Q1899C (AELN)
			1372 mm	Q1901C (LN)
			1524 mm	Q1902C (ELN)

表 4-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m ²	長さ	幅	製品番号
HP エブリデイ ブロックアウト ディスプレイフィルム	265	15.2 m (507インチ)	914mm	Q6620B (ELN)
HP 耐久バナー (DuPont™ Tyvek®)、2 本パック	133	22.9m	914mm	COF12A
			1066 mm	COF13A
			1524 mm	COF14A
HP 美術用紙				
HP プロフェッショナルマット キャンバス	392	15.2m	610mm	E4J59C (AELN)
			914mm	E4J60B (AELN)
			1066 mm	E4J61B (AELN)
			1117mm (44 インチ)	J3E86A (AELN)
			1524 mm	J3E87B (AELN)
HP アーティスト キャンバス (つ や消し)	390	15.2m	610mm	E4J54B
			914mm	E4J55B
			1066 mm	E4J56B
			1117mm (44 インチ)	E4J57A
			1524 mm	E4J58B
HP リトグラフ調マット紙、3 イ ンチ コア	269	30.5m	610mm	K6B77A
			914mm	K6B78A
			1117mm (44 インチ)	K6B80A
			1524 mm	K6B82A

推奨しない用紙の種類

通常、HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。ただし、以下の種類の用紙では、適切な結果を得られない可能性が高くなります。


- 膨張しやすいフォト用紙
- ブローシャ用紙

5 インクシステムの取り扱い

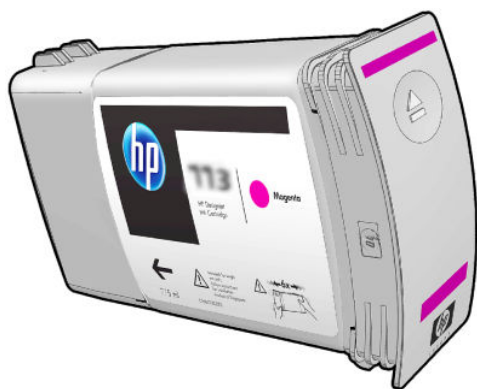
- [インクシステムコンポーネント](#)
- [インクシステムのヒント](#)
- [インクシステムコンポーネントの取り扱い](#)
- [インクサプライの注文](#)

インク システム コンポーネント


インクカートリッジ

 **注記：**本プリンターはダイナミック・セキュリティを搭載しています。HP 純正チップを使用したカートリッジのみでの使用を想定しています。HP のチップが搭載されていないプリントカートリッジは使用出来ない場合があります。現在使用が可能な場合でも、将来的に使用出来なくなる場合があります。詳細については以下をご参照下さい。www.hp.com/go/learnaboutsuppliesからインストールパッケージにアクセスします。


プリンタのインクカートリッジはプリントヘッドにインクを供給します。- Z6810 の場合: マットブラック、クロマティックレッド、マゼンタ、イエロー、ライトマゼンタ、シアン、フォトブラック、ライトグレー、Z6610 では マットブラック、イエロー、ライトマゼンタ、シアン、フォトブラック、ライトグレーです。



インクカートリッジには、保守やクリーニングは必要ありません。各インクカートリッジは、取り付け前によく振ってからスロットにしっかりと差し込むと、プリントヘッドにインクが供給されます。プリントヘッドでページに転写されるインクの量が調節されるため、インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

 **注意：**インクカートリッジを取り扱う際は、静電気の放電に対して敏感なピン、リードおよび内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは ESD センシティブデバイスと呼ばれます。[217 ページの用語集](#)を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

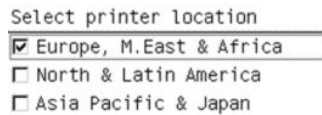
各インクカートリッジは、カートリッジラベルの「77X」の後の文字 (A、B、または C) によって示された、世界の特定の国/地域でのみ使用できます ([77 ページのインクサプライの注文](#)を参照)。プリンタを別の国/地域に移動した場合、次の方法でプリンタの国/地域を 1 回変更できます。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
2. [インクカートリッジの交換] がハイライトされますが、選択しないでください。
3. [キャンセル] ボタンと [下矢印] ボタンを同時に押し、2 秒間以上押し続けます。
4. フロントパネルで一連の警告メッセージが表示されます。各メッセージに対して、[キャンセル] ボタンを押して処理を取り消すか、[OK] ボタンを押して処理の続行を確定します。
5. フロントパネルに国/地域を選択を求めるメッセージが表示されます。[55 ページのプリンタの国/地域を選択](#)を参照してください。

プリンタの国/地域を変更した場合は、当然のこととして新しい国/地域の適切なインクカートリッジをインストールする必要があります。

プリンタの国/地域の選択

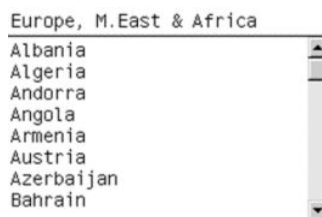
1. フロントパネルに、プリンタが存在する国/地域の選択を求めるメッセージが表示されます。



2. 世界地図が表示され、選択された国/地域が強調表示されます。

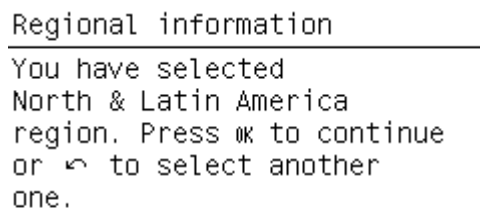


3. その国/地域に含まれている国の詳細なリストを表示するには、下矢印を押します。




選択内容が正しいことを確認したら、[OK] を押して続行します。

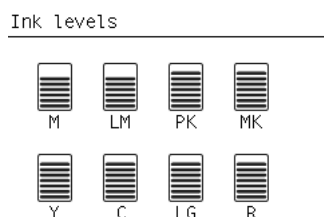
4. プロセスの最後に、選択した国/地域についての情報画面が表示されます。



5. [OK] を押すと、プリンタが再起動します。

インクカートリッジの交換

インクカートリッジのインク残量を確認するには、 アイコンを選択し、[インク容量の表示] を選択します。




カートリッジのインク残量が少なくなると、フロントパネルに警告メッセージが表示されます。カートリッジが空になると、印刷が停止し、フロントパネルに原因を示すメッセージが表示されます。

カートリッジが空になった場合は、新しい HP のカートリッジと交換することをお勧めします。
[77 ページのインクサプライの注文](#)、[58 ページのインクカートリッジを取り外す](#)、および
[60 ページのインクカートリッジを挿入する](#)を参照してください。

補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジの使用は、以下の重大な欠点があります。

- プリンタが破損する危険があります。この場合は、カートリッジに関連するプリンタの修理に対してプリンタ保証は無効になります。同様に、インクの汚れによる問題に対してもプリンタ保証は無効になります。
- インクシステム全体（インクチューブを含む）を交換するまで、プリンタで引き続き使用される同じカラーのすべてのプリントヘッドの保証は無効になります。
- 印刷品質が低下する可能性があります。
- プリンタはカートリッジ内のインク残量を推定できなくなり、インク残量を空と報告します。


インク残量が空であると判断したカートリッジをプリンタにまだ使用させるには、以下の手順に従う必要があります。


1. カートリッジをプリンタに取り付けます ([60 ページのインクカートリッジを挿入する](#)を参照)。
2. カートリッジが空なので、プリンタはカートリッジの交換処理を開始します。[キャンセル] ボタンを押して、この自動処理を停止します。
3. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
4. [インクカートリッジの交換] がハイライトされますが、選択しないでください。
5. [キャンセル] ボタンと [上矢印] ボタンを同時に押し、2 秒以上押し続けます。
6. フロントパネルで一連の警告メッセージが表示されます。各メッセージに対して、[キャンセル] ボタンを押して処理を取り消すか、[OK] ボタンを押して処理の続行を確定します。


すべての警告メッセージに対して [OK] を押した場合は、フロントパネルでインクカートリッジの通常のステータス表示が行われ、カートリッジは空の警告サインで表示されます。

セーフモード

環境仕様外でのプリンタの動作などの特定の条件の下や、インクカートリッジの再利用、補充、または偽造が検出された場合、プリンタは「セーフ」モードで動作します。HP は、環境使用外で動作する印刷システムや、使用済み、補充または偽造インクカートリッジが取り付けられた印刷システムのパフォーマンスは保証できません。セーフモードは、プリンタとプリントヘッドを予期しない条件による損傷から保護するためのモードであり、内蔵 Web サーバに「!」が表示されているときはセーフモードで動作しています。パフォーマンスを最大限に高めるため、HP 純正インクカートリッジを使用してください。HP 純正インクとプリントヘッドを含む HP DesignJet 印刷システムは、どのような印刷でも妥協のない印刷品質、一貫性、パフォーマンス、耐久性、および価値を実現できるようにセットで設計されています。

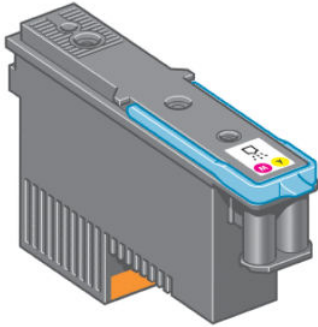
 **注記:** このプリンタは、再利用可能なインクシステムを使用するようには設計されていません。印刷を再開するには、インク連続供給システムを取り外し、HP 純正カートリッジ(または互換性があるカートリッジ)を取り付けます。

 **注記:** このプリンタは、インクカートリッジが空になるまで使用するようには設計されています。空になる前にカートリッジを補充すると、プリンタが故障する可能性があります。このような場合、印刷を続行するには新しいカートリッジ(正規版の HP カートリッジまたは互換性があるカートリッジ)を取り付けます。

 **注記**：本プリンターはダイナミック・セキュリティを搭載しています。HP 純正チップを使用したカートリッジのみでの使用を想定しています。HP のチップが搭載されていないプリントカートリッジは使用出来ない場合があります。現在使用が可能な場合でも、将来的に使用出来なくなる場合があります。詳細については以下をご参照下さい。(www.hp.com/go/learnaboutsupplies) からインストールパッケージにアクセスします。

プリントヘッド


プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。各プリントヘッドにはインクカートリッジの接点とノズルが2つずつありますが、これは、1つのプリントヘッドが2つの異なる色で印刷することを意味します。たとえば、以下のプリントヘッドはマゼンタとイエローで印刷します。




プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要はありません。プリントヘッドは、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも、品質を高水準に維持します。

最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。


最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

プリントヘッドのステータスを確認するには、 アイコンを選択し、**[プリントヘッドステータスの表示]** を選択します。

 **注意**：インクカートリッジを取り扱う際は、静電気の放電に対して敏感なピン、リードおよび内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは ESD センシティブ デバイスと呼ばれます。[217 ページの用語集](#) を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなる場合があります。

メンテナンスカートリッジ

プリントヘッドクリーナは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、印刷品質を最高水準に保ちます。また、プリントヘッドの未使用時に、プリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。


 **注記**：保守カートリッジには液体が含まれています。したがって、保守カートリッジは平らな面上向きにして保管します。



インクシステムのヒント

最高の結果を得るために、常に以下のガイドラインに従ってください。

- 保証の終了日より前に、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジを取り付けてください。
- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタおよびメンテナンスカートリッジが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドの不必要な取り外しはできるだけ避けてください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルに、取り外しと取り付けの手順が表示されます(または、[58 ページのインクカートリッジを取り外す](#)および[60 ページのインクカートリッジを挿入する](#)を参照)。
- インクシステムの消耗品を廃棄する際は、適用されるすべての法律や規則に従ってください。


 **注意：**インクカートリッジは、よく振ってから取り付けます。[60 ページのインクカートリッジを挿入する](#)を参照してください。

インク システム コンポーネントの取り扱い


インクカートリッジを取り外す


インクカートリッジは、次の2つの理由がある場合、取り外す必要があります。

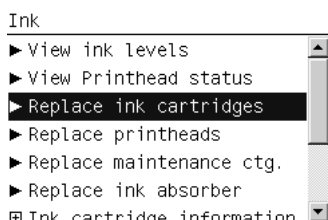
- インクカートリッジの残量が残りわずかなため、無人の印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合。最初のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます。
- インクカートリッジが空になったまたは問題があり、印刷を続行するために交換する場合。

 **注意：**インクカートリッジの取り外し処理は、フロントパネルで行う必要があります。インクカートリッジは、フロントパネルに指示が表示されるまで取り外さないでください。

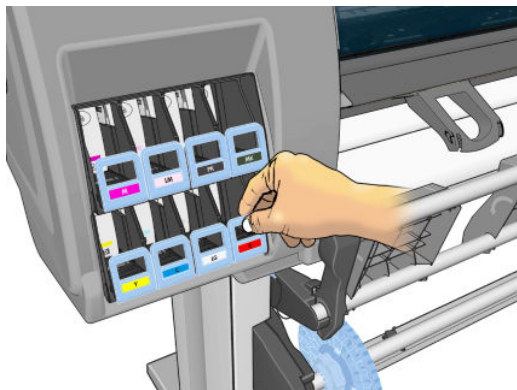
注意：インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

 **警告！**プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

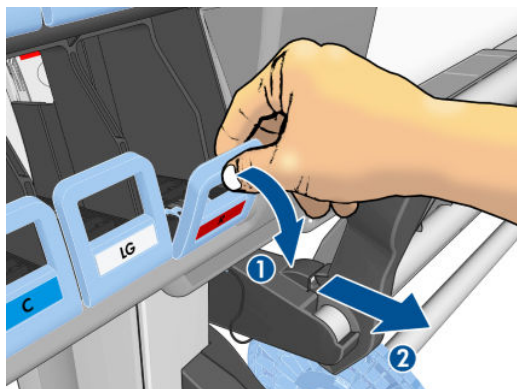
1. フロントパネルで  アイコンを選択し、**[インクカートリッジの交換]**を選択します。



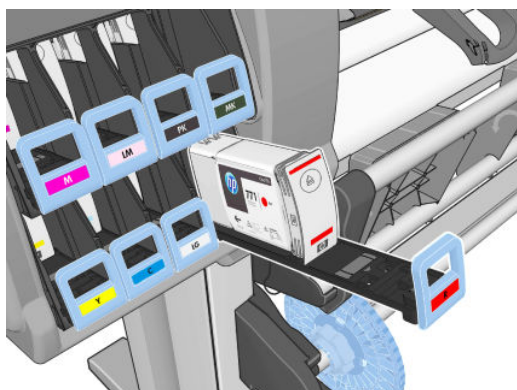
2. 取り外したいカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。



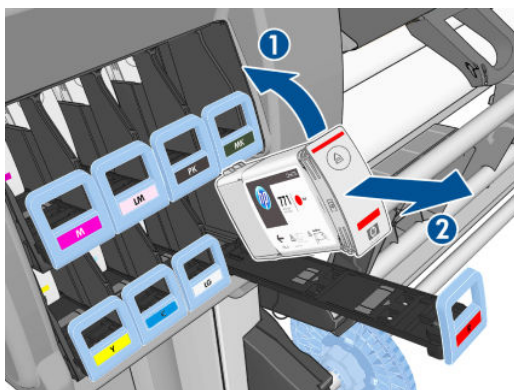
3. 青いタブを下に引いてから、手前に向けて外側に引き出します。




4. カートリッジが引き出しに乗ったまま出てきます。



5. インクカートリッジを引き出しから取り出します。

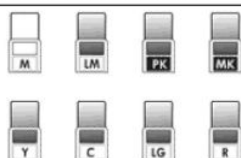


 **注記：** プリンタとの接続部分にインクが付着していることがありますので触らないでください。

 **注記：** 一部使用済みのインクカートリッジを保管しなければならないときは、プリンタに挿入されていたときと同じ姿勢で保管します。立てて保管されていた一部使用済みのインクカートリッジは、引き続き使用しないでください。

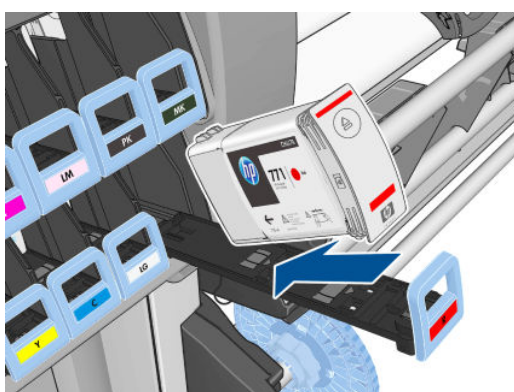
6. フロントパネルに、インクカートリッジが取り付けられていないことが表示されます。

Ink cartridge missing.
Install ink cartridge



インクカートリッジを挿入する

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。ラベルが手前から見て上部に見えるように、インクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いているスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. カートリッジを 15 秒間よく振ります。
4. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに挿入します。

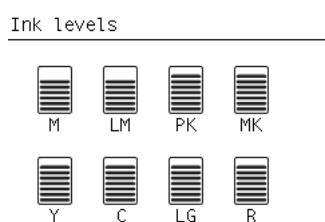


5. カートリッジを挿入した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。



取り付けにくい場合は、[172 ページのインクカートリッジを挿入できない](#)を参照してください。

6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

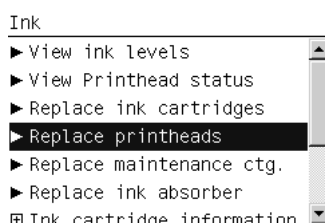


プリントヘッドを取り外す

- ⚠ 警告!** プリンタのキャスターがロックされ(プレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

プリントヘッドの交換は、必ず、プリンタの背面にある電源スイッチをオンにしてから行ってください。

1. フロントパネルで  アイコンを選択して、**[プリントヘッドの交換]** を選択します。



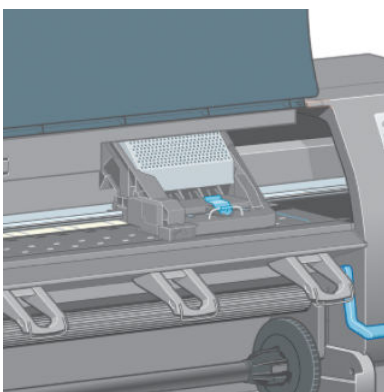
2. キャリッジが適切な位置に移動します。

- ⚠ 注意:** キャリッジは、取り外し位置に移動してから3分以上、プリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

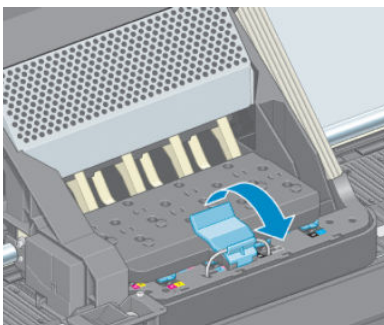
3. キャリッジが停止したら、プリンタのウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



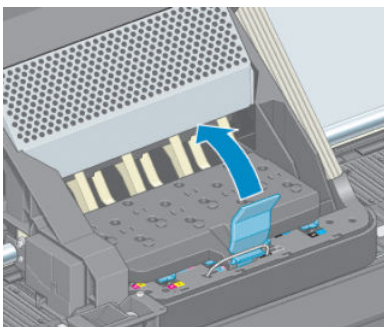
4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。



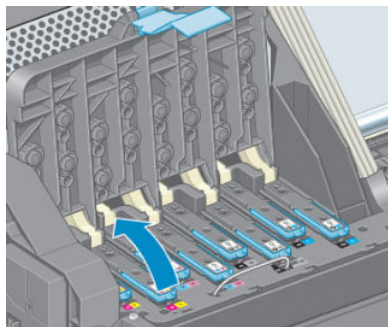
5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。



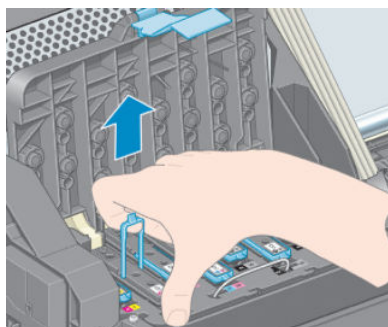
6. カバーを持ち上げます。これでプリントヘッドにアクセスできるようになります。



7. プリントヘッドを取り外すには青いハンドルを持ち上げます。

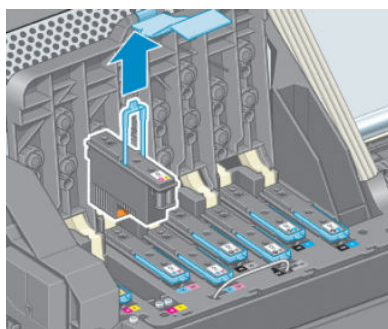


8. 持ち上げた青いハンドルを使用し、プリントヘッドを静かに取り外します。



9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

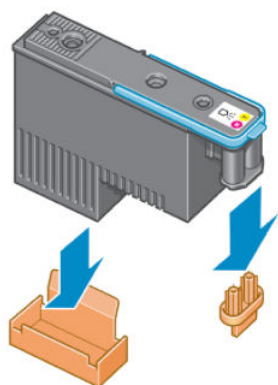
△注意：急いで引き上げないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。



10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

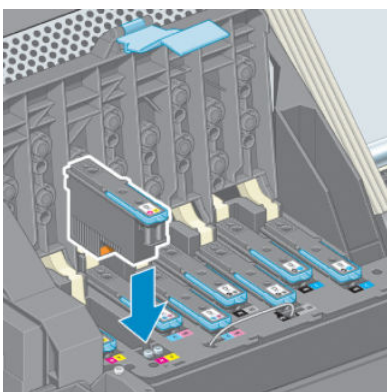
プリントヘッドを取り付ける

1. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

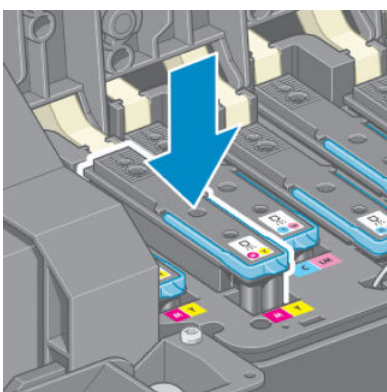


2. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付け先のキャリッジスロットのラベルの色が合っていることを確認してください。
3. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

⚠ 注意：プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

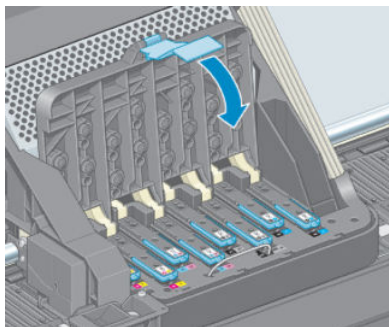


4. 矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

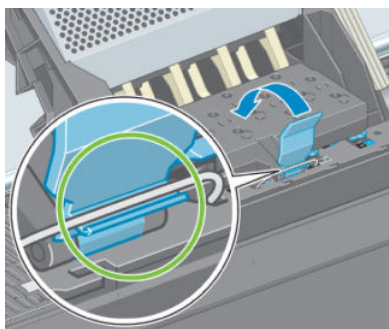


⚠ 注意：新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、[172 ページのプリントヘッドが挿入できない](#)を参照してください。

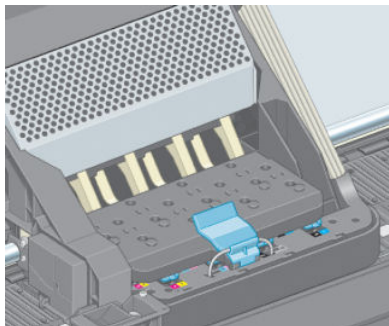
5. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジカバーを閉じます。




6. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤーループに掛かっていることを確認します。



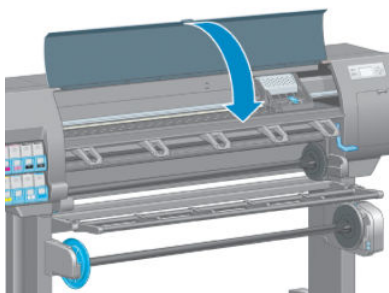
7. ハンドルをキャリッジカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：**プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに**交換**というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。


8. プリンタのウィンドウを閉じます。




9. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理


はデフォルトで18分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、処理にかかる時間が延び、最大で30分ほどかかることがあります。プリントヘッドを1つだけ交換した場合は、10~20分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、用紙が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[69ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

プリントヘッドをクリーニング(修復)する

多くの問題は、プリントヘッドのクリーニングを行うことで解決できる場合があります。プリントヘッドをクリーニングするには、プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に[プリントヘッドのクリーニング]を選択します。クリーニングを行うプリントヘッドを指定します。すべてのプリントヘッドまたは一部のプリントヘッドをクリーニングできます。

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5分ほどかかります。2つのプリントヘッドをクリーニングするには、3分ほどかかります。

 **注記：**すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。


 **注記：**プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、または、長期間の保管後に印刷した際カラーに一貫性がない場合、ジョブを印刷する前にプリントヘッドからインクを除去することをお勧めします。プリントヘッドからインクを除去すると、色調を最大にそろえることができます。ただし、プリントヘッドの状態に問題がある場合には**解決策にはなりません**。

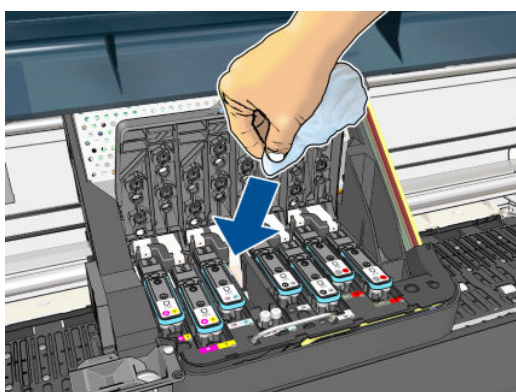
プリントヘッドの電極をクリーニングする

プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッドキャリッジが接触する電極部分に、インクが付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすることを推奨します。しかし、特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

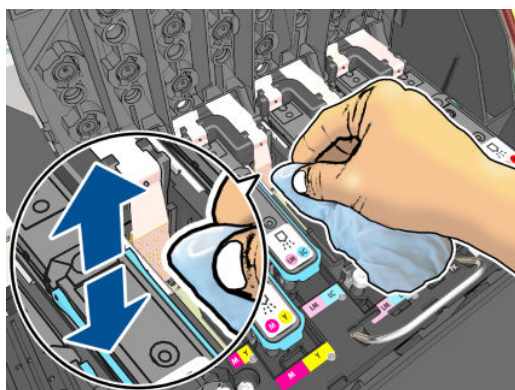
「再度取り付けて下さい」または「交換して下さい」というメッセージがプリントヘッドの横にあるフロントパネルに表示され続ける場合、吸収性のあるきれいな柔らかい布にイソプロピルアルコールを少し付けて、プリントヘッドキャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. プリントヘッドキャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題のプリントヘッドを取り外します。[61ページのプリントヘッドを取り外す](#)を参照してください。
2. 指を布で覆い、プリントヘッドスロットの奥に差し込みます。

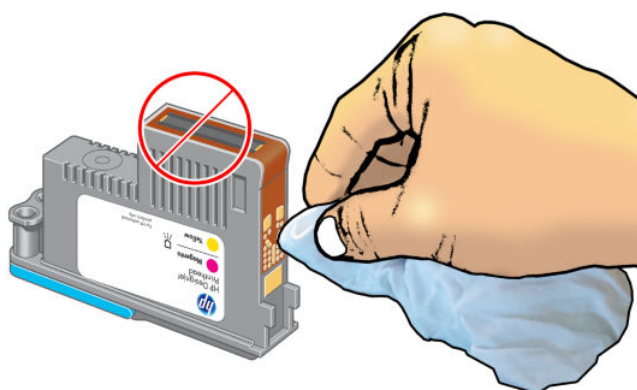
 **注意：**キャリッジがプリンタの中央部分に放置されている時間が7分を超えると、右端の通常的位置に戻ります。



3. 布を軽く動かし、フレックスコネクタの底まで電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。



4. コネクタの底の部分の電極も含めた、すべての電極を慎重にクリーニングします。
5. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じ布を使用して、プリントヘッドの電極ストリップをクリーニングします。プリントヘッドのノズルに触れないでください。



⚠ 注意： 破損しやすいため、ノズルがある面には触らないでください。

6. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ってから、プリントヘッドをプリントヘッドキャリッジに取り付けます。 [63 ページのプリントヘッドを取り付ける](#) を参照してください。
7. 布は洗うか捨ててください。手や服にインクが付かないように注意してください。

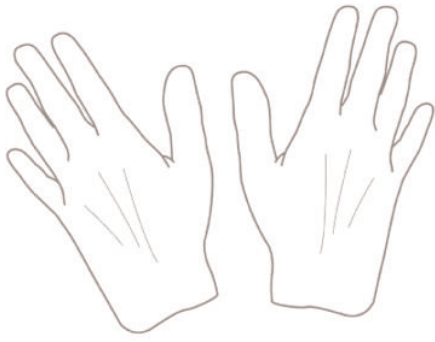
フロントパネルに「再度取付けて下さい」または「交換して下さい」というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、日本 HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。


プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング

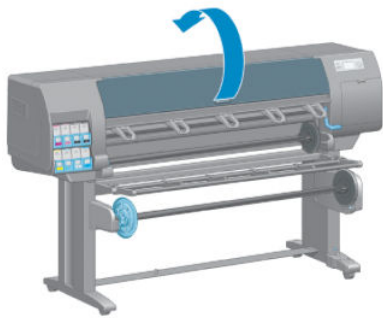
プリントヘッドドロップ検出器は、プリントヘッドの印刷しないノズルを検出するセンサーです。検出した場合は他のノズルを代用できます。小片（繊維、髪の毛、用紙の切れ端など）がセンサーを遮っている場合は、印刷品質が影響を受けます。

フロントパネルで、ドロップ検出器のクリーニングが必要であると警告メッセージが表示されたら、クリーニングをお勧めします。すぐにクリーニングしなくても、プリンタの正常な動作には影響はありませんが、フロントパネルで警告の表示が続きます。

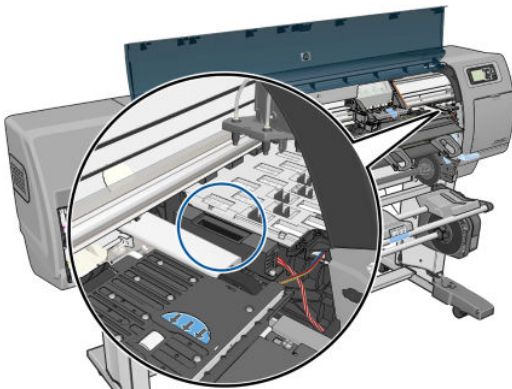
⚠ 注意： 手にインクが付かないように手袋をはめてください。



1. プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、次に【プリントヘッドの交換】を選択します。
2. フロントパネルでプリンタの電源をオフにします。
3. 感電を防ぐために、プリンタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
4. プリンタのウィンドウを開きます。

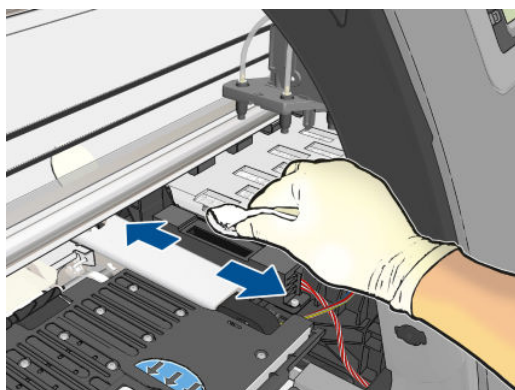


5. プrintヘッドキャリッジの右側でPrintヘッドドロップ検出器を探します。

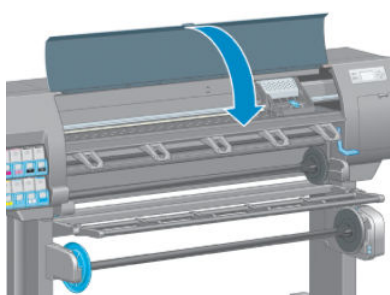


6. プrintヘッドドロップ検出器を遮っている小片を取り除きます。

7. 糸くずのでない乾いた布でドロップ検出器の表面を拭き取り、目に見えない粒子を取り除きます。



8. プリンタのウィンドウを閉じます。





9. プリンタの電源コードを差し込み電源を入れます。
10. フロントパネルでプリンタの電源をオンにします。

プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。


用紙の紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

 **注記**：用紙の紙詰まりが発生したら、プリントヘッドを取り付け直し、イメージ品質の保守メニュー  から軸合わせ手順を再度実行することをお勧めします。

 **注意**：プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

プリントヘッドを再度取り付ける手順


1. 軸合わせのやり直し処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの **[キャンセル]** ボタンを押してください。

 **注意**：軸合わせのやり直し処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。[イメージ品質の保守]メニューの手順から軸合わせをやり直すことができます。

2. 使用する用紙を取り付けます (25 ページの「[使用方法 \(用紙\)](#)」を参照)。幅 457.2mm 以上の用紙を使用する必要があります。

 **注意**：プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。


3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。[61 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[63 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ手順が開始されます。
4. ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。
5. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

 **注記：** プリンタからキャリブレーションイメージが印刷されます。イメージについては気にしないでください。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

[イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます ([25 ページの「使用方法 \(用紙\)」](#)を参照)。幅 457.2mm 以上の用紙を使用する必要があります。

 **注意：** プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

2. フロントパネルでイメージ品質の保守アイコン  を選択し、次に[**プリントヘッドの軸合わせ**]を選択します。プリンタによって、軸合わせの実行に必要な十分な用紙が取り付けられているかどうかを確認されます。
3. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。
4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャンエラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合は、スキャンの問題に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、軸合わせを繰り返してからでないと、高い印刷品質で印刷できません。問題の原因として次が考えられます。


- 使用した用紙が無効である。有効な用紙で軸合わせを繰り返します。
- プリントヘッドの状態に問題がある。プリントヘッドをクリーニングします。[172 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照してください。
- ウィンドウを開けて軸合わせを行った。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

プリントヘッドをクリーニングし、有効な用紙を使用して、ウィンドウを閉じて実行しても問題が解消されない場合は、スキャニングシステムに問題がある可能性があり修理する必要があるか、クリーニングしたプリントヘッドが正常に働いていない可能性があり交換する必要があります。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、プリントヘッドの信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

「イメージ診断の印刷」を印刷するには、以下の手順を実行します。

1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルの ⓘ ボタンを使用して、選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。
3. プリンタのフロントパネルで、イメージ品質の保守アイコン  を選択して、**[診断画像を印刷]** を選択します。

「イメージ診断の印刷」の印刷には2分ほどかかります。

印刷は2つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート1(上部)は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート2(下部)は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート1を補完するものであり、特に、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

印刷を注意深く確認してください。カラーの名前が長方形の上と破線パターンの中央に表示されます。

図 5-1 イメージ診断の印刷 - Z6810

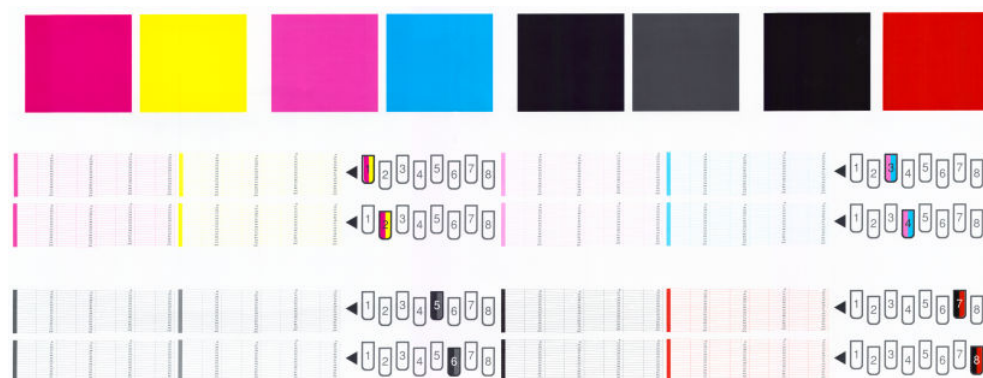
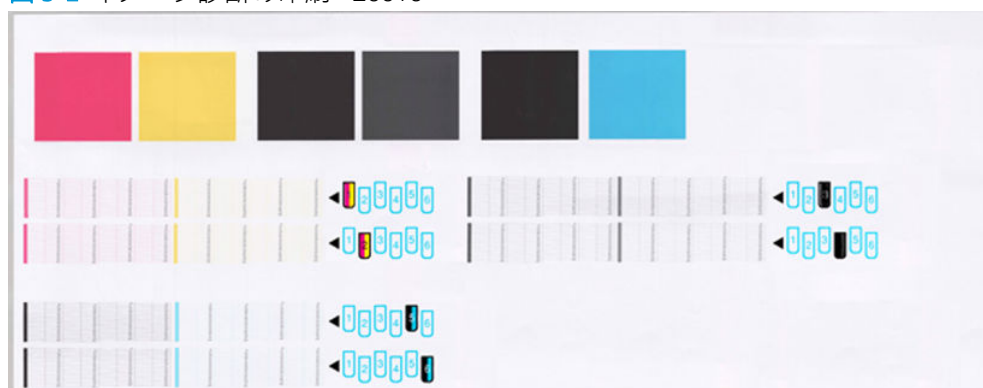


図 5-2 イメージ診断の印刷 - Z6610

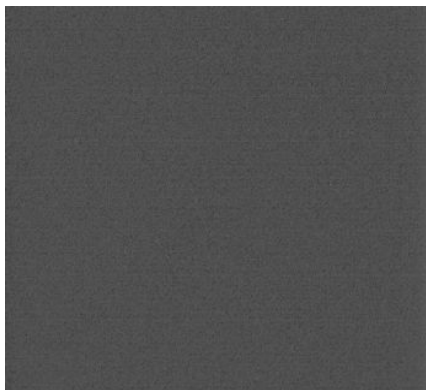


最初に印刷の上部を見てください(パート1)。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

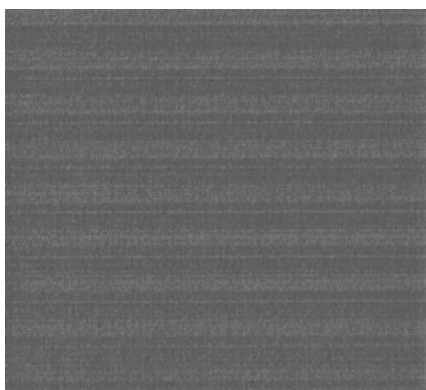
次に、印刷の下部を見てください(パート2)。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート1に水平の線が表示され、パート2に同じカラーの破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート2の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

以下は、良い状態のグレーのプリントヘッドの印刷例です。



以下は、悪い状態の同じプリントヘッドの印刷例です。



解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします ([172 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照)。次に、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください ([172 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドドロップ検出器のクリーニングを行ってください。通常は、必要に応じて通知が行われますが、通知のない場合でも試す価値はあるかもしれません。 [67 ページのプリントヘッドドロップ検出器のクリーニング](#)を参照してください。
5. 問題がまだ解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換するか ([53 ページの「インクシステムの取り扱い」](#)を参照)、HP サポートにお問い合わせください ([183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)を参照)。


保守カートリッジを取り外す

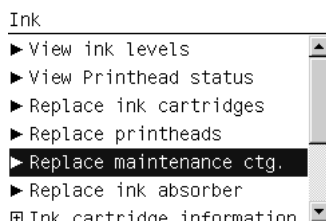
保守カートリッジの交換が必要な場合、フロントパネルにメッセージが表示されます。保守カートリッジを取り外す際は、次の注意事項に従ってください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外した保守カートリッジには、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外した保守カートリッジを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

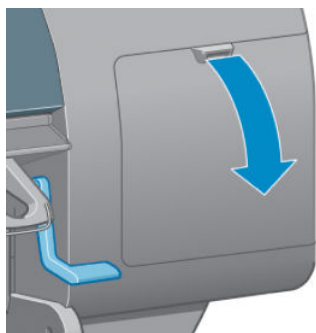
⚠ **注意** : 保守カートリッジがほぼ一杯の場合はフロントパネルにメッセージが表示されます。完全に一杯になると、もう一度フロントパネルにメッセージが表示され、交換が必要となります。フロントパネルの [OK] ボタンを押して警告を無視し、印刷を続行することができます。ただし、フロントパネルに表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換することを強くお勧めします。警告を無視すると、プリンタに重大な損傷を与える可能性があります。

⚠ **警告** ! プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

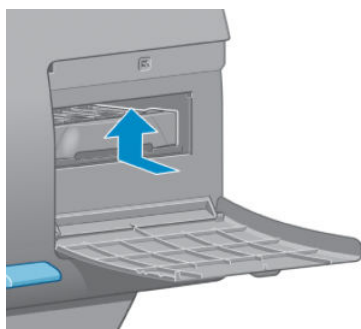
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【保守カートリッジの交換】を選択します。



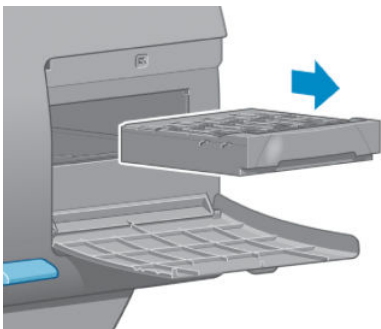
2. メンテナンスカートリッジは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。ドアを開きます。



3. メンテナンスカートリッジの前面にハンドルがあります。カートリッジを取り外すには、矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。カートリッジが固定位置から外れます。



4. 保守カートリッジを持ち上げてスロットから取り外し、水平に取り出します。

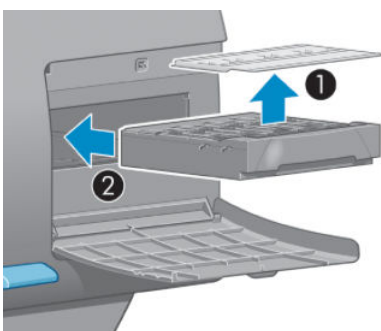


[74 ページの保守カートリッジを取り付ける](#)も参照してください。

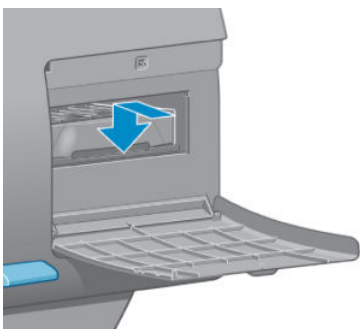
保守カートリッジを取り付ける

新しい保守カートリッジが入っていた袋は、古い保守カートリッジを捨てる際に使用できます。


1. メンテナンスカートリッジを、該当するスロットに、下の図の矢印の方向に挿入します。



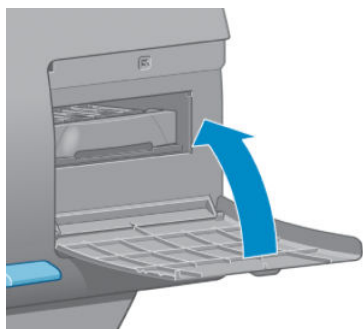
2. 保守カートリッジが奥まで入ったら、下の図の矢印のように、奥に押しながらカチッと音がするまで下方向に押し下げます。



取り付けにくい場合は、[172 ページのメンテナンスカートリッジを挿入できない](#)を参照してください。

 **注記：** ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいメンテナンスカートリッジは表示されません。

3. メンテナンスカートリッジをプリンタに取り付け終わったら、ドアを閉めます。



注記 : 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジをすべて取り付ける必要があります。

4. 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

注記 : サプライ品を交換したら、プリンタのウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

インクシステムのステータスを確認する

1. 埋め込み Web サーバにアクセスします。 [18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#) を参照してください。
2. [メイン] タブのサプライ ページに移動します。

The screenshot shows the HP Designjet Z6810ps Production printer's web interface. The 'Supplies' page is active, displaying various status information. At the top, there is a color bar with labels M, LM, PK, MK, Y, LC, LG, R. Below this, there are sections for Paper, Cartridges, Supported ink cartridges, Printheads, and Maintenance cartridge. The Cartridges section is a table with columns for Ink cartridge, Status, Ink level, Capacity, Warranty status, and HP Order Information.

Ink cartridge	Status	Ink level*	Capacity	Warranty status	HP Order Information
M HP 771 Magenta	OK	80 %	225 ml	In warranty	CE025A
LM HP 771 Light magenta	OK	84 %	225 ml	In warranty	CE025A
PK HP 771 Photo black	OK	96 %	225 ml	In warranty	CE027A
MK HP 771 Matte black	OK	84 %	225 ml	In warranty	CE021A
Y HP 771 Yellow	OK	80 %	225 ml	In warranty	CE024A
LC HP 771 Light cyan	OK	83 %	225 ml	In warranty	CE026A
LG HP 771 Light gray	OK	88 %	225 ml	In warranty	CE028A
R HP 771 Red	OK	96 %	552 ml	In warranty	CE038A

Supported ink cartridges: 771 / 771C / 773 / 773C / 774 / 774C

Printhead	Status	Warranty status
M-Y HP 774 Magenta-Yellow 1	OK	In warranty
M-Y HP 774 Magenta-Yellow 2	OK	In warranty
LM-LC HP 774 Light magenta-Light cyan 3	OK	In warranty
LM-LC HP 774 Light magenta-Light cyan 4	OK	In warranty
PK-LG HP 774 Photo black-Light gray 5	OK	In warranty
PK-LG HP 774 Photo black-Light gray 6	OK	In warranty
MK-R HP 774 Matte black-Red 7	OK	In warranty
MK-R HP 774 Matte black-Red 8	OK	In warranty

Maintenance cartridge: Status OK, Level -, HP Part number CH644A

Ink Absorber: Status OK, Level -


Note: *Estimate only. Actual supply level may vary. Please see help page for details.

[サプライ品] ページには、インクカートリッジ(インク残量など)、プリントヘッド、保守カートリッジ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

インクカートリッジ情報の表示

フロントパネルまたは HP DesignJet Utility を使用して、インクカートリッジの情報を表示できます。

フロントパネルの手順


1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に[インクカートリッジ情報]を選択します。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルには、以下の情報が表示されます。
 - カラー
 - 製品名
 - サポートされるインクカートリッジ
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - ステータス
 - インク残量(該当する場合)
 - 容量
 - 使用期限日
 - 保証期限
 - 製造元

HP DesignJet Utility での手順


- Windows 用の HP DesignJet Utility では、[概要] タブを開きます。[サプライ品ステータス]-[カートリッジ]の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- Mac OS X 用の HP DesignJet Utility では、[プリンタ ステータス]を選択します。

プリントヘッド情報の表示

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に[プリントヘッド情報]を選択します。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルには、以下の情報が表示されます。
 - カラー
 - 製品名
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - ステータス(207 ページの「[フロントパネルのエラーメッセージ](#)」を参照)
 - 使用済みインク量
 - 保証期限

HP DesignJet Utility を使用して、コンピュータで上記の情報を確認することもできます。

 **注記:** 保証期限が「保証に関する注記を参照」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。「HP 製以外」のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、『法律情報』を参照してください。

インク サプライの注文

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。(*)

表 5-1 インクカートリッジ

カートリッジ	パーツ番号	地域	Z6610	Z6810
HP 774 775 ml クロマティックレッド DesignJet インクカートリッジ	P2W02A	全世界		x
HP 773B 775ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q29A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773B 775ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q31A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773B 775ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	C1Q32A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773B 775ml ライトマゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q33A	アジア、太平洋、日本		x
HP 773B 775ml シアン DesignJet インクカートリッジ	C1Q34A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773B 775ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q35A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773B 775ml ライトグレー DesignJet インクカートリッジ	C1Q36A	アジア、太平洋、日本	x	x
HP 773C 775ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q37A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773C 775ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q39A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773C 775ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	C1Q40A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773C 775ml ライトマゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q41A	ヨーロッパ、中東、アフリカ		x
HP 773C 775ml シアン DesignJet インクカートリッジ	C1Q42A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773C 775ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q43A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773C 775ml ライトグレー DesignJet インクカートリッジ	C1Q44A	ヨーロッパ、中東、アフリカ	x	x
HP 773A 775ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q21A	米国	x	x
HP 773A 775ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q23A	米国	x	x
HP 773A 775ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	C1Q24A	米国	x	x
HP 773A 775ml ライトマゼンタ DesignJet インクカートリッジ	C1Q25A	米国		x

表 5-1 インクカートリッジ (続き)

カートリッジ	パーツ番号	地域	Z6610	Z6810
HP 773A 775ml シアン DesignJet インクカートリッジ	C1Q26A	米国	x	x
HP 773A 775ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q27A	米国	x	x
HP 773A 775ml ライトグレー DesignJet インクカートリッジ	C1Q28A	米国	x	x

(*) Z6810 フォト プロダクション プリンタおよび Z6610 プロダクション プリンタでも HP771 インクカートリッジを使用できます (詳細については hp.com をご覧ください)。

表 5-2 プリントヘッド

パーツ番号	プリントヘッド	Z6610	Z6810
P2V97A	HP 774 マットブラック/クロマティック レッド DesignJet プリントヘッド		x
P2V99A	HP 774 マゼンタ/イエロー DesignJet プリントヘッド	x	x
P2V98A	HP 774 ライトマゼンタ/ライトシアン DesignJet プリントヘッド		x
P2W00A	HP 774 フォトブラック/ライトグレー DesignJet プリントヘッド	x	x
P2W01A	HP 774 マットブラック/シアン DesignJet プリントヘッド	x	

表 5-3 メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ	パーツ番号
HP 771 DesignJet メンテナンスカートリッジ	CH644A

6 印刷オプション

- [印刷ジョブを作成する](#)
- [印刷品質の選択](#)
- [試し印刷をする](#)
- [高品質で印刷する](#)
- [用紙サイズを選択](#)
- [マージンオプションを選択する](#)
- [印刷を拡大縮小する](#)
- [印刷をプレビューする](#)
- [16ビットカラーイメージの印刷](#)
- [重なった線の処理方法を変更する](#)
- [切り取り線を印刷する](#)
- [イメージを回転させる](#)
- [グレー階調で印刷する](#)
- [用紙を節約する](#)
- [用紙を節約するためにジョブをネスティングする](#)
- [インクを節約する](#)

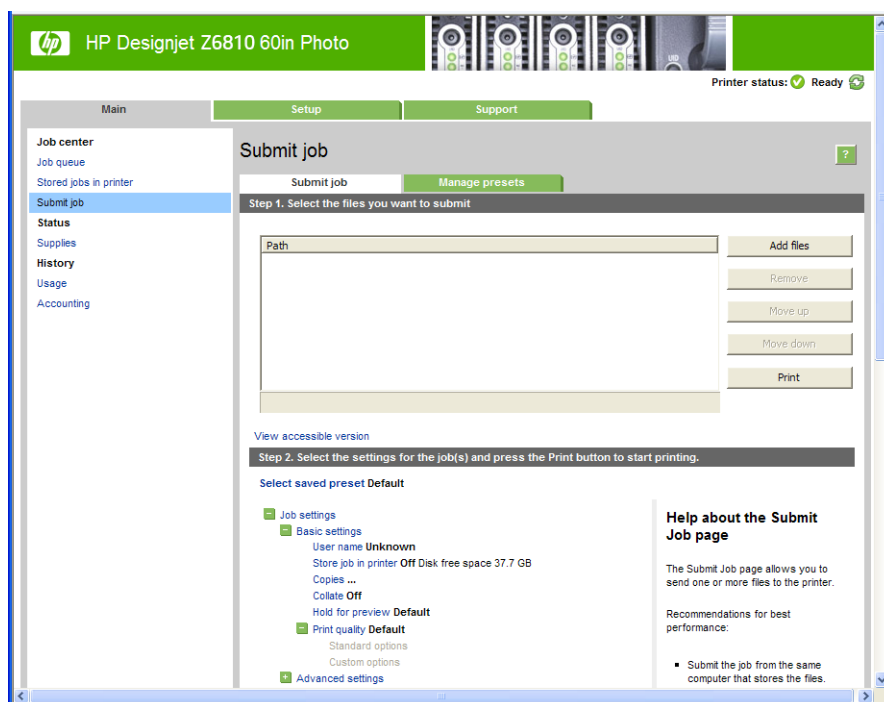
印刷ジョブを作成する

何かを印刷するには、その印刷物をプリンタに送信する必要があります。これにより印刷ジョブが構成され、プリンタの印刷キューに入ります。印刷ジョブをプリンタに送信する主要な方法は次の2つあります。

- プログラムから直接印刷するには、通常どおりプログラムの【印刷】コマンドを使用します。プリンタを選択すると、ジョブをプリンタに送信するプリンタドライバが呼び出されます。
- サポートされているグラフィカル形式のファイルがすでにある場合は、プリンタドライバを経由せずに、埋め込み Web サーバを使用してジョブをプリンタに直接送信できます (以下を参照)。

埋め込み Web サーバを使用したファイルの印刷

HP DesignJet Utility または内蔵 Web サーバで、ジョブセンターグループの【ジョブの送信】を選択します。以下のウィンドウが表示されます。



【ファイルを追加】ボタンを押して、印刷するコンピュータからファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- PDF*
- PostScript*
- TIFF*
- JPEG*
- HP-GL/2
- CALS/G4

* PS/PDF アップグレードキットがインストールされている場合にのみサポートされます。

注記：ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、.plt や .prn などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定(用紙サイズ、向き、サイズ変更、部数など)で生成された場合、**[印刷]** ボタンを押すだけでプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、**[ジョブの設定]** セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を**[デフォルト]**のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

保存ジョブの印刷

ファイルを埋め込み Web サーバで印刷する場合は、プリンタに永続的に保存するジョブをマークできます。

埋め込み Web サーバの**[メイン]** タブで**[プリンタに保存されたジョブ]** を選択すると、保存ジョブのリストが表示されます。各ジョブには以下の情報が表示されます。

- ジョブの名前
- ジョブのサイズ
- プリンタがジョブを受信した日時
- ジョブを送信したユーザの名前

任意の列のタイトルをクリックして、その列の情報でリストをソートできます。

1つ以上のジョブをリストから選択し、リストの上部のボタンを使用して、ジョブに以下の操作を実行できます。

- **[印刷]**：選択されたジョブは、元からの設定で印刷されます。ジョブの進捗状況を**[ジョブキュー]** ページで確認できます。
- **[印刷の詳細設定]**：選択されたジョブの設定が表示されますが、それらの設定を変更できます。新しい設定を保存するには、**[保存]** ボタンを押し、ジョブを印刷するには、**[印刷]** ボタンを押します。
設定の値は、選択されたすべてのジョブで同じ値を持つ場合にのみ表示されます。そうでない場合はハイフンが表示されます。
- **[削除]**：選択されたジョブはプリンタから完全に削除されます。


印刷品質の選択

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。


したがって、標準の印刷品質セレクタはスライダになっており、これを使用して品質と速度間の選択が可能です。


その他の方法としては、ユーザ定義オプションの**[高品質]**、**[標準]**、および**[高速]**の中から選択します。**[高速]**を選択した場合、**[Economode]**を選択することもできます。Economodeでは、より低いレンダリング解像度が使用され、消費するインクが少なくなります。したがって、印刷速度はさらに向上しますが、印刷品質は下がります。**[Economode]**はユーザ定義オプションからのみ選択できます(スライダから選択することはできません)。


印刷品質に影響する2つの追加カスタム オプションも提供されています。**[最大解像度]**と**[単方向]**です。[82 ページの高品質で印刷する](#)を参照してください。

 **注記**：Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度と印刷解像度が**[用紙/品質]** タブに表示されます。Mac OS X の**[プリント]** ダイアログでは、**[一覽]** パネルに表示されます。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。[標準オプション] を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。ユーザー定義オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動して [品質オプション] セクションを確認します。[標準] 品質オプションを選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。カスタム 品質オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] を選択します。次に [標準オプション] を選択すると、[速度] および [品質] 間の選択が可能です。ユーザー定義オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- フロントパネルを使用する場合：セットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] を選択します。

 **注記**：コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

 **注記**：プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

試し印刷をする

高速の試し品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [速度] を選択します。

以下の手順で Economode を使用して、さらに高速で試し品質の印刷を指定できます。これは、テキストや線画のみを含む文書を主に想定しています。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。[ユーザー定義オプション] を選択し、品質レベルを [高速] に設定して、[Economode] チェックボックスをオンにします。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動して品質オプションを [ユーザー設定] に設定し、品質を [高速] に設定して [Economode] チェックボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高速] に設定し、[Economode] を [オン] に設定します。

高品質で印刷する

高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。


- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：[用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [品質] を選択します。

印刷はデフォルトで双方向です (用紙を横断して双方向に移動するときプリントヘッドが印刷します) が、速度を犠牲にして品質を少し上げるために [単方向] 印刷を選択できます。[高速] 印刷品質を選択している場合、このオプションは使用できません。

高解像度のイメージがある場合


イメージの解像度がレンダリングの解像度よりも高い場合 (Windows ではドライバの [用紙/品質] タブで確認できます)、[最大解像度] オプションを選択して印刷の鮮明度を向上できます。このオプションは、光沢紙に [高品質] 印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- ドライバのダイアログ (Mac OS X の [プリント] ダイアログ) の場合：標準の印刷品質オプションではなくカスタムのオプションを選択し、[最大解像度] ボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に設定し、[最大解像度] を [はい] に設定します。


 **注記**：[最大解像度] オプションを選択すると、フォト用紙では印刷速度が遅くなりますが、インクの使用量は増えません。


用紙サイズの選択


用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。


 **注記**：ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。[85 ページの印刷を拡大縮小する](#)を参照してください。


- Windows ドライバのダイアログの場合：[用紙/品質] タブを選択し、次に文書サイズリストから用紙サイズを選択します。
- Mac OS X の [ページ設定] ダイアログの場合：[対象プリンタ] プルダウンメニューで使用するプリンタを選択し、次に [用紙サイズ] を選択します。

 **注記**：アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定] - [用紙] - [ページサイズ] - [標準] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：セットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [用紙オプション] - [用紙サイズの選択] を選択します。

 **注記**：コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。


 **注記**：スキューチェックを無効にすると、用紙の長さは幅の 4 倍と推定されます。

 **ヒント**：ドキュメントが 330×483mm (同じサイズのカット紙に合うように作成されている) の場合、文書サイズは [スーパー B/A3] を選択します。


カスタム用紙サイズ

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを選択するには、以下の手順を実行します。


- **Windows** では、以下の2つの方法があります。
 - － ドライバダイアログで、**[用紙/品質]** タブの **[カスタム]** ボタンを押し、新しい用紙サイズの名前と寸法を指定し、次に **[保存]** をクリックして新しい用紙サイズを保存します。PostScript ドライバで、カスタムサイズのリストに新しいカスタムサイズを表示するには、プリンタのプロパティを終了し、次に再度プリンタのプロパティを表示します(必要に応じて、**[詳細]** ボタンを使用します)。

 **注記:** ドライバでは、幅が長さを超える用紙サイズを作成することはできません。

- － **[スタート]** メニューで **[プリンタ]** を選択し、**[ファイル]** メニューで **[サーバーのプロパティ]** を選択します。**[用紙]** タブで **[新しい用紙を作成する]** ボックスをオンにして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、**[用紙の保存]** をクリックします。

 **注記:** 別のコンピュータに接続された共有プリンタを使用している場合は、これらのフォームは使用できません。

- Mac OS X の **[ページ設定]** ダイアログの場合：**[用紙サイズ]-[カスタムサイズを管理]** を選択します。


 **注記:** アプリケーションに **[ページ設定]** ダイアログがない場合は、**[印刷]** ダイアログを使用してください。

- 内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページの場合：**[詳細設定]-[用紙]-[ページサイズ]-[カスタム]** を選択します。

マージンオプションを選択する


デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には5mm マージンがあります。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windows** ドライバのダイアログの場合：**[用紙/品質]** タブを選択し、**[マージン/レイアウト]** ボタンをクリックします。

 **ヒント:** Windows PostScript ドライバの場合、**[文書サイズ]** リストから正しい選択を行っていることを確認します。**[オーバーサイズ]** または **[内容をマージンでクリップ]** のオプションを使用する場合は、「マージンなし」の文書サイズを選択します。

- Mac OS X の **[プリント]** ダイアログの場合：**[マージン/レイアウト]** パネルを選択します。
- 内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページの場合：**[詳細設定]-[用紙]-[レイアウト/マージン]** を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。


 **注記:** Mac OS X では、使用できるマージンオプションは **[ページ設定]** ダイアログで選択した用紙サイズによって異なります。

- **[標準]**：イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- **[オーバーサイズ]**：イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **[内容をマージンでクリップ]**：イメージに白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小(大体は拡大)するように指定することができます。これは、使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合に便利です。


プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：**[機能]** タブに移動して**[サイズ変更オプション]**セクションを確認します。
 - － **[文書を印刷する用紙]** オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
 - － **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲(ページからマージンをマイナスした範囲)を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合**：**[仕上げ]** パネルを選択し、次に**[文書を印刷する用紙]**を選択すると、イメージサイズが、選択した用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：**[詳細設定] - [サイズ変更]** を選択します。
 - － **[標準]** オプションと**[カスタム]** オプションを使用すると、イメージサイズが、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
 - － **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲(ページからマージンをマイナスした範囲)を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップアイコン  を選択し、次に**[印刷設定] - [用紙オプション] - [サイズ変更]** を選択します。

1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

 **注記：** スキュー チェックを無効にしてカット紙を取り付けた場合、カット紙の長さは測定されないの
で、印刷プレビューは最終的な出力の信頼できるガイドにはなりません。


- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
 - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
 - **[印刷プレビューの表示]** オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの **[用紙/品質]** タブと **[機能]** タブにあります。プレビューは、使用するプリンタとプリンタ ドライバによって異なる方法で表示される場合があります。
- Mac OS X では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
 - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
 - PostScript アップグレードのみの場合：アプリケーションの **[印刷中]** パネルの左下にある **[PDF]** メニューを開きます。 **[HP Print Preview]** オプションを選択すると、HP Print Preview アプリケーションが開き、印刷されるイメージの最終的な外観が表示されます。用紙のサイズ、用紙の種類、印刷品質を変更する機能や、イメージを回転する機能などの印刷機能は、その場で変更できます。
- 内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、**[ジョブの送信]-[基本設定]-プレビュー待ち** を選択します。

16 ビット カラー イメージの印刷

16 ビットの RGB イメージでは、主要な 3 つの各カラーは、16 ビット値でエンコードされるため、各ピクセルは最大 48 ビットを使用します。

16 ビットのカラー イメージをプリンタ ドライバで印刷する場合は、8 ビットのカラーに縮小されてからプリンタに送られます。

16 ビットのカラー イメージをプリンタに送信するには、イメージを 16 ビット カラーの TIFF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、次にプリンタ ドライバを経由せずにそのファイルをプリンタに直接送信します ([80 ページの埋め込み Web サーバを使用したファイルの印刷](#)を参照)。この場合は、16 ビットのカラー イメージに対してカラー マネジメントが行われるため、正確に実行されます。イメージは最終印刷で 8 ビット カラーに縮小されます。


 **ヒント：** 一部のアプリケーションでは、16 ビットのカラー イメージを JPEG 形式で保存することができません。また、アプリケーションによっては、自動的に 8 ビット カラーに縮小されることがあります。TIFF ファイルは一般に印刷が高品質であるためお勧めします。

重なった線の処理方法を変更する

 **注記：** このトピックは HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ適用されます。


マージオプションでは、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。以下の 2 種類の設定があります。

- オフ：線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これはデフォルトの設定です。
- On：線が交差している場合、2 つの線の色がマージされます。


マージをオンにするには、フロントパネルでセットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定]- [HP-GL/2 の設定]- [マージの有効化] を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージオプションを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

切り取り線を印刷する

切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。切り取り線は以下の方法を使用して各ジョブで自動的に印刷できます。

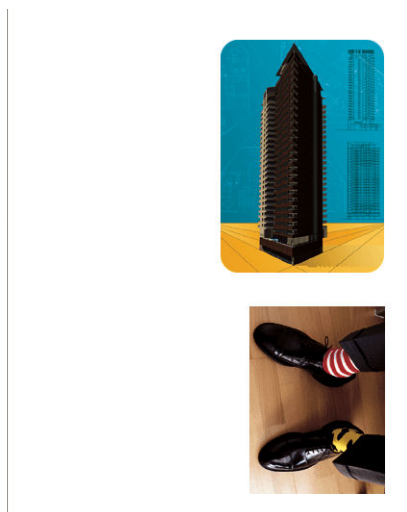
- Windows ドライバのダイアログの場合： [機能] タブを選択し、 [切り取り線の有効化] を選択します。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合： [仕上げ] パネルに移動し、 [切り取り線] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合： [詳細設定]- [ロール紙オプション]- [切り取り線の有効化] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： セットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定]- [用紙オプション]- [切り取り線の有効化]- [オン] を選択します。

ネスティングしたジョブ ([89 ページの用紙を節約するためにジョブをネスティングする](#) を参照) で切り取り線を印刷するには、以下の異なるオプションを選択する必要があります。

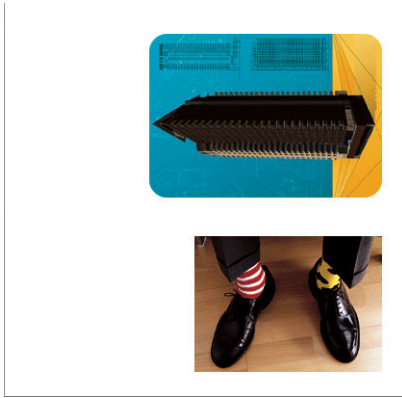
- 内蔵 Web サーバの場合： [ジョブ管理]- [ネスティング有効時に切り取り線を使用する]- [オン] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： セットアップアイコン  を選択し、次に [ジョブ管理]- [ネスティングの設定]- [切り取り線の有効化]- [オン] を選択します。

イメージを回転させる


デフォルトでは、イメージは次のように短い方の縁が用紙の上端に平行になるように印刷されます。





用紙を節約するため、次のようにイメージを 90 度回転させることができます。




以下の方法でこの作業を行うことができます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[機能] タブを選択し、次に [90°回転] を選択します。
- MAC OS X の [プリント] ダイアログの場合：[仕上げ] パネルに移動し、[90°回転] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[ロール紙オプション]-[回転] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：セットアップアイコン  を選択し、次に [印刷設定]-[用紙オプション]-[回転] を選択します。

 **注記**：コンピュータから回転を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

 **注記**：ジョブを回転させる際には、ページサイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにしなければならない場合があります。これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいからです。


 **注記**：イメージの向きを縦から横に変更すると、用紙の幅がイメージには足りない場合があります。たとえば、縦置きのア1サイズのイメージを横置き(90度)にしてア1サイズ用紙に印刷すると、イメージが用紙の幅からはみ出してしまいます。埋め込み Web サーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示されます。


自動回転


[自動回転] オプションは、これを行うと用紙が節約されると判断した場合にジョブを自動的に 90 度回転します。


自動回転を使用すると、ページを回転するかどうかの決定を印刷時まで延ばすことができます。これは、さまざまなロールサイズを使って定期的に作業し、ロールの条件が変更された場合にプロットがクリップしないようにしたり、用紙の幅を無駄にしないようにする場合に便利です。


自動回転を有効にするには、以下の手順を実行します。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[機能] タブを選択し、[自動回転] を選択します。
- MAC OS X の [プリント] ダイアログの場合：[仕上げ] パネルに移動し、[自動回転] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合：[詳細設定]-[ロール紙オプション]-[自動回転] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：セットアップアイコン  を選択し、[ジョブ管理]-[自動回転] を選択します。

 **注記**：コンピュータから自動回転を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

 **注記**：自動回転を有効にすると、[回転] オプションが無視されます。

 **注記**：自動回転の決定には、ページの既知の寸法が必要です。したがって、ジョブで、[印刷の開始]を[処理後]に設定し([115 ページのキュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)を参照)、可変寸法を使用できないようにする必要があります。可変寸法が発生するのは、[ルールに合わせる]または[上下の余白を削除]を使用する場合です。

 **ヒント**：ジョブがレンダリングされて再印刷が可能になったとき、ジョブの寸法や解像度によっては、自動回転に数分かかる場合があります。自動回転される再印刷の速度を上げるには、ルール設定が計画されたシナリオに合致するときにレンダリングするジョブを送信し、最後の自動回転は、ルール条件の予期しない変更を修正するためだけに残して置きます。これは、TIFF/JPEG/PS/PDF ジョブにのみ適用されます。

グレー階調で印刷する

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレースケールに変換できます。

- アプリケーションプログラムでの場合：多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- Windows ドライバのダイアログの場合：[カラー]タブで[カラー オプション]セクションを確認します。[グレースケールで印刷]を選択します。
- Mac OS X の[プリント]ダイアログの場合：[カラー オプション]パネルに移動し、[Mode] (モード)プルダウンメニューから[グレースケール]を選択します。
- 内蔵 Web サーバの[ジョブの送信]ページの場合：[カラー]-[カラー/グレースケール 純粋なグレー/グレースケール全プリントカートリッジ]-[グレースケールで印刷]を選択します。

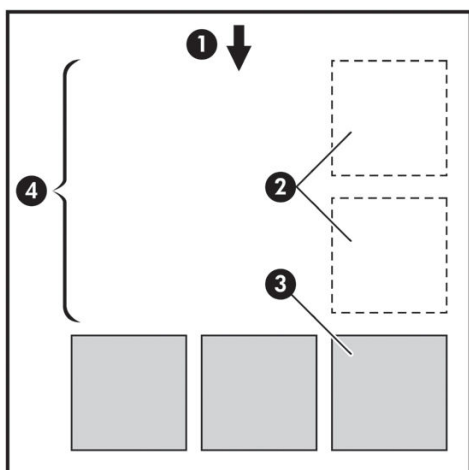
用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さなイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用して、順々に印刷するのではなく並べて印刷できます。[89 ページの用紙を節約するためにジョブをネスティングする](#)を参照してください。
- 比較的小さなページの複数の文書を印刷する場合は、最大 16 の文書を 1 枚の用紙に印刷できます。[機能]タブ (Windows ドライバの場合) または [レイアウト] パネル (MAC OS X ドライバの場合) で[用紙あたりのページ数]オプションを使用します。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
 - Windows ドライバのダイアログの場合：[機能]タブを選択し、次に[上下の余白を削除]および/または[90°回転]または[自動回転]を選択します。
 - MAC OS X の[プリント]ダイアログの場合：[仕上げ]パネルを選択し、次に[上下の余白を削除]および/または[90°回転]または[自動回転]を選択します。
 - 内蔵 Web サーバの[ジョブの送信]ページの場合：[詳細設定]-[ロール紙オプション]-[上下の余白を削除]または[回転]あるいはその両方を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[86 ページの印刷をプレビューする](#)を参照してください。

用紙を節約するためにジョブをネスティングする

ネスティングとは、イメージまたは文書の複数のページを順々にではなく同じ用紙に並べて自動的に印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙が進む方向
2. ネスティングオフ
3. ネスティングオン
4. ネスティングで節約される用紙

プリンタがページをネスティングする場合

フロントパネルの[ジョブ管理]メニューまたは埋め込み Web サーバの[ジョブ管理]ページで[ネスティング]が[オン]のとき。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。


ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが、同じ印刷品質の設定 ([Economode]、[高速]、[標準]、または[高品質]) であること。
- すべてのページで同じ[最大解像度]と[単方向]の設定であること。
- すべてのページで同じ[マージン設定]であること。
- すべてのページで同じ[左右反転]設定であること。
- すべてのページで[カッター]の設定が同じであること。
- すべてのページのカラー調整が同じである。[107 ページのカラー調整オプション](#)を参照してください。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している(2つのグループは同じネストに混在できない)。

- CALS/G4
- PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が 300dpi を超える解像度の JPEG、TIFF、および CALS/G4 ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後続くページがファイルにネスティングされているか、またはすでにキューにあるページにネスティングされているかを確認します。この待ち時間はネスティング待ちと呼ばれ、デフォルトで 2 分に設定されています。つまり、プリンタは、最後のファイルを受け取ってから、最後のネストを印刷するまでに最大 2 分間待機することになります。プリンタのフロントパネルからこの待ち時間を変更できます。セットアップアイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション]-[ネスティングの設定]-[待ち時間の選択] を選択します。使用可能な範囲は、1 ~ 99 分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルに表示されます。ネスティングの印刷 (ネスティング待ち時間のキャンセル) は、[\[排紙/カット\]](#) ボタンを押すことで実行できます。

インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ([速度]) まで移動させます。さらに経済的にするには、ユーザ定義オプションを選択し、**[高速]** および **[Economode]** を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、インクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用される必要があります。スリープモードが有効になっている場合でも、プリンタは自動的に起動して、プリントヘッドを良好な状態に保つために保守を実行します。
- 横向き印刷ジョブは、縦向き印刷よりもインクを効率的に使用します。また、プリントヘッドの移動回数が少なく、印刷の速度も速くなります。プリントヘッドの保守の頻度は移動回数に関連するため、移動回数が少ないほどプリンタが保守の準備に時間をかける回数が少なくなり、保守に使用されるインクの量も少なくなります。したがって、ジョブをネスティングすることで用紙を節約するとともにインクも節約できます ([89 ページの用紙を節約するためにジョブをネスティングする](#)を参照)。

※ **ヒント**：プリントヘッドを良好な状態に保つために、プリンタの電源を常にオンにするか、スリープモードにしておくことを強くお勧めします。

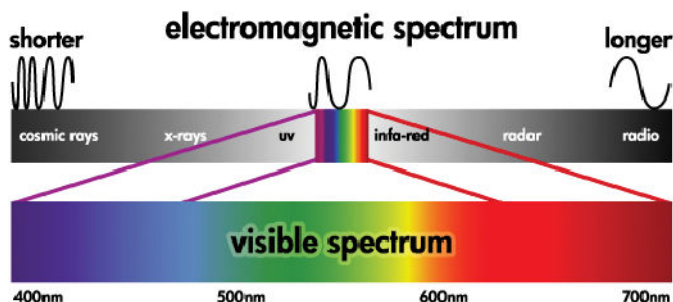
7 カラー マネージメント

- [色について](#)
- [問題：コンピュータの世界での色](#)
- [解決法：カラー マネージメント](#)
- [Z6810 プリンタとカラー](#)
- [Z6610 プリンタとカラー](#)
- [カラーマネージメント オプション](#)
- [カラー調整オプション](#)
- [HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション](#)
- [カラー エミュレーションモード](#)

色について

私たちを取り巻く世界にはさまざまな色が溢れていますが、色は私たちにとって、世界をどのように捉えるかを示す最初の姿です。色の認識には、目から脳に送られるいくつかの信号によって引き起こされる脳の活動に密接に関係していることがわかっています。これらの信号は、複雑で高度に結び付いた一連の処理段階を経て、目から送られてくる内容と、その他のあらゆる間接的な経験との関係を作ります。目から送られる信号は、目の後部に並ぶ光感受性細胞によって異なり、3つの種類があります。それぞれの種類は異なる物理的特性(波長)の電磁波を感受します。このような電磁波は光と呼ばれ、物体と光が相互作用する方法(発光、反射、吸収、透過、散乱など)により、物体にはそれぞれ色があるように見えます。

各個人が色に対して持つ認識は、それまでの経験や記憶、そしてその経験を言語化する方法によって影響されます。また、色に対する知覚は、明暗の変化、対象の内容、他の色との近似性など、環境要因から影響を受けるため、これらの要因はディスプレイや印刷物の色を認識する上で必ず存在する要素となります。これらのすべての側面(個人の生理的な違いから、過去の経験や記憶、言語的傾向における違いまで)で違いがあるため、1つの対象から反射される同じ光を見ても、色について話す内容は人によって異なります。ただ一方では、個人が色をどのように経験するかには多くの類似点があるため、そのプロセスで注意を払うことにより、非常に具体的な色の分別を他者と共有することも可能です。結論として、色とは、光、対象、および見る側の相互作用の結果によるものであるため、非常に複雑で、極めて主観的な事象であると言えます。




問題：コンピュータの世界での色

プリンタ、ディスプレイ、プロジェクタ、テレビなどのカラーイメージングデバイスは、さまざまな方法および材料(色材)を使用して色を生み出します。たとえば、ディスプレイでは、赤(長い波長)、緑(中間の波長)、青(短い波長)の光を放出する色材を使用します。また、白を出力するためには3つの色材すべてを最大限に使用し、黒を出力するためにはいずれの色材も使用しない(どの光も放出されない)ようにします。光を放出する色材を使用するデバイスは、デバイスから届く光が見る側の目に入る前に組み合わされるため、加法的なデバイスと呼ばれます。一方、プリンタは、素材で光の一部を吸収する素材を使用します。このためプリンタは減法的なデバイスと呼ばれます。通常の印刷では、シアン(赤を吸収)、マゼンタ(緑を吸収)、イエロー(青を吸収)のインクに加えて、すべての波長の光を吸収する黒のインクを使用します。プリンタを使用して白を得るには、1枚の用紙から光を一切吸収しないことが必要になり、黒を得るには、すべてのインクを使用して、存在する光のすべてを吸収する必要があります。

カラーイメージングデバイスの出力を制御するには、通常、以下のカラー空間が使用されます。

- RGB(赤、緑、青)は加法的なデバイスでよく使用されています。色は特定の数量の赤、緑、青の色材を組み合わせで表現され、デバイスの対応する色の範囲(色域)全体を形成します。

 **注記：**減法的なデバイスのカラーも RGB データを使用して制御できます。特に、プリンタの黒インクを使用する方法を制御する必要がない場合、これは効率的なオプションです。

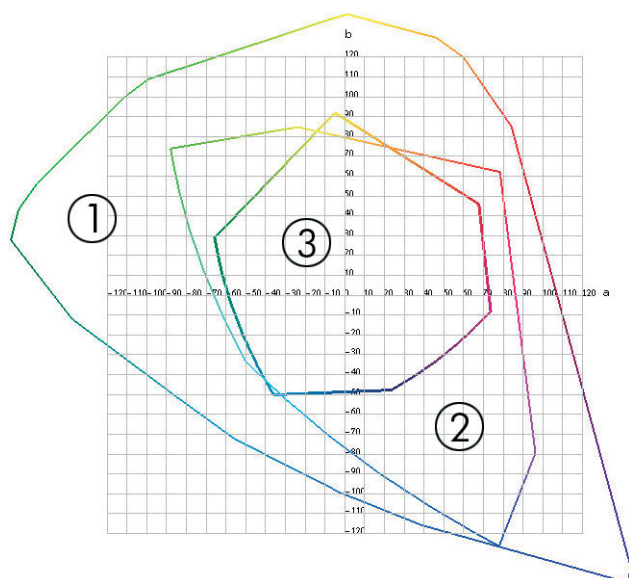
- CMYK(シアン、マゼンタ、イエロー、黒)はプリンタや印刷機などの減法的なデバイスに使用されるカラー空間です。色はシアン、マゼンタ、イエロー、黒(K)のインクを組み合わせで表現され、その組み合わせがデバイスの対応する色の範囲(色域)全体を表します。

カラー空間は、それぞれのカラー イメージングデバイスを制御するためだけの方法であり、普遍的な色を示すわけではありません。たとえば、同じ CMYK 値を、異なるインクと用紙の種類を使用する異なるプリンタに送信すると、印刷される色は異なります。たとえば、屋内用インクと屋外用インクを使い分けることができるプリンタの場合、プリンタ (ハードウェア) は同じですが、インクの化学組成が異なれば (染料と顔料)、異なる色域が 2 つ存在することになります。また、この化学組成によってインクと用紙の相互作用が変わるため、このようなプリンタではさまざまな用紙を使用する必要があります。このため、指定された CMYK 値の実際の印刷色は、プリンタで使用するインクと用紙の種類によって決まります。同じプリンタでもこのような現象が起こることから、印刷方式と使用するインクの化学組成が異なる別のプリンタの場合、当然同様の現象が起こります。

また、RGB で制御されるデバイスでも同じ現象が起こります。たとえば、製造元が同じ 2 台のモニターがあり、それぞれの白点が 9600K と 6500K であるとします。これらのモニターは異なる白点の基準に関係しているため、再現されるカラーが異なります。異なる製造元のモニターを比較すると、色の違いは明らかです。グラフィックアート業界での標準の色温度をエミュレートするには、モニターの白点を 5000K (D50 と呼ばれます) に設定します。

注記：白点とは、デバイスが再現できる最も明るい中性色、またはイメージに存在する最も明るい中性色のことです。人間の視覚器官は、自動的にその白点に基づいてイメージの内容に適応します。

しかし、異なるデバイス間では同じ色域を使用できません。色によっては、ディスプレイ上では表示可能でも印刷物では再現できない場合や、その逆の場合があります。以下の図では、肉眼で見える色が、一般的なディスプレイやプリンタより多いことを示しています。また、これら 2 つの異なるカラー イメージングデバイスの色域がお互いに一致しないことを示しています。



1. すべての色
2. コンピュータのモニタの色域
3. CMYK 印刷の色域

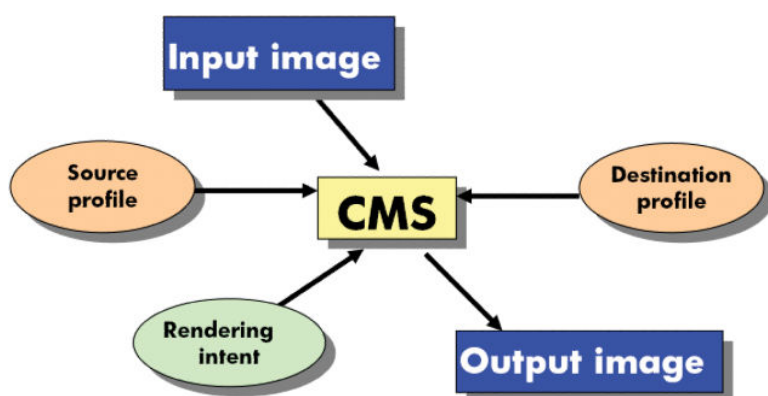
カラー空間のなかには、CIE Lab や CIECAM02 など、デバイスに依存することなく、見る側が認識する色を表すものがあります。これらのカラー空間は、CIE (Commission Internationale de l'Éclairage) によって定義されています。これらのカラー空間の利点は、同じ CIE Lab 値を持つ 2 つのオブジェクトを同一条件下で見た場合に視覚的に同じになる点です。これらのカラー空間の値は、オブジェクトによって放出反射される光を計測して得ることができます。

解決法：カラー マネジメント

CMYK デバイスでは再現できない RGB デバイスの色や、その逆の色は多数あります。これらの色を、「色域外」の色と呼びます。

1. ICC プロファイルを使用して、デバイスの色の作用をできるだけ正確に記述します。デバイスの色の作用を記述するには、RGB または CMYK のさまざまな組み合わせを選択してデバイスへ送信し、出力結果を計測して、非デバイス依存のカラー空間 (CIE Lab など) で結果の出力を表します。結果の関係は ICC プロファイルに格納されます。このプロファイルは、デバイスのカラー空間 (CMYK または RGB) を非デバイス依存のカラー空間 (たとえば、CIE Lab) に変換する基準ファイルです。ICC プロファイルを生成する処理をプロファイリングと呼びます。
2. カラーマネジメントシステム (CMS) を使用して、カラーをできるだけ効果的に変換します。CMS は、ICC プロファイルの情報を使用して、デバイスのカラー空間 (ソースプロファイルで定義) を別のデバイスのカラー空間 (ターゲットプロファイルで定義) に変換するソフトウェアです。この解決方法では、あるデバイスで使用される色域が別のデバイスでは使用されないことがあるため、カラーに関する問題が発生します。

次の 4 つの設定で CMS について説明します。



- **CMS**：カラーマネジメントシステム。入力イメージ内に格納された (ソースプロファイルで定義された) カラー空間を持つカラー情報を、ターゲットプロファイルで指定されたカラー空間を持つ出力イメージに変換するソフトウェアです。CMS はさまざまな形態で提供されています。ソフトウェアプログラム、オペレーティングシステム、および Z6810/Z6610 組み込み RIP などの印刷ソフトウェアなどです。
- **ソースプロファイル**：入力デバイスの色の作用の記述です
- **ターゲットプロファイル**：出力デバイスの色の作用の記述です
- **レンダリング用途**：カラーマネジメントの最も難しい課題は、ソース内の色域とターゲット内の色域が直接対応していない場合です。完全に一致させることが不可能な場合、色域の違いを処理する方法についてオプションの種類を指定する必要があります。これらのオプションの種類をレンダリング用途と呼びます。最終的に実現する出力によって、4 つのオプションがあります。
 - 元のイメージが RGB の場合、**[知覚的]**を使用すると、最も良好な出力結果が得られます。写真などに適しています。
 - 鮮やかな最終出力を得るには、**[彩度]**を使用します。これはビジネスグラフィック (チャート、プレゼンテーションなど) に適していますが、色を一致させる場合は推奨しません。
 - **[相対カラーメトリック]**は、印刷のプルーフィングに適しています。このレンダリング用途は、ソースとターゲットの色域の両方にある色は一致させ、一致させられない場合は差を最小限に抑えます。
 - **[絶対カラーメトリック]**は、印刷のプルーフィング (相対カラーメトリックなど) で、ソースの用紙の色もシミュレートする場合に適しています。

よく使用されるデバイスカラー空間とプロファイルを以下に示します。

- RGB モード：

- sRGB (sRGB IEC61966-2.1) : 個人消費者向けのデジタルカメラやスキャナで作成されたイメージ、および Web サイトなどのイメージに適しています。
- Adobe® RGB (1998) : プロフェッショナル向けのデジタルカメラなどで作成された多くのイメージに適しています。
- 特定の RGB デバイススペース : プロファイリングされた特定の RGB デバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。
- CMYK モード :
 - SWOP: 米国の一般的な印刷業者に合わせて定義された印刷規格である「Specifications for Web Offset Publications」の略語です。さまざまな種類の用紙に適しています。
 - ISO 12647-2 : 国際標準化機構によって定義された印刷規格で、さまざまな種類(コート紙、非コート紙など)の用紙に適しています。
 - 他の国/地域の規格 : Euroscale、JMPA、Japan Color。
 - 特定の CMYK デバイススペース : プロファイリングされた特定の RGB デバイスとの間でやり取りされるイメージに適しています。

Z6810 プリンタとカラー

プロのクリエイターにとって、使用するプリンタで期待通りの信頼できる結果が得られることは不可欠です。効率的なカラーワークフローにとって、期待通りであることは重要な要素です。大量の出力でも、またプリンタを変えても、選択した用紙に適した中間色のグレーや正しい色で印刷される必要があります。高い信頼性により、品質に欠陥のない印刷物を常に作成し、顧客に渡すことができます。時間と労力を省き、インクと用紙を節約しながら、厳しい制作スケジュールに合わせて、確実に印刷できます。

Z6810 プリンタには高度なハードウェアとドライバが採用されており、期待通りの信頼できる結果を約束するとともに、効率性とカラーワークフロー管理を劇的に向上させます。

HP 内蔵分光測光器

Z6810 プリンタ シリーズは、内蔵の分光測光器によるカラーキャリブレーションおよびプロファイリングにより、プロフェッショナルのカラーワークフローに革命をもたらします。

分光測光器は、カラーパッチから反射する光の正確な構成を計測できる精密機器です。反射光を異なる波長要素に分解し、各要素の強さを計測します。HP 内蔵分光測光器はプリントヘッドキャリッジに搭載されています。

Z6810 プリンタでは、分光測光器を使用して、使用する用紙の種類に適したカスタム ICC プロファイルが自動的に作成されます。次にプリンタのキャリブレーションが行われますが、大量の出力でも、またプリンタを変えても、あらゆる環境条件で、また未知の(工場でプロファイルされていない)種類の用紙に印刷する場合でも、色の誤差は以前の HP DesignJet 製品の半分以下に抑えられています。内蔵の白色キャリブレーションタイルは自動シャッターで保護されており、国際標準に準拠した信頼性の高い計測が実現します。

GretagMacbeth i1 カラーテクノロジーによるプリンタ、カラーイメージングパイプライン、およびプロフェッショナル仕様の分光測光器が Z6810 用の HP Color Center ソフトウェアに統合されています。キャリブレーションとプロファイリング処理を出力システムに直接アクセスさせることにより、印刷される各カラーパッチにおけるインク量や色分解を正確にコントロールすることができます。また、測定プロセスの自動化によって、テスト印刷の操作が不要になると共に、繰り返し乾燥時間の設定や、電気機械的な位置制御により、分光測光器のカラーパッチ上の正確な位置合わせを行いながらの高速な測定を行います。これによって、より高価なオフラインのハンドヘルドタイプのプロファイリングシステムに勝るとも劣らない、これまでにない使いやすさを実現しています。

カラーマネジメントプロセスの概要

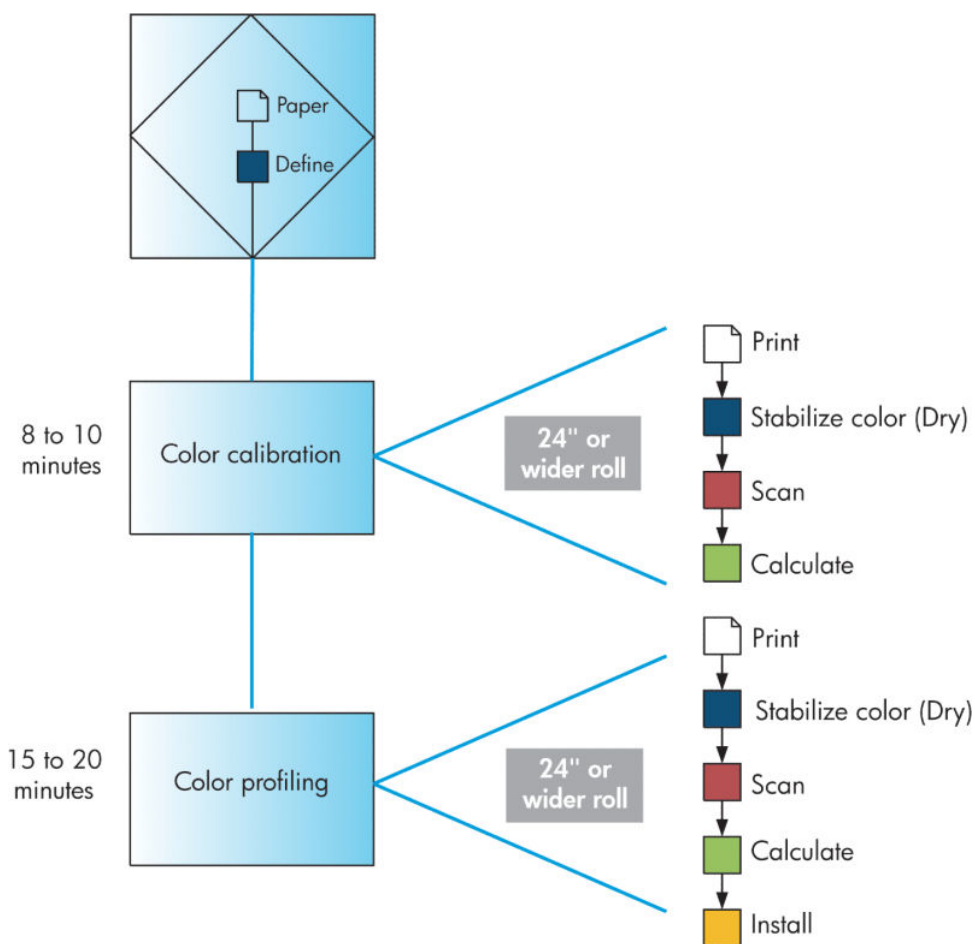
正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。


1. 用紙の種類がプリンタで認識されない場合、プリンタの既存の用紙リストに用紙の種類を追加します。[44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する](#)を参照してください。ユーザは通常、毎年2~3種類のカスタム用紙を追加しています。
2. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションは、プリンタアラートによる実行の推奨の通知があった際（通常は使用する用紙の種類ごとに数週間間隔で）、実行します。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
3. 高いカラー精度を得るために、用紙の種類に対応したカラー プロファイルを作成します。通常は、プロファイリングを繰り返し行う必要はありません。特定の用紙の種類に対して一度プロファイルを作成すれば、このプロファイルをそのまま使用できます。ただし、プロファイリングを繰り返し実行しても問題はないため、毎月プロファイリング処理を実行してプロファイルを更新してもかまいません。
4. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プロファイルを選択します。

プリンタで定義された用紙の種類の場合、既に作成されたカラー プロファイルがプリンタに保存されています。ただし、使用前に用紙のキャリブレーションを行うことをお勧めします。

新しい用紙の種類を定義した場合は、キャリブレーションとプロファイリングの手順が自動的に開始されます。

以下の図には、HP Color Center で処理される操作が順番に示されています。



 **注記**：図に示すように、3つの操作すべてを順番に実行することもできますが、3つの操作はどこから開始してどこで終了してもかまいません。ただし、新しい用紙の種類が追加されると、カラーキャリブレーションが自動的に実行されます。


カラーキャリブレーション

お使いのプリンタは、カラーキャリブレーションを使用して、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一します。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。


キャリブレーションは、以下の場合に実行してください。

- プrintヘッドを交換した場合
- 現在のPrintヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 最後にキャリブレーションを実行した後、一定量の印刷が行われた場合
- 長期間プリンタの電源をオフのままにしておいた場合
- 環境条件(温度や湿度など)が大きく変化した場合


アラートを無効に設定しない限り、プリンタは通常、カラーキャリブレーションが必要なときにアラートを表示します。ただし環境条件が変化してしまった場合には、プリンタはその変化を検出できません。

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーションステータスは、 アイコン、**[取り付けられている用紙の表示]**の順に選択していつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかの状態になります。

- ペンディング：この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

 **注記**：プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスはペンディングにリセットされます。[140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。


- 推奨：キャリブレーションが必要な条件がプリンタにより認識されたため、プリンタソフトウェアはプリンタのキャリブレーションを実行することを推奨します。
- 失効：この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- OK：この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 無効：この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

 **注記**：色付きの用紙、光沢のあるキャンバス、および、半透明のボンド紙、クリアフィルム、トレーシングペーパーなどの透明紙、ベラム紙はカラーキャリブレーションには適していません。

カラーキャリブレーションのステータスは、HP DesignJet Utility でも確認できます。

カラープロファイルを作成する前に、用紙の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。後でカラーキャリブレーションを行う場合は、新しいカラープロファイルは必要ありません。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- キャリブレーションの実行を推奨するプリンタ アラートが表示された場合
- HP Color Center から：[プリンタのキャリブレーション]を選択します。
- フロントパネルで： アイコンを選択し、[カラーキャリブレーション]を選択します。

キャリブレーション処理は完全に自動化され、適切な用紙を取り付けた後は、無人で実行されます。幅 61cm (12.5 インチ) 以上の用紙を使用してください。

この処理には 8 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーションテスト チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. カラーを安定させるため、テスト チャートは、インクが乾くまでプリンタに保持されます。時間は用紙の種類によって異なります。
3. HP 内蔵分光測光器によって、テスト チャートのスキャンと計測が行われます。
4. その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に、必要な修正要素が算出されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

カラー プロファイリング

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、プリンタ、インクおよび用紙を使用する際に適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICC カラー プロファイルにはプリンタ、インク、および用紙の組み合わせが記述されており、これらのカラー変換に関するすべての情報が含まれています。

新しい用紙の種類を定義してキャリブレーションを行うと、プリンタが使用する用紙に適した ICC プロファイルを作成できる状態になり、これによって、最高のカラー精度が得られます。

また、プリンタが認識済みの用紙の種類を使用する場合、その用紙に適した ICC プロファイルがすでに作成されています。

独自のプロファイルを作成する


HP Color Center でカラー プロファイルを簡単に作成できます。[ICC プロファイルの作成およびインストール]を選択します。

用紙に関する情報を入力するよう求められます。続いて、新しいプロファイルが自動的に作成され、インストールされます。

この処理には 15 ~ 20 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。


1. プロファイリングテストチャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。キャリブレーションテストチャートとは異なり、大部分のパッチにインクの組み合わせが使用されています。



 **注記**：乾燥時間を長く取る場合は、HP Color Center で、プロファイルを作成せずにテストチャートを作成することができます (Windows : [ターゲットのみを印刷] を選択、MAC OS X : [ICC プロファイリングチャートを印刷] を選択)。チャートが完全に乾燥してから HP Color Center を再起動し、作成済みのテストチャートを使用するプロファイルを要求することができます (Windows : [既に印刷されているターゲットから ICC プロファイルを作成する] を選択します。MAC OS X : [ICC プロファイリングチャートをスキャンして、ICC プロファイルを作成します] を選択)。分光測光器のウォームアップが済んでからスキャンが開始されます。

2. HP 内蔵分光測光器によって、テストチャートのスキャンと計測が行われます。
3. その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に、必要な修正要素が算出されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。
4. 新しい ICC プロファイルは、ソフトウェアプログラムが参照できるように、コンピュータの適切なシステムフォルダに格納されます。

プロファイルはプリンタにも格納されるので、同じプリンタに接続されている他のコンピュータにコピーできます。プロファイルは、埋め込み Web サーバからジョブが送信されるとすぐにアクセスして使用できます。まだコンピュータに格納されていないプロファイルがプリンタにある場合は、HP DesignJet Utility でその旨が通知されます。

 **注記**：作成されたばかりのプロファイルを使用するには、アプリケーションを閉じて再起動することが必要な場合があります。

サードパーティ製のプロファイルを使用する

インターネットからのダウンロード、またはサードパーティ製のプロファイリングソフトウェアパッケージを使用するなど、プリンタ内蔵のプロファイリングソフトウェアを使用する以外の方法で ICC プロファイルを取得した場合でも、そのプロファイルをインストールし、プリンタおよび用紙で使用することができます。

用紙の種類に対応するプロファイルをプリンタに伝える必要があります。そのため、まずプリンタが認識済みの用紙リストから用紙の種類を選択する必要があります。用紙の種類を選択する際に、実際の用紙の種類になるべく近いものを選択するようにしてください。用紙の種類によって、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータが決まるため、高品質の印刷結果を得るためにはここでの選択が重要となります。選択したプロファイルと用紙の種類で適切な結果を得られない場合は、異なる用紙の種類を選択し、その中から最適なものを選択します。

使用する用紙がリストにない場合、またはそれに近い用紙の種類が見つからない場合には、新しい種類を定義します。[44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する](#)を参照してください。定義後、その用紙を使用するためにプリンタのキャリブレーションを実行します。ICC プロファイルのインストールは、その後に行うことができます。

用紙の種類を選択し、お使いのプリンタと用紙で使用するための ICC プロファイルのファイルを表示します。一般的に、ICC プロファイルのファイル名には、拡張子「.icc」(International Color Consortium) または「.icm」(Image Color Matching) が付きます。プロファイルは、コンピュータの適切なシステムフォルダとプリンタに格納されます。

モニタのプロファイリングを行う

モニタ(ディスプレイ装置)もキャリブレーションとプロファイリングを行います。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。詳細については、HP Color Center で **[ディスプレイのキャリブレーション]** を選択してください。

Z6610 プリンタとカラー

プロのクリエイターにとって、使用するプリンタで期待通りの信頼できる結果が得られることは不可欠です。効率的なカラーワークフローにとって、期待通りであることは重要な要素です。大量の出

力でも、またプリンタを変えても、選択した用紙に適した中間色のグレーや正しい色で印刷される必要があります。高い信頼性により、品質に欠陥のない印刷物を常に作成し、顧客に渡すことができます。時間と労力を省き、インクと用紙を節約しながら、厳しい制作スケジュールに合わせて、確実に印刷できます。

Z6610 プリンタには高度なハードウェアとドライバが採用されており、期待通りの信頼できる結果を約束するとともに、効率性とカラーワークフロー管理を劇的に向上させます。

カラーマネジメントプロセスの概要

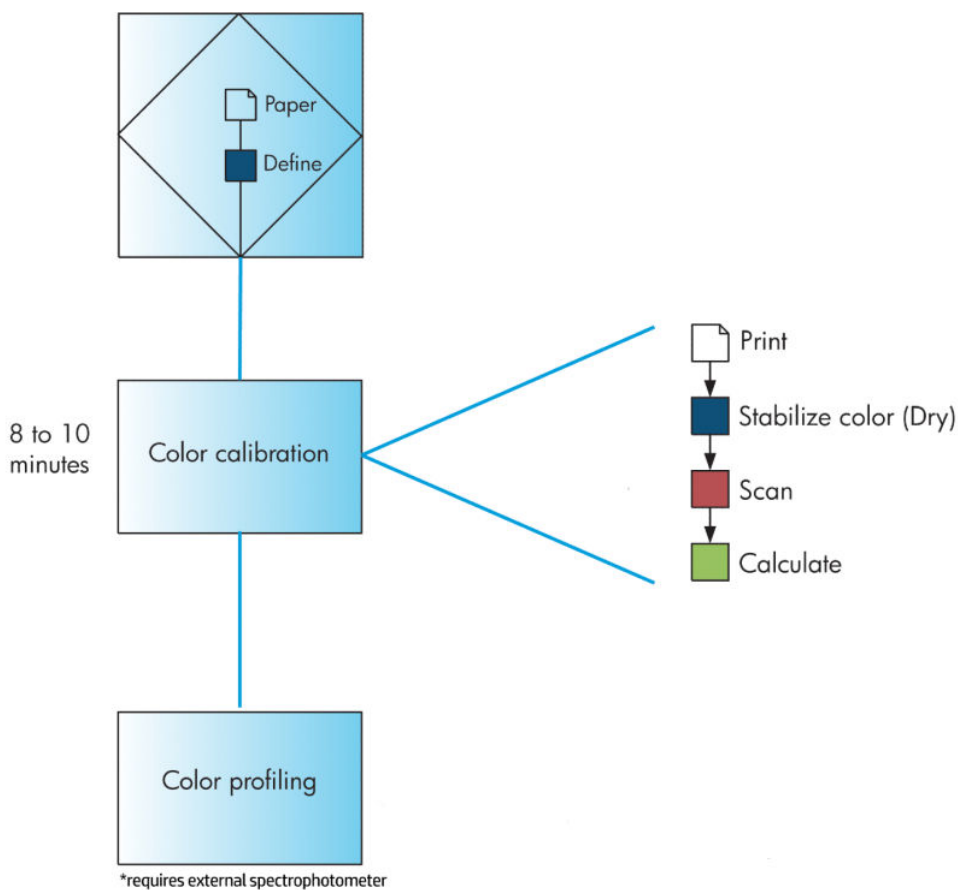
正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。


1. 用紙の種類がプリンタで認識されない場合、プリンタの既存の用紙リストに用紙の種類を追加します。 [44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する](#) を参照してください。ユーザは通常、毎年 2~3 種類のカスタム用紙を追加しています。
2. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションは、プリンタアラートによる実行の推奨の通知があった際（通常は使用する用紙の種類ごとに数週間間隔で）、実行します。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
3. 高いカラー精度を得るために、用紙の種類に対応したカラープロファイルを作成します。通常は、プロファイリングを繰り返し行う必要はありません。特定の用紙の種類に対して一度プロファイルを作成すれば、このプロファイルをそのまま使用できます。ただし、プロファイリングを繰り返し実行しても問題はないため、毎月プロファイリング処理を実行してプロファイルをアップデートしてもかまいません。この手順は、外付けの分光測光器を使用して実施する必要があります。
4. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラープロファイルを選択します。

プリンタで定義された用紙の種類の場合、既に作成されたカラープロファイルがプリンタに保存されています。ただし、使用前に用紙のキャリブレーションを行うことをお勧めします。

新しい用紙の種類を定義した場合は、キャリブレーションとプロファイリングの手順が自動的に開始されます。

以下の図には、HP Color Center で処理される操作が順番に示されています。



 **注記**：新しい用紙の種類が追加されると、カラーキャリブレーションが自動的に実行されます。ただし、カラープロファイリングではプロファイルを外部で作成する必要があります。


カラーキャリブレーション

お使いのプリンタは、カラーキャリブレーションを使用して、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一します。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。


キャリブレーションは、以下の場合に実行してください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 最後にキャリブレーションを実行した後、一定量の印刷が行われた場合
- 長期間プリンタの電源をオフのままにしておいた場合
- 環境条件(温度や湿度など)が大きく変化した場合


アラートを無効に設定しない限り、プリンタは通常、カラーキャリブレーションが必要なときにアラートを表示します。ただし環境条件が変化してしまった場合には、プリンタはその変化を検出できません。

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーションステータスは、 アイコン、**[取り付けられている用紙の表示]**の順に選択していつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかの状態になります。

- ペンディング：この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

 **注記：**プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスはペンディングにリセットされます。[140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。


- 推奨：キャリブレーションが必要な条件がプリンタにより認識されたため、プリンタソフトウェアはプリンタのキャリブレーションを実行することを推奨します。
- 失効：この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- OK：この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 無効：この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

 **注記：**色付きの用紙、光沢のあるキャンパス、および、半透明のボンド紙、クリアフィルム、トレーシングペーパーなどの透明紙、ベラム紙はカラーキャリブレーションには適していません。

カラーキャリブレーションのステータスは、HP DesignJet Utility でも確認できます。

カラープロファイルを作成する前に、用紙の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。後でカラーキャリブレーションを行う場合は、新しいカラープロファイルは必要ありません。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- キャリブレーションの実行を推奨するプリンタアラートが表示された場合
- HP Color Center から：[\[プリンタのキャリブレーション\]](#)を選択します。
- フロントパネルで： アイコンを選択し、[\[カラーキャリブレーション\]](#)を選択します。

キャリブレーション処理は完全に自動化され、適切な用紙を取り付けた後は、無人で実行されます。幅 61cm (12.5 インチ) 以上の用紙を使用してください。

この処理には 8 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーションテストチャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. カラーを安定させるため、テストチャートは、インクが乾くまでプリンタに保持されます。時間は用紙の種類によって異なります。
3. プリンタによってテストチャートがスキャンおよび測定され、この種類の用紙で一貫性のあるカラー印刷を実現するために必要な修正が計算されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

カラープロファイリング

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、プリンタ、インクおよび用紙を使用する際に適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICC カラープロファイルにはプリンタ、インク、および用紙の組み合わせが記述されており、これらのカラー変換に関するすべての情報が含まれています。

新しい用紙の種類を定義してキャリブレーションを行うと、プリンタが使用する用紙に適した ICC プロファイルを作成できる状態になり、これによって、最高のカラー精度が得られます。

また、プリンタが認識済みの用紙の種類を使用する場合、その用紙に適した ICC プロファイルがすでに作成されています。

独自のプロファイルを作成する

このオプションはプリンタでは提供されておらず、外付けの分光測光器が必要です。

サードパーティ製のプロファイルを使用する

サードパーティ製のプロファイル(インターネットからダウンロードしたプロファイルやプロファイリングソフトウェアパッケージのプロファイルなど)を使用することができます。

用紙の種類に対応するプロファイルをプリンタに伝える必要があります。そのため、まずプリンタが認識済みの用紙リストから用紙の種類を選択する必要があります。用紙の種類を選択する際に、実際の用紙の種類になるべく近いものを選択するようにしてください。用紙の種類によって、使用するインク量とその他の基本的な印刷パラメータが決まるため、高品質の印刷結果を得るためにはここでの選択が重要となります。選択したプロファイルと用紙の種類で適切な結果を得られない場合は、異なる用紙の種類を選択し、その中から最適なものを選択します。

使用する用紙がリストにない場合、またはそれに近い用紙の種類が見つからない場合には、新しい種類を定義します。[44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する](#)を参照してください。定義後、その用紙を使用するためにプリンタのキャリブレーションを実行します。ICC プロファイルのインストールは、その後に行うことができます。

用紙の種類を選択し、お使いのプリンタと用紙で使用するための ICC プロファイルのファイルを表示します。一般的に、ICC プロファイルのファイル名には、拡張子「.icc」(International Color Consortium)または「.icm」(Image Color Matching)が付きます。プロファイルは、コンピュータの適切なシステムフォルダとプリンタに格納されます。

モニタのプロファイリングを行う

モニタ(ディスプレイ装置)もキャリブレーションとプロファイリングを行います。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。詳細については、HP Color Center で[\[ディスプレイのキャリブレーション\]](#)を選択してください。

カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**：この場合、アプリケーションプログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理]**：この場合、アプリケーションプログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
 - **PostScript**: プリンタ内部の PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイル(HP Color Center によって生成されたプロファイルを含む)および PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF または JPEG

ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、ジョブで指定されない場合にデフォルトとして使用するプロファイルを選択する必要があります。

- **PostScript 以外 (HP-GL/2、RTL) :** カラーマネジメントは、保存された ICC プロファイルのセットを使用して実行されます。この方法は前の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript 以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合に実行されます。

保存されたプロファイルを使用してプリンタが独自のカラー スペースに変換できるカラー スペースは、Adobe RGB と sRGB のみです。

使用するアプリケーションのカラーマネジメント オプションの使用方法については、お使いのプリンタモデルに応じて <http://www.hp.com/go/Z6600/support/> または <http://www.hp.com/go/Z6800/support/> で Knowledge Center を参照することをお勧めします。

[アプリケーションで管理] および [プリンタで管理] を選択するには :

- Windows ドライバのダイアログの場合 : [カラー] タブを選択します。
- Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合 : [カラー オプション] パネルを選択します。
- 一部のアプリケーションの場合 : アプリケーションで選択できます。

Photoshop でのカラーマネジメントの例

この例には、Photoshop から印刷する Adobe RGB イメージがあります。これを行う 3 つの方法があります。

- Photoshop で、[Photoshop によるカラー処理] を選択します。プリンタドライバで、[アプリケーションで管理] を選択します。カラーマネジメントは Photoshop で行います。これは推奨される方法です。
- Photoshop で、[プリンタによるカラー処理] を選択します。プリンタドライバで、[プリンタで管理] および sRGB プロファイルを選択します。Photoshop で、Adobe RGB から sRGB にイメージを変換し、それをプリンタに送信します。カラーマネジメントはプリンタで行います。残念ながら、sRGB への変換によって色域が失われますが、Photoshop は [プリンタによるカラー処理] が選択される場合には、sRGB に変換されるのを回避できません。
- Photoshop で、[カラーマネジメントなし] を選択します。プリンタドライバで、[プリンタで管理] および AdobeRGB プロファイルを選択します。Photoshop では、変換が実行されず、色域を失うことなく、カラーマネジメントはプリンタで実行されます。ただし、この方法は、Photoshop で同期されたカラーマネジメントを使用する場合は機能しません (以下を参照)。

Photoshop での同期されたカラーマネジメント

MAC OS X で Adobe Photoshop CS2 以降のバージョン、または Windows で Adobe Photoshop CS3 以降のバージョンを使用する場合、Photoshop とドライバ間でカラーマネジメント オプションを自動的に同期できます。

- Photoshop で [Photoshop によるカラー処理] または [カラーマネジメントなし] を選択する場合、ドライバで [アプリケーションで管理] が自動的に選択されます。
- Photoshop で [プリンタによるカラー処理] を選択する場合、ドライバで [プリンタで管理] が自動的に選択されます。PostScript ドライバは、Photoshop によってジョブに添付されているカラープロファイルを使用します。

このような Photoshop の同期を Windows XP で有効にするには、Microsoft の Web サイトから以下の無償のソフトウェアをダウンロードし、インストールする必要があります。

- Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0
- Microsoft XML Paper Specification Essentials Pack 1.0

カラー調整オプション

カラーマネジメントの目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを正しく実行すれば、手動のカラー調整を必要とせずに、正確な色を出力することができるはずです。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- カラーマネジメントが何らかの理由で正しく機能していない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

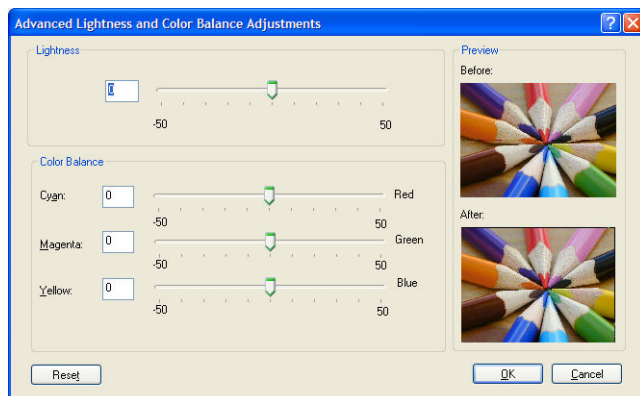
プリンタドライバは、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能を提供します。純粋な白黒で印刷する場合、カラー調整オプションはありません。

カラーで印刷

Windows では、印刷物の色を次のように調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブをクリックします。 [カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。

どちらのオペレーティングシステムでも、明度スライダと3つのカラー調整スライダを使用して調整できます。



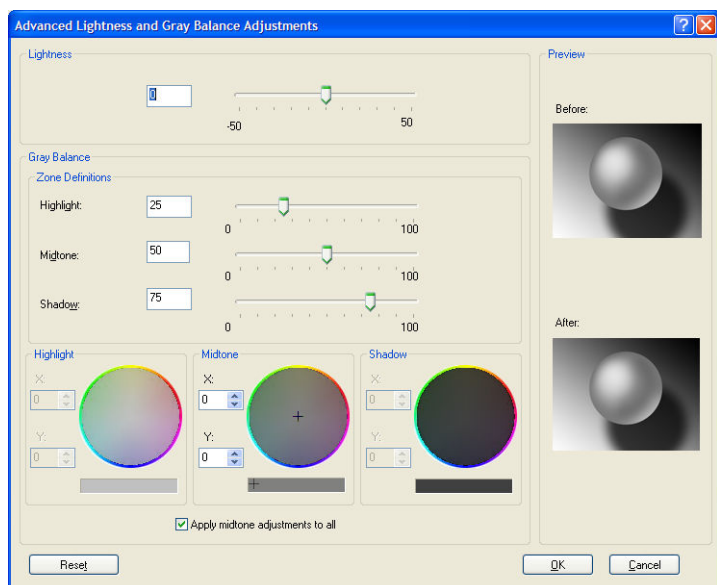
- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、赤、緑、青です。または、イメージで使用されるカラーモデルによっては、シアン、マゼンタ、イエローです。

[すべてリセット] ボタンは、各スライダをデフォルトの中央位置に戻します。

グレースケールで印刷

印刷のグレーバランスは、Windows と MAC OS X でほぼ同じ方法で調整できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合：[カラー]タブをクリックします。[カラー詳細調整]チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある[設定]ボタンをクリックします。ハイライト、中間色、および影の別々のコントロールを使用して調整できます。
- Mac OS X の[プリント]ダイアログの場合：[カラー オプション]パネルに移動し、[モード]ドロップダウンメニューから[グレースケール]を選択します。グレイ階調なしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷]を選択することもできます。



- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。このスライダは、Mac OS X 10.4 の場合を除き、[明度と色相]を選択して利用可能な、他のグレースケールコントロールと同じウィンドウで利用できます。
- 領域定義スライダは、ハイライト、中間色、および影が示す内容を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間色、および影の他のコントロールは、ハイライト、中間色、および影のそれぞれのグレイバランスを調整するために使用できます。

[すべてリセット]ボタンは、各コントロールをデフォルトの設定に戻します。


HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション


イメージで特定の PANTONE*カラーを使用すると、通常、ソフトウェアプログラムによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、ソフトウェアではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE*カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション]では、プリンタや用紙の種類の特徴を考慮に入れることによって、特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE*カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが行ったエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション]を使用するには、この機能をオンにするだけです。

- Windows PostScript プリンタ ドライバのダイアログの場合：[カラー]タブをクリックして、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を選択します。
- Mac OS X の[プリント]ダイアログの場合：[カラー オプション]パネルを開き、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を選択します。

- 埋め込み Web サーバを使用する場合：[ジョブ送信] ページを選択し、[カラー]-[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、[印刷設定]-[カラー オプション]-[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]を選択します。

 **注記：**[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション] は、PostScript ジョブまたは PDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。


また、埋め込み Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE* カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE* スポットカラーの間の色の差 (ΔE) の値も示されます。HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーションは、プリンタで達成可能な最も近い色を提供するだけでなく、エミュレーションが元のスポットカラーとどれほど近いかに関する明確な情報も提供します。

見本帳を印刷するには、内蔵 Web サーバの[メイン]タブを選択し、[HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション]を選択します。エミュレートする PANTONE* ストックを選択し、印刷する PANTONE* カラーを選択します。必要なカラーをすべて選択したら、[印刷] ボタンをクリックします。

HP Professional PANTONE emulation hp HP Sample Printer	HP Professional PANTONE emulation hp HP Sample Printer
 PANTONE RGB 252 252 9 Yellow C ΔE 13.29	 PANTONE RGB 246 207 243 217 C ΔE 3.98
 PANTONE RGB 252 249 8 Yellow 012 C ΔE 16.15	 PANTONE RGB 249 135 235 218 C ΔE 3.17
 PANTONE RGB 251 92 10 Orange 021 C ΔE 9.81	 PANTONE RGB 245 51 215 219 C ΔE 5.73
 PANTONE RGB 246 65 68 Warm Red C ΔE 7.03	 PANTONE RGB 244 19 182 Rubine Red C ΔE 6.29
 PANTONE RGB 243 41 74 Red 032 C ΔE 8.94	 PANTONE RGB 210 7 167 220 C ΔE 3.83
 PANTONE RGB 244 19 182 Rubine Red C ΔE 6.29	 PANTONE RGB 184 6 146 221 C ΔE 4.09
 PANTONE RGB 246 56 230 Rhodamine Red C ΔE 11.16	 PANTONE RGB 134 8 107 222 C ΔE 1.68
1.1 C HP Sample Paper sample print mode	19 C HP Sample Paper sample print mode

カラー エミュレーション モード

特定の印刷ジョブが、別の HP DesignJet シリーズ プリンタでどのような色で印刷されるか、およその色を確認したい場合は、プリンタのエミュレーション モードを使用します。

- Windows 用ドライバのダイアログボックスの場合：[カラー]タブをクリックし、[プリンタで管理]を選択して、[ソースプロファイル]ドロップダウンメニューから[プリンタのエミュレーション]を選択します。次に、[エミュレートされるプリンタ]プルダウンメニューから選択します。
- Mac OS X の [プリント]ダイアログの場合：[カラー オプション]パネルを選択し、[カラー管理]リストから[プリンタのエミュレーション]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、[印刷設定]-[カラー オプション]-[プリンタのエミュレーション]を選択します。
- 埋め込み Web サーバを使用する場合：[ジョブの送信]ページを選択します。次に、[ジョブの設定]-[詳細設定]-[カラー]-[カラー管理]の順に選択して、使用するエミュレーションモードを選択します。

HP DesignJet Z6810 プリンタでは次のプリンタをエミュレートできます。

- HP DesignJet 5500 Dye シリーズ
- HP DesignJet Z6100
- HP DesignJet Z6610

Z6610 ではエミュレーションは使用できません。

以下の表は、プリンタのエミュレーションで最高の結果を得るための、印刷品質設定と用紙の推奨される組み合わせをまとめたものです。

	高画質	普通	高速
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	はい	はい	いいえ
HP ユニバーサル速乾性光沢フォト用紙	はい	はい	いいえ
HP 厚手コート紙	はい	はい	はい
HP コート紙	はい	はい	はい
HP インクジェットポンド紙	はい	はい	はい


CMYK カラー エミュレーション

CMYK エミュレーションのオプションはすべて、PDF ファイル、PostScript ファイル、TIFF ファイル、および JPEG ファイルにのみ使用できます。

従来の処理では、CMYK スペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じ CMYK データから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージファイルがプリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

- **[なし(ネイティブ)]** は、エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用して CMYK を RGB に変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これは、結果が悪くなるということではありません。
- **[ISO Coated 2-ECI]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004/Amd 1 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA39L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、用紙の種類 1 および 2、光沢またはマット コート紙、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 A (CMY) および B (K)、白色背景。

- **[Coated GRACoL 2006-ISO12647]** は、グレード 1 コート紙、ISO 12647-2 用紙の種類 1 に基づいた、GRACoL プルーフおよび印刷を提供します。
- **[PSO Uncoated ISO12647-ECI]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004 および ISO 12647-2:2004/Amd 1:2007 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA47L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、用紙の種類 4、白色普通紙、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 C (CMY) および D (K)、白色背景。
- **[PSO LWC Improved-ECI]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004 および ISO 12647-2:2004/Amd 1:2007 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA45L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、改良 LWC 紙 (軽量コード)、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 B (CMY) および C (K)、白色背景。
- **[Web Coated SWOP 2006 Grade 3]** は、米国グレード 3 出版用コート紙に基づいた、SWOP®プルーフおよび印刷を提供します。
- **[Web Coated SWOP 2006 Grade 5]** は、米国グレード 5 出版用コート紙に基づいた、SWOP®プルーフおよび印刷を提供します。
- **[U.S. Sheetfed Coated 2]** は、インクの総使用量 350%、ネガ版、インクジェット オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Sheetfed Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Coated (SWOP) 2]** は、インクの総使用量 300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Euroscale Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscale インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Japan Web Coated (Ad)]** は、日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタルプルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- **[Japan Color 2001 Coated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2001 Uncoated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 4 (普通紙) の仕様に準拠します。これは、インクの総使用量 310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2002 Newspaper]** は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量 240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2003 WebCoated]** は、タイプ 3 コート紙用です。これは、ヒートセット Web オフセット印刷でのインクの総使用量 320%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[JMPA]** は、オフセット印刷機の日本標準です。
- **[Toyo]** は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- **[DIC]** は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

 **注記**：以上のオプションは、ソフトウェアで独自の CMYK スペース (PostScript ではキャリブレートされた CMYK または CIEBasedDEFG とする) が定義されている場合は無効になります。

RGB カラー エミュレーション

以下のオプションは、PDF ファイル、PostScript ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイルに使用できません。HP-GL/2 および RTL ファイルでは、sRGB および AdobeRGB のみがサポートされます。

RGB イメージを印刷する場合は、CMYK データに変換する必要があります。ソフトウェアまたはオペレーティングシステムで変換できる場合もあります。この変換を行うため、プリンタで以下のカラープロファイルを使用します。

- **[なし(ネイティブ)]** は、エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用して RGB を CMYK に変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これは、結果が悪くなるということではありません。
- **[sRGB IEC61966-2.1]** は、一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア プログラムに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- **[ColorMatch RGB]** は、Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- **[Apple RGB]** は、一般的な Apple モニタの特性をエミュレートしており、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]** は、RGB カラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

8 ジョブキュー管理

- [埋め込み Web サーバのジョブキューページ](#)
- [ジョブのプレビュー](#)
- [ジョブのキューをオフにする](#)
- [ジョブキューの一時停止](#)
- [キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)
- [キュー内のジョブの識別](#)
- [キュー内の特定ジョブを優先させる](#)
- [キューからジョブを削除する](#)
- [キュー内のジョブを再印刷またはコピーする](#)
- [ジョブのステータスメッセージ](#)

埋め込み Web サーバのジョブキューページ

プリンタのジョブキューは、HP DesignJet Utility ([19 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照) またはプリンタの内蔵 Web サーバ ([18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照) から管理できます。

ジョブキューページには、プリンタのジョブキューで利用可能なすべてのジョブが表示されます。このページには、受信、解析、レンダリング、印刷されているジョブ、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

各ジョブの以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー:]** ジョブプレビューを表示するにはこのアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されるたびに利用できます。
- **[ファイル名:]** ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス:]** 現在のジョブステータスを表示します。
- **[ページ:]** ジョブのページ数。
- **[部数:]** 印刷される部数。
- **[日付:]** プリンタがジョブを受信した日時。
- **[ユーザ:]** ユーザの名前。


キュー内のジョブは対応する列のタイトルをクリックして、(プレビューを除く) 任意の情報項目別にソートできます。キュー内の1つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- **[キャンセル:]** 選択したジョブをキャンセルします。ジョブがキャンセルされる前に確認するように要求されます。ジョブはプリンタに格納されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない場合には印刷されません。
- **[保留:]** 印刷するために**[続行]** をクリックするまで、選択したジョブを保留にします。
- **[続行:]** 保留状態にあるすべての選択したジョブが印刷を続行します。
- **[再印刷:]** ジョブのコピーをさらに印刷します。コピー部数(デフォルトは1、最大99)を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する:]** すべての選択したジョブをジョブキューの先頭に送信します。
- **[削除:]** ジョブキューから選択したジョブを削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。
- **[更新:]** ページを更新し、情報がアップデートされていることを確認します。

 **注記:** ジョブキューページは自動的にアップデートされません。

ジョブのプレビュー


プリンタは、すべての受信ジョブをサンプリングし、ジョブのプレビューとして機能することができ、JPEG ファイルを生成します。このプレビューは、プリンタでサポートされているすべての言語で使用できます。PDF、PS、CALS/G4、TIFF、および JPEG がサポートされています。

 **ヒント:** プレビューが 64 ページを超える場合は、ジョブを送信しないでください。

ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。プレビューページにアクセスするには、ジョブキューページのプレビュー列に表示される虫眼鏡アイコンをクリックします。プレビューページには、ジョブのサムネイルプレビューと共に、以下のジョブの詳細が表示されます。


- [ファイル名:] ジョブのファイル名。
- [取り付けられている用紙:] プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- [ジョブの寸法:] ジョブの寸法です。

ジョブのより大きなプレビューを表示するには、プリンタ イメージの右側に表示されるジョブのサムネイルまたは虫眼鏡アイコンをクリックします。


 **注記:** Macromedia プラグインを使用しないブラウザには、黄色い陰影の付いたジョブ イメージが表示されます。Macromedia フラッシュ プラグインバージョン 7 以降を持つブラウザには、プリンタに取り付けられている用紙内にジョブ イメージの拡張プレビューが表示されます。

ジョブのキューをオフにする


以下の方法でキューをオフにすることができます。


- 埋め込み Web サーバから: [セットアップタブ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[キュー]-[オフ]を選択します。
- フロントパネルで: セットアップアイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション]-[キューの有効化]-[オフ] を選択します。

ジョブキューの一時停止

ジョブキューを一時停止するには、フロントパネルでジョブキュー アイコン  を選択し、次に [印刷の一時停止] を選択します。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記:** [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。


キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。埋め込み Web サーバを使用する場合は、[セットアップ] タブ - [プリンタ設定] - [印刷の開始] を選択します。フロントパネルを使用する場合は、セットアップアイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション] - [印刷の開始] を選択します。

選択可能な 3 つのオプションがあります。

- [処理後] が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- [すぐに] が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- [最適化] が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、[処理後] および [すぐに] の設定間で最適な調整を行います。

キュー内のジョブの識別

キューの内容を確認するには、埋め込み Web サーバで、[メイン] タブ - [ジョブキュー] を使用するのが最適です。ここでは、キューの管理や、(ファイルの名前をクリックして) すべてのジョブの詳細情報の確認を行うことができます。

ただし、キューはフロントパネルから管理することもできます。これを行うには、ジョブキューアイコン  を選択し、**[ジョブキュー]** を選択します。これにより、キュー内のジョブのリストが表示されます。

それぞれが、以下から構成される識別子を持ちます。

<キュー内での位置>:<イメージ名>

現在印刷中のジョブには pointing hand アイコン、すでに印刷済みのジョブにはチェックマーク、キャンセルされたジョブには×マーク、処理中のジョブにはクロックが付いていて、保留中のジョブには警告が表示されています。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを次に印刷されるようにするには、それを選択し、**[再印刷]** (埋め込み Web サーバ) または **[キューの先頭に移動する]** (フロントパネル) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブを実際に次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

キューからジョブを削除する


通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、そのファイルを削除することができます。ファイルを選択し、次に、(埋め込み Web サーバまたはフロントパネルで) **[削除]** を選択します。


同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ (ステータスが **[印刷しています]** のジョブ) をキャンセルして削除するには、埋め込み Web サーバで **[キャンセル]** をクリックするか、フロントパネルの **[キャンセル]** ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブのコピーを再印刷または作成するには、内蔵 Web サーバでジョブを選択し、**[再印刷]** アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブがキューの先頭に移動します。フロントパネルからキュー内の印刷されないジョブを複数印刷するには、ジョブを選択して、**[部数]** を選択し、次に必要な部数を指定して、**[選択]** ボタンを押します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。


 **注記:** **[回転]** が **[オン]** になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。


フロントパネルからすでに印刷されたジョブを再印刷できます。ジョブ管理アイコン  を選択し、キューからジョブを選択して、**[再印刷]** を選択します。

ジョブのステータスメッセージ

以下は、表示されるジョブのステータスメッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- データを受信しています：プリンタがコンピュータからジョブを受信しています。
- 処理を待っています：ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています (埋め込み Web サーバ経由で送信されたジョブのみ)。
- データを処理しています：プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています。
- 印刷の準備を行っています：プリンタがジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。
- 印刷待ち：印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています。
- ネスティング待ち：プリンタはネスティングがオンに設定されており、ネストを完了して印刷を開始するために他のジョブを待っています。
- 一時停止しています：ジョブは[プレビューを表示する]オプションを使用して送信され、一時停止中です。

 **ヒント**：プレビューが 64 ページを超える場合は、ジョブを送信しないでください。

 **注記**：ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- 適切な用紙を待っています：プリンタに必要な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け ([25 ページの「使用方法 \(用紙\)」](#)を参照)、[続行]をクリックしてジョブを再開します。
- アカウンティング情報を待機中：プリンタがすべてのジョブにアカウント ID を要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウント ID を入力して [続行] をクリックします。
- 印刷
- 乾燥しています
- 用紙をカットしています
- 素材を排出しています
- キャンセルしています：ジョブはキャンセル中ですが、プリンタのジョブキューには残ります。
- 削除しています：プリンタからジョブを削除しています。
- 印刷済み
- キャンセル：プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- ユーザの指示によりキャンセルしました
- ジョブがありません：ジョブに印刷するものが含まれていません。

保留を解除する

プリンタが保留中のジョブを置く場合、アラートを受信します ([181 ページのプリンタアラート](#)を参照)。これには、ジョブが保留中である理由が説明されています。画面に表示される指示に従って、保留を解除、印刷を続行します。

9 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- [プリンタのアカウントリング情報](#)
- [プリンタの使用状況に関する情報を確認する](#)
- [ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する](#)


プリンタのアカウント情報

プリンタからアカウント情報を取得するには、さまざまな方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示します ([120 ページのプリンタの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。
- HP DesignJet Utility を使用して、最近のそれぞれのジョブに対するインクと用紙の使用量を表示します ([120 ページのジョブのインクと用紙の使用状況を確認する](#)を参照)。HP DesignJet Utility を利用できない場合は、[19 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照してください。
- インターネットを介してプリンタからプリンタ ステータス、プリンタの使用状況、またはジョブのアカウントデータ要求するには、サードパーティ アプリケーションを使用してください。プリンタは、必要に応じていつでもアプリケーションに XML でデータを提供します。HP では、このようなアプリケーションの開発を促進するためにソフトウェア開発キットを提供しています。

プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記**：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

埋め込み Web サーバでのプリンタ情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. [メイン]タブに移動します。
3. [履歴] > [使用状況] を選択します。

HP DesignJet Utility でのプリンタ情報

1. HP DesignJet Utility にアクセスします ([19 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. Windows では、[概要]タブに移動し、[プリンタ使用状況] リンクをクリックします。
Mac OS X 用の HP DesignJet Utility では、[プリンタ使用状況] を選択して [検索] ボタンを押します。

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2つの方法があります。

 **注記**：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

埋め込み Web サーバでのインクと用紙の情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. [メイン]タブに移動します。
3. [履歴] - [アカウント] を選択します。

HP DesignJet Utility でのインクと用紙の情報

1. HP DesignJet Utility にアクセスします ([19 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. 最新のジョブに関する情報を表示するには、**[ジョブセンター]**を選択します。
3. Windows では、**[アカウントिंग]**リンクをクリックします。
MAC OS X では、**[ジョブ アカウントिंग]**を選択し、**[検索]**ボタンをクリックします。

10 実際の印刷の例

- [概要](#)
- [Adobe PhotoShop CS4 での画像のリサイズ](#)
- [Photoshop CS2 でのカラー写真の印刷](#)
- [正しい倍率で試し印刷する](#)
- [一貫したカラーでジョブを再印刷する](#)
- [ESRI ArcGIS 9 を使用してマップを印刷する](#)

概要

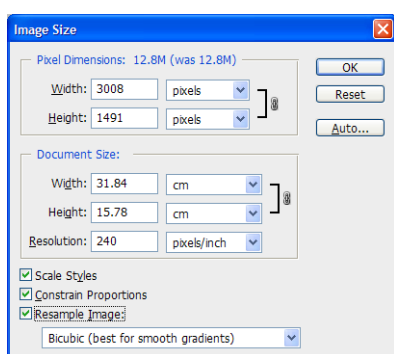
ここでは、特定のソフトウェアを使用した特定の印刷ジョブを手順を追って説明します。これは、Web 上にある HP の Knowledge Center に掲載されているものとほとんど同じです。最新の情報と、RIP でのシナリオなどのその他の印刷の例については、お使いのプリンタモデルに応じて <http://www.hp.com/go/Z6600/support/> または <http://www.hp.com/go/Z6800/support/> で Knowledge Center を参照してください。

Adobe PhotoShop CS4 での画像のリサイズ

アプリケーションの設定

1. Adobe Photoshop を開き、[イメージ]メニューから、[画像解像度]を選択します。

[画像解像度] ダイアログボックスが表示されます。



2. 解像度のオプションを設定します。

- [ピクセル数]: 出力されるページサイズを設定します。
- [ドキュメントのサイズ、解像度]: 出力されるページサイズと解像度を設定します。一般的なガイドラインとして、印刷品質設定に基づいて解像度を設定してみてください。以下の表を参照してください。

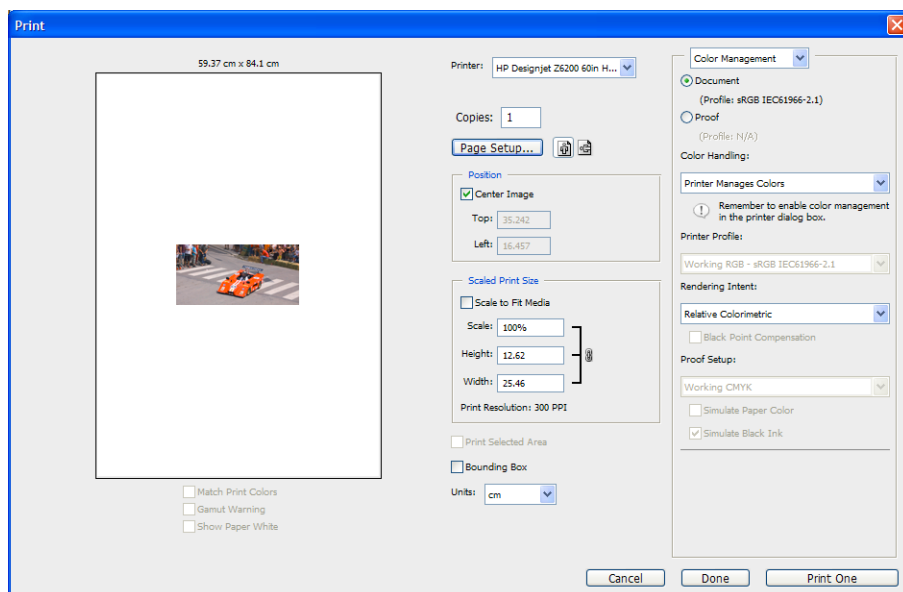
印刷品質設定	推奨解像度の設定
高速	300
普通	600-900
高画質	1200

印刷品質設定についての詳細は、[81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。

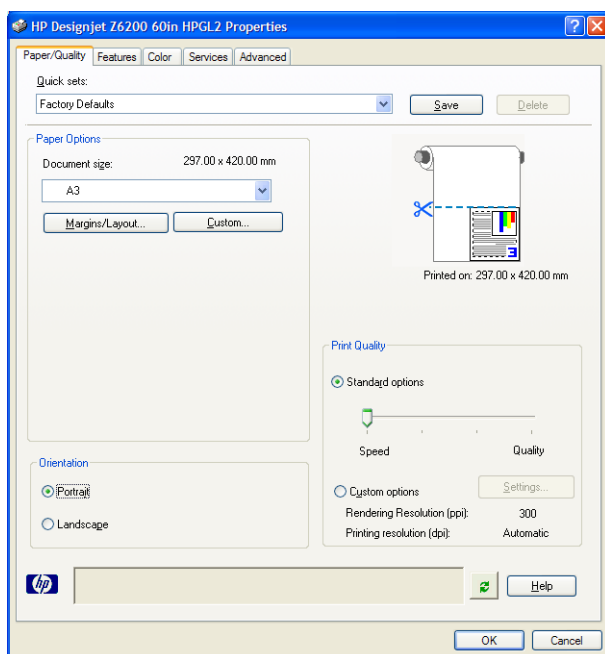
- [縦横比を固定]: 元のイメージの縦横比を保持する場合、このオプションを選択します。
- [画像の再サンプル]: 画像の再サンプルが行われると、内挿法を使用し、イメージ内のピクセルのカラー値に基づいて、Photoshop が作成する新しいピクセルにカラー値を割り当てます。Photoshop が使用する高度な方法により、イメージを再サンプルしたときの元のイメージ品質とディテールが保たれます。以下の再サンプルオプションの1つを選択します。
 - － [ニアレストネイバー法]: 高速な反面、正確性が低い方法でイメージ内のピクセルが再現されます。この方法は、アンチエイリアスされていないエッジが含まれているイラストで使用し、エッジが鮮明に保持されるためファイルを小さくできます。ただし、

この方法の場合、イメージを歪めたり、イメージを拡大縮小したり、あるいは複数の操作を行ったりすると、ギザギザが鮮明になります。

- **【バイリニア法】**：周囲のピクセルのカラー値を平均させてピクセルを追加します。結果として、中程度の品質が得られます。
 - **【バイキュービック法】**：周囲のピクセルの値を調べて基にするため、低速な反面、より正確な方法です。より複雑な計算が行われるため、バイキュービック法を使用すると、ニアレストネイバー法やバイリニア法と比較して、より滑らかな階調のグラデーションが生成されます。
 - **【バイキュービック法(滑らか)】**：バイキュービック法の内挿を基にしたイメージを拡大する場合には良い方法ですが、より滑らかな結果が得られるように設計されています。
 - **【バイキュービック法(シャープ)】**：バイキュービック法の内挿を基にしたイメージを、よりシャープにしてサイズを縮小する場合に適した方法です。この方法の場合、再サンプルしたイメージのディテールが保持されます。バイキュービック法(シャープ)を使用するとイメージの一部が過度に尖ってしまう場合は、バイキュービック法を使用してみてください。
3. 解像度のオプションを設定したら、**【OK】** ボタンをクリックします。
 4. **【ファイル】** メニューから **【印刷】** を選択します。



5. プリンタを選択し、[ページ設定] ボタンをクリックします。プリンタ プロパティのダイアログボックスが表示されます。



6. ページサイズと必要な他の印刷オプションを設定し、次に、[OK] ボタンをクリックします。印刷オプション設定についての詳細は、[79 ページの「印刷オプション」](#)を参照してください。

Photoshop CS2 でのカラー写真の印刷

この例では、Windows XP 環境で Adobe Photoshop CS2 を使用します。カラーマネジメントは Photoshop によって行います。

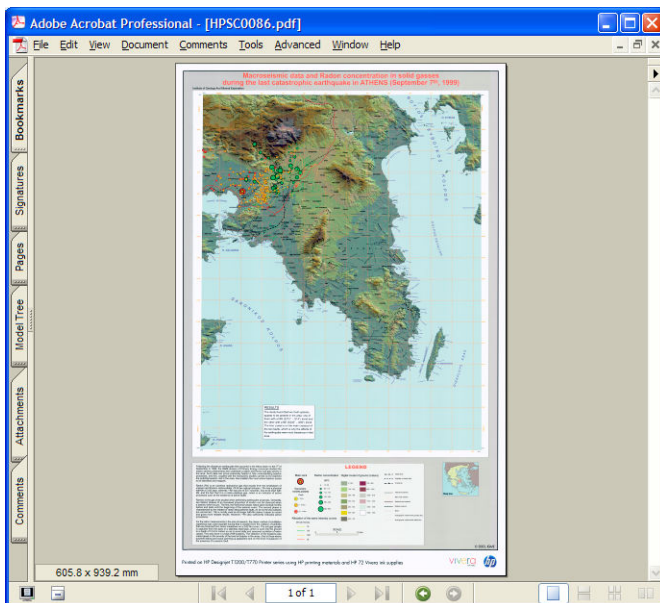
1. 推奨される初期設定
 - ジョブに応じて適切な用紙の種類を選択します。
 - 用紙の種類は、プリンタおよび使用する印刷品質のレベルに合わせてキャリブレーションとプロファイリングが行われている必要があります。Z6810 をお使いの場合は[99 ページのカラーキャリブレーションと100 ページのカラープロファイリング](#)、Z6610 をお使いの場合は[103 ページのカラーキャリブレーションと104 ページのカラープロファイリング](#)を参照してください。
 - 印刷されたイメージの正確なプレビューを表示するには、モニタもプロファイリングが行われている必要があります。
2. Adobe Photoshop CS2 を開きます。
3. [編集] メニューから [カラー設定] を選択します。
 - [詳細オプション] が表示されていることを確認します。
 - [カラーマネジメントポリシー] で、[埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。
 - [プロファイルの不一致] で、[開く時に確認] と [ペーストする時に確認] を選択します。
 - [埋め込みプロファイルなし] で、[開くときに確認] を選択します。

- [変換オプション]で、[詳細オプション]ボタンをクリックして[変換オプション]を開き、次に[マッチング方法]-[知覚的]を選択します。
 - [OK]ボタンをクリックします。
4. [ファイル]メニューから[開く]を選択し、イメージを開きます。
- ドキュメントに、現在の作業用スペースと一致しない埋め込みプロファイルがある場合は、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用]を選択します。そうでない場合は、[作業用 RGB を指定]を選択します。
- このとき、イメージのカラーが適切であるように見えない場合は、[編集]-[プロファイルの指定]を選択して、[sRGB]、[Adobe RGB]、[ColorMatch RGB]など、他のカラー スペースを試します。
- [OK]ボタンをクリックします。
5. [ファイル]メニューから[プリントプレビュー]を選択します。
- [用紙設定]を選択します。
 - プリンタを選択します(例：[HP DesignJet Z6810ps 1524-mm])。
 - [用紙サイズ]：プリンタに現在取り付けられている用紙のサイズを選択します。
 - [方向]：用紙上の画像の向き(縦または横)を選択します。
 - [OK]ボタンをクリックします。
 - 必要な[位置]と[拡大・縮小したプリントサイズ]を設定します。
 - [詳細オプション]が表示されていることを確認します。
 - [カラーマネジメント]タブをクリックします。
 - [印刷]：[ドキュメント]を選択します。
 - [オプション]-[カラー処理]を選択し、次に[Photoshop によるカラー処理]を選択します。
 - [オプション]-[プリンタプロファイル]を選択し、次に使用するプリンタと用紙の種類に適したプロファイルを選択します。
 - [印刷]ボタンをクリックします。
6. ドライバ設定を選択します。
- [プリンタ]：プリンタを選択します([HP DesignJet Z6810ps 1524-mm])。
 - [品質]タブをクリックし、次のオプションを指定します。
 - － [品質オプション]：[標準オプション]を選択し、スライダを[品質]にドラッグします。
 - [カラー]タブをクリックし、次のオプションを指定します。
 - － [カラー印刷]を選択します。
 - － [カラー マネジメント]：[アプリケーションで管理]を選択します。
 - [印刷]ボタンをクリックします。

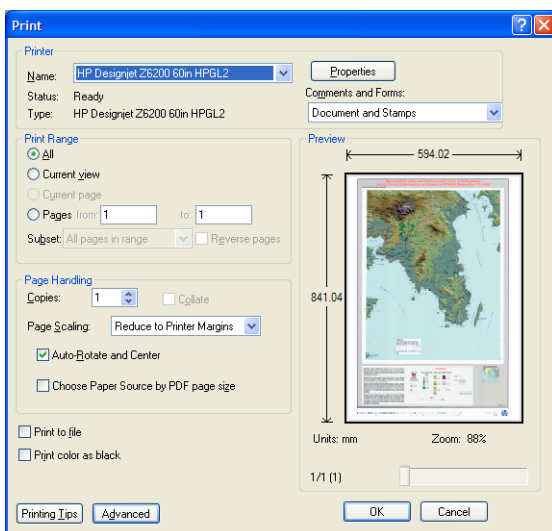
正しい倍率で試し印刷する


Adobe Acrobat を使用する

1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルを画面の左下隅まで移動して図面のサイズを確認します。

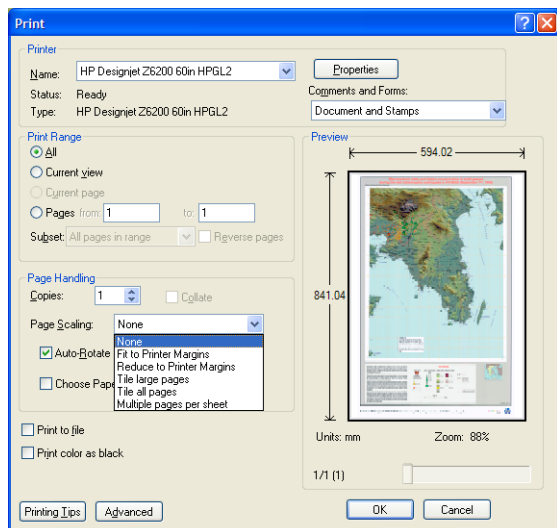


2. [ファイル]-[印刷] をクリックします。

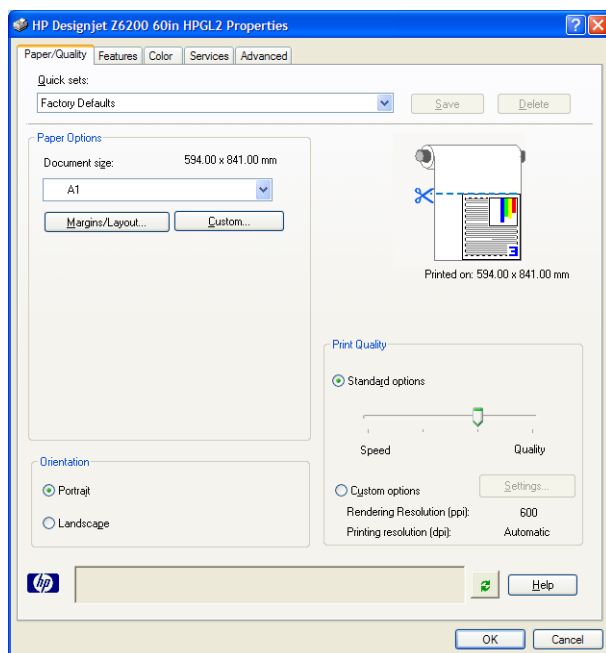


 **注記：** ページサイズは、描画サイズに従って自動的に選択されるわけではありません。

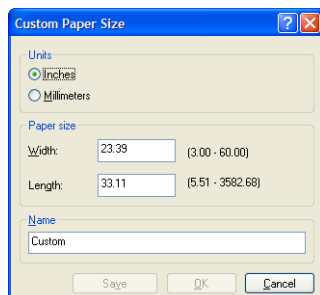
3. 倍率を維持するために、[ページの拡大/縮小]を[なし](これはデフォルトの設定ではありません)に設定します。



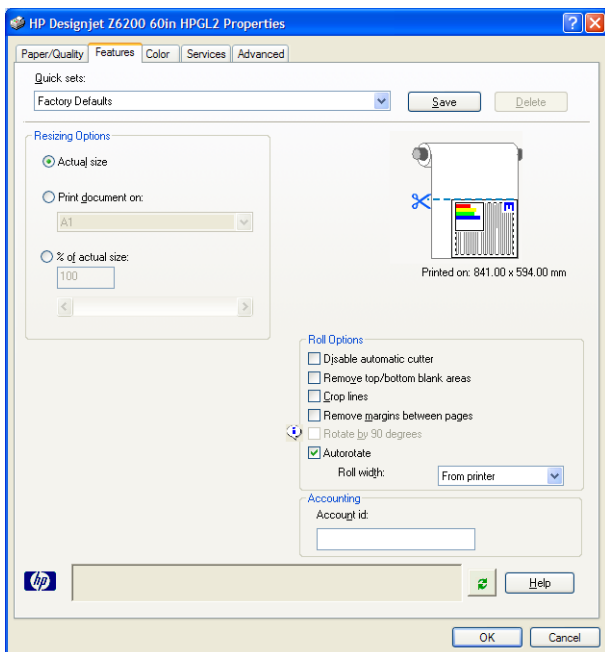
4. [プロパティ] ボタンをクリックします。



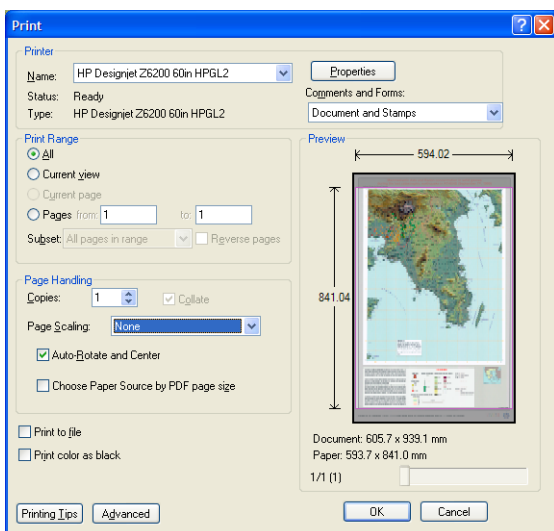
5. 使用する[文書サイズ]および[印刷品質]を選択します。[カスタム]ボタンをクリックして新しいカスタム用紙サイズを定義します。



6. [機能] タブをクリックし、[自動回転] を選択します。




7. [OK] ボタンをクリックし、[印刷] ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。



8. 印刷するには、再び [OK] をクリックします。

一貫したカラーでジョブを再印刷する


このシナリオでは、すべての印刷結果に一貫したカラーを使用する方法を説明します。

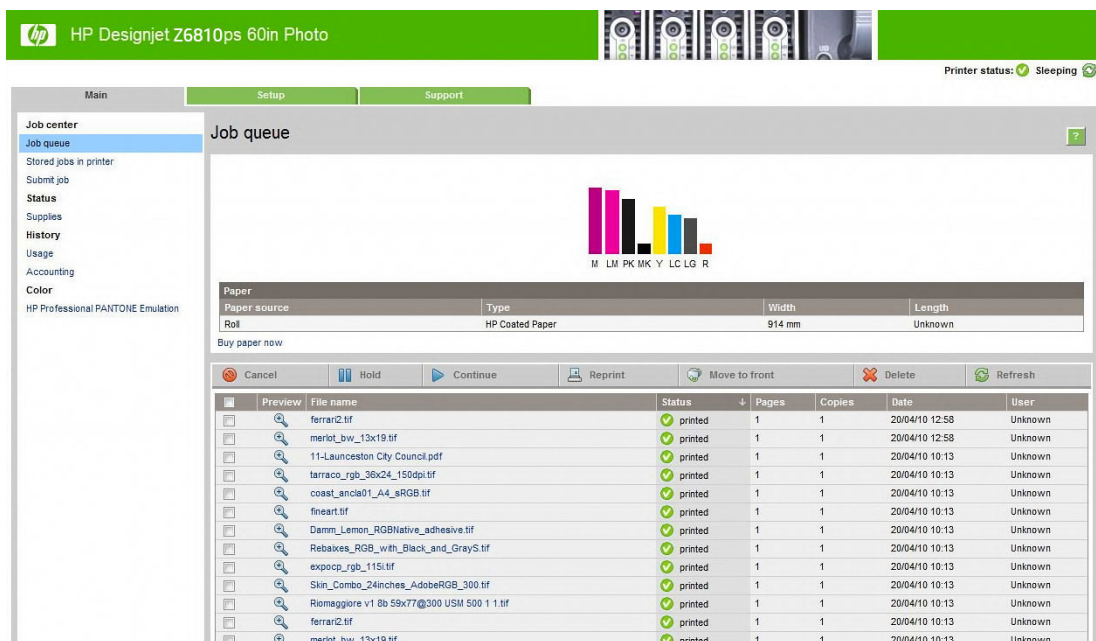
 **注記:** HP は、同じ機種 of プリンタで同じ種類の用紙を使用して実行される印刷ジョブ間でのカラーの一貫性をサポートします。

シナリオ 1

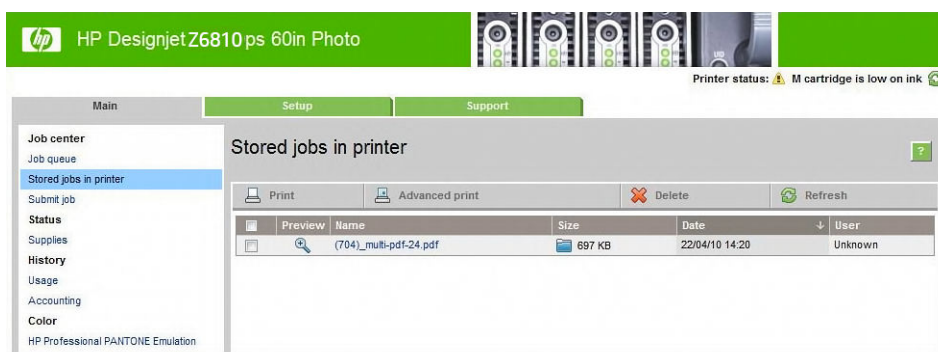
同じプリンタを使用して、一貫したカラーでジョブを再印刷します。

ジョブの再印刷時に一貫したカラーを使用するには、同じ種類の用紙を使用してください。

1. 取り付けられている用紙の種類に対して、カラーキャリブレーションが有効なことを確認してください。フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [取り付けられている用紙の表示] を選択します。[用紙情報] ウィンドウで、[カラーキャリブレーション] が [OK] になっていることを確認します。カラーキャリブレーションが [待機] または [推奨] になっている場合、HP Color Center またはフロントパネルからカラーキャリブレーションを実行します。
2. ジョブを再印刷する：埋め込み Web サーバから [ジョブキュー] に移動し、再印刷するジョブを選択して、[再印刷] ボタンをクリックします。




ファイルがプリンタに保存されている場合も、もう一度印刷できます。埋め込み Web サーバから [プリンタに保存されたジョブ] に移動し、印刷するジョブを選択してから [印刷] ボタンをクリックします。



シナリオ 2

2 台の HP DesignJet D6810 プリンタを使用して、ジョブを再印刷します。

ジョブの再印刷時に一貫したカラーを使用するには、同じ種類の用紙を使用してください。

1. 両方のプリンタに取り付けられている用紙の種類に対して、カラーキャリブレーションが有効なことを確認してください。フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [取り付けられている用紙の表示] を選択します。[用紙情報] ウィンドウで、[カラーキャリブレーション] が [OK] に

なっていることを確認します。カラーキャリブレーションが[待機]または[推奨]になっている場合、HP Color Center またはフロントパネルからカラーキャリブレーションを実行します。

2. ジョブを印刷します。

ESRI ArcGIS 9 を使用してマップを印刷する

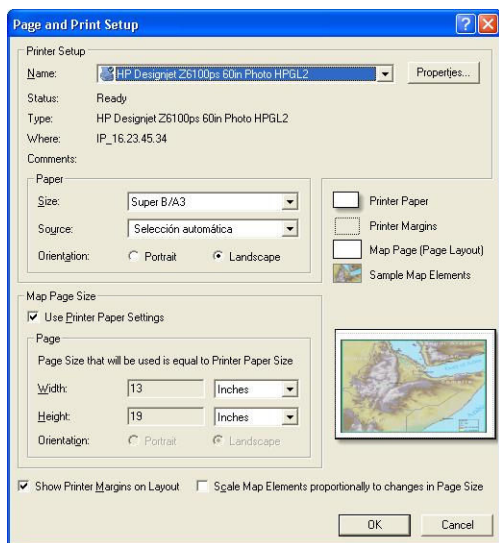
ArcGIS は、地図データの作成、管理、統合、分析、および配布に使用するスケーラブルなソフトウェアシステムです。個人ユーザからネットワークで接続された各国ユーザに至るまで、あらゆる組織に対応しています。

このソフトウェアでは、RGB データが常にプリンタドライバに送信されます。複数のプリンタエンジンから使用するエンジンを選択します。プリンタエンジンにより、ArcMap がプリンタ ジョブをプリンタに送信するとき使用する形式と方法が決定されます。ライセンスとプリンタの設定に応じて、1 種類から 3 種類のオプションを使用できます。

- **[Windows]** : デフォルトです。使用するプリンタに関係なく、いつでも使用できます。ソフトウェアは、インストールされている HP-GL/2 および RTL ドライバを使用できます。
- **[PostScript]** : プリンタが PostScript をサポートしており、[Name] セクションで PostScript ドライバが選択されている場合にのみ、使用できます。この場合は、ファイルを PostScript ファイルとして出力できます。このオプションは、特定の状況では便利ですが、通常の使用にはお勧めできません。
- **[ArcPress]** : ArcGIS の印刷用拡張機能です。別途購入が必要です。これはソフトウェア RIP で、元のメタファイルをプリンタに送信する前にラスタデータに変換します。従って、プリンタでラスタデータに変換する必要がなくなります。プリンタにラスタデータへの変換機能がないか、プリンタに大きなジョブを処理できるだけのメモリがない場合に便利です。ArcPress は常に HP RTL (RGB) TrueColor で使用します。

Windows プリンタ エンジンを使用する

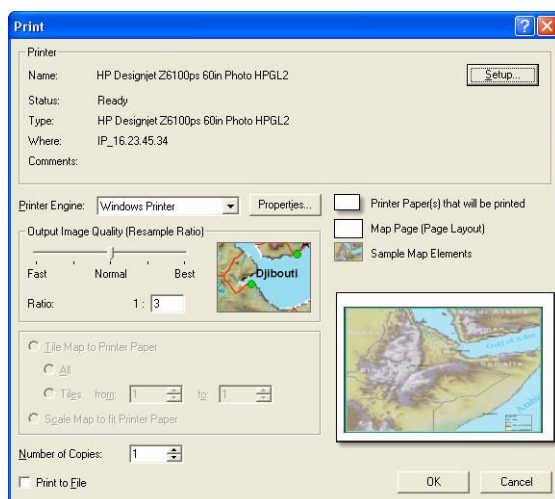
1. HP-GL/2 & RTL ドライバがインストールされていることを確認します。
2. 印刷する準備ができたら、[ファイル]-[ページ設定/印刷設定]をクリックし、HP-GL/2 および RTL ドライバを選択します。



3. [プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [品質] に設定します。
 - [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[ソース プロファイル] プルダウン メニューで [プリンタで管理] を [sRGB] に設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
 5. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
 - [プリンタ エンジン]: [Windows Printer] を選択します。
 - [出力画像の品質 (リサンプリング率)]: ArcMap の印刷ファイル生成時のサンプル ピクセル数を変更します。また、プリンタに送信するファイルの作成に使用される、地図ドキュメントのピクセル数を指定します。
 - 粗い(速い) = 1:5
 - 標準 = 1:3
 - 精密(遅い) = 1:1 (そのまま)

[精密(遅い)] を選択すると、印刷ジョブの処理に大量のリソースを消費します。地図のサイズによっては、処理の完了に時間がかかったり、メモリ不足を示すメッセージが表示されたりする場合があります。このような場合は、[出力画像の品質] を [精密(遅い)] よりも低くしてください。プリンタの入力解像度より高い解像度のイメージを送信しても、印刷品質が向上するわけではありません。

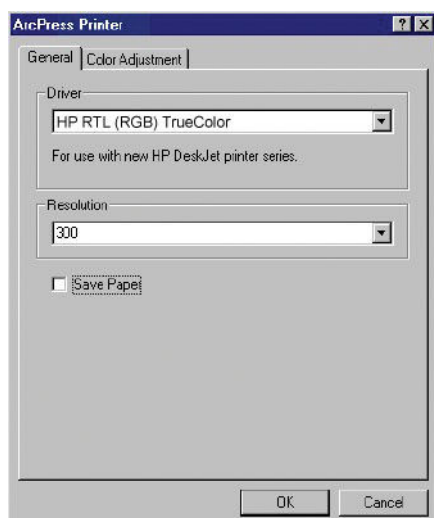


6. [OK] ボタンをクリックして印刷します。

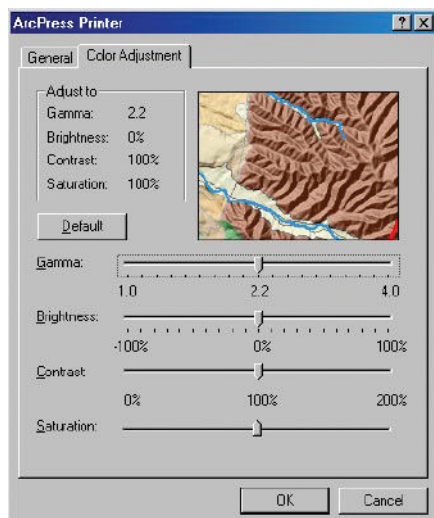
ArcPress プリンタ エンジンを使用する

1. 必要なドライバがインストールされていることを確認します。ただし、このドライバはポートとしてのみ機能します。
2. 印刷する準備ができたなら、[ファイル]-[ページ設定/印刷設定] を選択します。ドライバを選択し (ドライバの設定は影響しません)、[OK] ボタンをクリックします。
3. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
 - [プリンタ エンジン]: [ArcPress プリンタ] を選択します。

- [プロパティ] ボタンをクリックします。[HP RTL (RGB) TrueColor] ドライバを選択し、ドライバに送信される解像度を選択します。



- ガンマ、明るさ、コントラスト、または彩度を調整する場合は、[色調整] タブを選択します。変更結果はプレビューで確認できます。



4. 印刷するには、このダイアログボックスおよび[印刷]ダイアログボックス両方の[OK]ボタンをクリックします。

11 プリンタの保守

- [プリンタ外観のクリーニング](#)
- [プラテンのクリーニング](#)
- [用紙送りセンサーの窓をクリーニングする](#)
- [プリントヘッドキャリッジを潤滑する](#)
- [インクカートリッジをメンテナンスする](#)
- [予防保守を実行する](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [プリンタファームウェアのアップデート](#)
- [インクアブソーバーを交換する](#)
- [安全なディスク消去](#)

プリンタ外観のクリーニング

湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用して、プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分(インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど)のクリーニングを行います。

⚠ 警告！ 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ 注意： プリンタに研磨剤入りクリーナーを使用しないでください。

プラテンのクリーニング

数か月ごとに、または必要に応じて、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

📖 注記： 特定の用紙をしばらく使用した後で、それより幅の広い用紙に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れている場合があります。汚れている箇所をクリーニングしないと、インクが用紙の裏面に残る場合があります。

⚠ 警告！ プラテンをクリーニングする際は、用紙送りセンサーに損傷を与えないよう注意してください。センサーは極小の長方形の窓で、右から6番目のプラテンローラーの近くにあります。

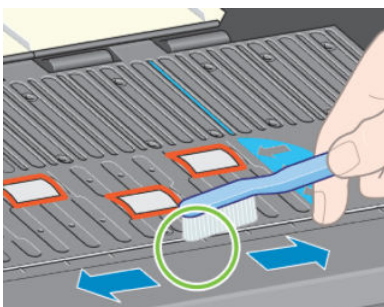
[137 ページの用紙送りセンサーの窓をクリーニングする](#)を参照してください。

以下の手順に従い、プラテンのクリーニングを行います。

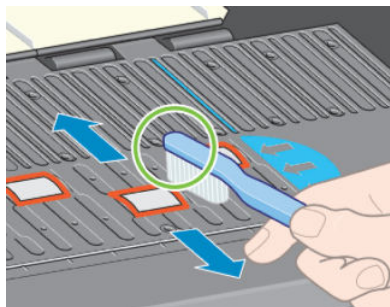
1. プリンタからすべての用紙を取り外します。 [34 ページのプリンタからロールを取り外す](#)を参照してください。
2. プリンタのウィンドウを開きます。



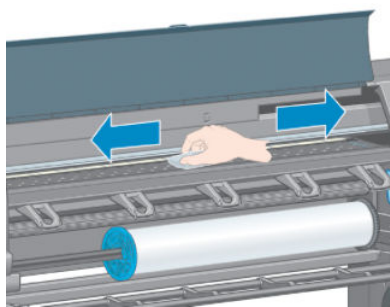
3. 乾いたブラシで、カッターの溝からインクの付着を取り除きます。



4. 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面からインクの付着を取り除きます。

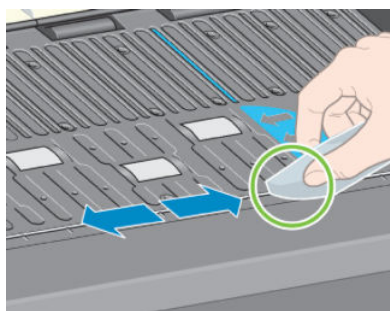


5. 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピルアルコールを少し付けて、プラテンから落ちたインクの付着を拭き取ります。

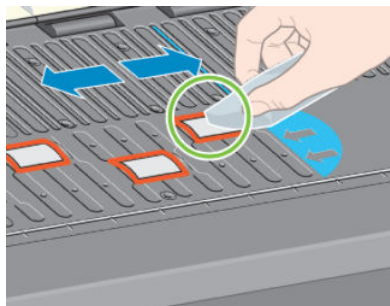


△注意:市販のクリーナーや研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。プラテンに水分が残るため、プラテンを直接濡らさないでください。

6. 湿った布を使用して、カッターの傾斜面のクリーニングを行います。



7. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。

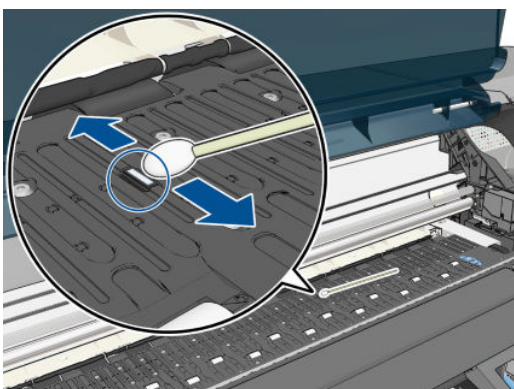


用紙送りセンサーの窓をクリーニングする

用紙送りセンサーは極小の長方形の窓で(1平方センチメートル以下で、以下の図に示します)、右から6番目のプラテンローラーの近くにあります。

6 か月ごとに、および印刷品質に問題が発生した場合に用紙送りセンサーの窓をクリーニングしてください。


1. フロントパネルに表示される手順に従って、用紙を取り外します。[34 ページのプリンタからロールを取り外す](#)を参照してください。
2. 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピルアルコールを少し付けて、センサーの窓から落ちた埃とインクの付着を拭き取ります。



3. クリーニングされたセンサーの窓を間接照明の下で見ると、紫色の反射が表面全体に均一に見えます。この反射を確認するには、センサーの窓に目を近づけてから、見る角度を少し変えて見てください。
4. アルコールをすべて確実に蒸発させるため、3~4分待ってから用紙を再度取り付けます。

プリントヘッドキャリッジを潤滑する

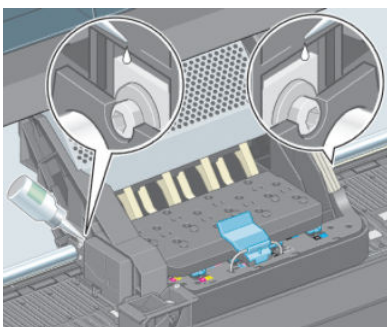
プリントヘッドキャリッジは、年に1度程度、潤滑油をさして、スライダロッドがスライドしやすいようにします。

1. キャリッジにアクセスするには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に **[プリントヘッドの交換]** を選択します。キャリッジがプリンタの中央部分にスライドします。

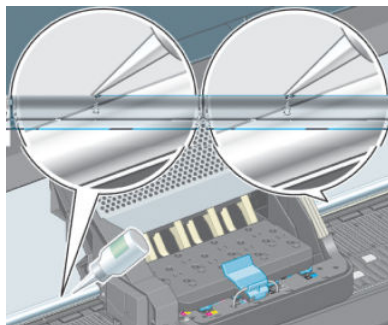
⚠ 注意：キャリッジがプリンタの中央部分放置されている時間が7分を超えると、右端の通常的位置に戻ります。

2. プリンタのウィンドウを開き、キャリッジの両側のパッドに、数滴の多目的潤滑油をさします。

📖 注記：ローラー潤滑キットは、プリンタ保守キットの一部として必要に応じて注文できます。



3. キャリッジの両側のスライダ ロッドに直接、数滴の潤滑油をさします。



4. プリンタのウィンドウを閉じます。

インクカートリッジをメンテナンスする

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別なメンテナンスは必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。使用期限は、カートリッジに記載されている製造日プラス 30 ヶ月です。

予防保守を実行する

プリンタを使用していると、常に使用されるコンポーネントは、消耗していきます。

コンポーネントの消耗によるプリンタの故障を防ぐために、プリンタは、プリンタ キャリッジがプリンタの軸を横切った回数と、使用したインクの合計量を記録しています。

プリンタはこの数値を使用して、予防保守が必要なことを検出します。その際には、フロントパネルに以下のメッセージが表示されます。

- 保守#1 が必要です
- 保守#2 が必要です

これらのメッセージは、コンポーネントの寿命が近づいていることを示します。プリンタの使用状況によっては、長期にわたって印刷を続行することもできますが、日本 HP カスタマー・ケア・センターに連絡して、予防保守を依頼することをお勧めします。サービスエンジニアは、消耗した部品をオンサイトで交換します。これにより、より長くプリンタをお使いいただくことができます。

フロントパネルにこれらのメッセージが表示されたときに、サービスエンジニアの派遣を手配するには、2つの利点があります。

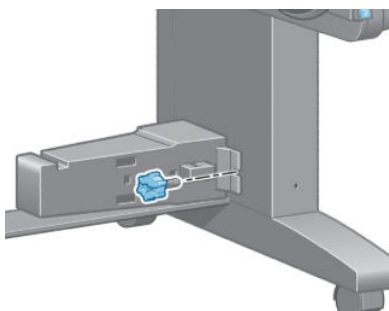
- プリンタ コンポーネントをお客様の都合に合わせて交換することができるので、通常業務の邪魔をしません。
- サービスエンジニアが予防保守を実行する場合、一度に複数の部品を交換するため、繰り返し訪問する必要がなくなります。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、準備作業を正しく行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッドクリーナは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。

3. プリントヘッドキャリッジが、プリンタ右端のサービスステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに**使用可能**メッセージが表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの **[電源]** ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. 電源ケーブル、およびネットワーク、コンピュータ、またはスキャナにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
8. 巻き取りリールが取り付けられている場合は、巻き取りリールセンサーとケーブル格納ユニットをプリンタスタンド下部から取り外します。センサーとケーブル格納ユニットをプリンタスタンドのクロスバーに合わせて配置し、図に示すように、プリンタの移動中に、青いプラスチックネジを使用して格納ユニットをスタンドの脚部に固定します。以下の図を参照してください。格納ユニットを再度取り付けの場合、プリンタスタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。



注記: プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で結露し、インク漏れやプリンタエラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも3時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

ヒント: プリントヘッドの準備と除去には時間がかかり、インクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープモードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずに済みます。

プリンタファームウェアのアップデート

プリンタのさまざまな機能は、ファームウェアと呼ばれている、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。

ファームウェアのアップデートは、随時、HP から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をご使用ください。

- Windows の場合は、HP DesignJet Utility を開いてお使いのプリンタを選択し、**[サポート]** タブ、**[ファームウェアのアップデート]** の順に選択します。
- Mac OS X の場合は、HP DesignJet Utility を開き、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。

- プリンタの埋め込み Web サーバの **[セットアップ]** タブで **[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
- HP Web サイトから USB フラッシュドライブにファームウェアをダウンロードし、プリンタの背面の高速 USB ホスト ポートに差し込みます。ファームウェアのアップデート アシスタントがフロントパネルに表示され、アップデート処理の手順が示されます。

コンピュータからファームウェアをアップデートする場合、画面の指示に従ってファームウェア ファイルをダウンロードしてハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、**[アップデート]** をクリックします。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシサーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 10 を使用している場合は、**[ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定]** の順に選択し、**[LAN にプロキシサーバを使用する]** チェックボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを例外の一覧に追加します。
- MAC OS X で Safari を使用している場合は、**[Safari]-[環境設定]-[詳細]** を選択し、プロキシ： をクリックします。**[設定の変更]** ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を **[プロキシ設定を使用しないホストとドメイン]** の一覧に追加します。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます。[44 ページの用紙プリセットのダウンロード](#)を参照してください。

ファームウェアのアップデート処理中、プリンタが再起動します。


```
Firmware update
-----
This update requires you to
select the region where
your printer is located.
Your printer will only
support HP 773 supplies and
the supplies from your
region. Press OK to cont.
with the upd. or Cancel to can.
```


[キャンセル] を押した場合、ファームウェアのアップデートがキャンセルされます。

[OK] を押した場合は、ファームウェアのアップデートが続行され、プリンタを使用する国/地域を選択するように求められます。[55 ページのプリンタの国/地域の選択](#)を参照してください。

インク アブソーバーを交換する

インク アブソーバーが最大の飽和状態に達すると、フロントパネルに警告が表示されます。また、交換が必要になると、再度警告が表示されます。


 **注記：** このアブソーバーは、湿度が継続して 25%を下回ると、極度に乾燥して正確に動作しなくなります。

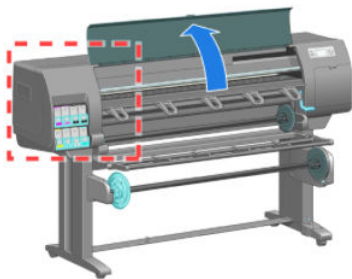
 **注意：** 飽和状態、または極度に乾燥したインク アブソーバーは、プリントヘッドおよびプリンタのその他の部品に深刻な損傷を与える原因となります。警告が示されたら、インク アブソーバーを直ちに交換することを強くお勧めします。

インク アブソーバーを取り外す

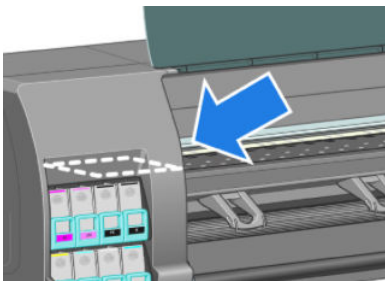
インク アブソーバーと使い捨てビニール手袋がこのプリンタ対応のメンテナンスキットに含まれています。



1. プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、**[インクアブソーバーの交換]**を選択します。
2. プリンタのウィンドウを開きます。




3. 左スピトーンを確認します。



4. インクアブソーバーの場所を確認します。



5. アブソーバーの前面の端から延びているタブを持ち上げます。

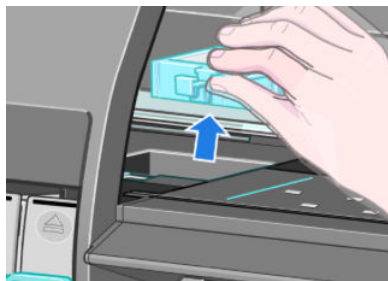
 **注記：**手にインクがつかないように使い捨てビニール手袋をはめてください。



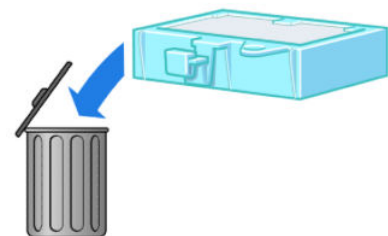
6. スピトゥーンから離れるまでアブソーバーのタブを持ち上げます。これで簡単にタブを掴むことができます。



7. アブソーバーを持ち上げてスピトゥーンから取り外します。

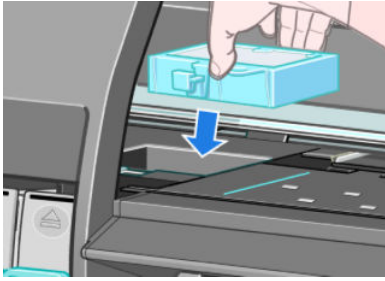


8. 汚れたインク アブソーバーは、居住国/地域の規定に従って廃棄してください。

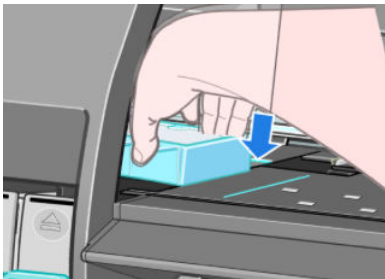


インク アブソーバーを取り付ける

1. 図のように、新しいインク アブソーバーをしっかりと持ちます。



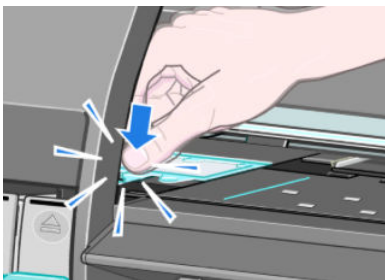
2. アブソーバーの背面の端をスピトゥーンの取り付け場所に差し込みます。



3. 親指で、アブソーバーをスピトゥーン内の取り付け場所の後方にスライドさせます。



4. タブの付いている端を奥まで挿入し、所定の位置にカチッと音がするまで上から押し込みます。インクアブソーバーの上部が平らな状態で取り付けられていること、および、保守アブソーバーのどの端もプラテンの面より高くなっていないことを確認します。



5. フロントパネルの **[OK]** ボタンを押します。インクアブソーバーが正しく取り付けられていることがプリンタで確認されます。正しく取り付けられていないことがフロントパネルのメッセージで表示される場合は、インクアブソーバーを取り外してからもう1度挿入し、**[OK]** ボタンを押します。

安全なディスク消去


プリンタのハードディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハードディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハードディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の3つのセキュリティレベルを設定できます。

- **[非セキュア高速消去]**: 情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハードディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータシステムでファイルが消去される通常の方法です。最も高速ですが、最も安全性が低くなります。
- **[セキュア高速消去]**: 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気的痕迹を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **[セキュアサニタイジング消去]**: 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュアサニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスクメディアの消去およびサニタイジングの要件(5220-22.m)に適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティレベルです。

安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。 <http://www.hp.com/go/webjetadmin/> を参照してください。

Web JetAdmin から安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HP サポートにお問い合わせください。 [183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#) を参照してください。

 **注記**: ハードディスク全体の消去を選択した場合、処理中に何度かプリンタの再起動を要求されることがあります。この処理は、安全なディスク消去では最大 12 時間、セキュアサニタイジング消去では最大 48 時間かかります。

12 アクセサリ

アクセサリの注文

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名前	製品番号
HP DesignJet HD スキャナ	CQ654C
HP DesignJet PostScript®/PDF のアップグレードキット	CQ745B
HP DesignJet Z6X00 ユーザー メンテナンス キット	Q6715A
HP DesignJet 1524-mm 用紙スタッカ	Q6714A
HP DesignJet 1524-mm スピンドル	CQ754A
HP Jetdirect 640n プリント サーバ	J8025A
HP DesignJet Z6200 42 インチ巻取りリールキット	CQ752A
HP DesignJet Z6200 42 インチ スピンドル	CQ753A

13 印刷品質の問題のトラブルシューティング

- [一般的なアドバイス](#)
- [トラブルシューティング用ツール](#)
- [描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない](#)
- [線画が段状またはギザギザに表示される](#)
- [描画またはテキストの一部が印刷されない](#)
- [線が二重または間違っただけで印刷される](#)
- [線がぼやけている \(にじむ\)](#)
- [線が少しゆがんでいる](#)
- [イメージに、暗いまたは明るい横線 \(バンディング\) が見られる](#)
- [イメージが粒状になる](#)
- [イメージにメタリックの色相 \(褐色化する\) が現れる](#)
- [印刷結果が平らになっていない](#)
- [触れたときに印刷が汚れる](#)
- [用紙にインク跡が付く](#)
- [印刷の上部で不具合が発生する](#)
- [色が正確に再現されない](#)
- [まったく印刷されない](#)
- [一部しか印刷されない](#)
- [イメージの一部が印刷されない](#)
- [イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される](#)
- [イメージが誤った向きに回転される](#)
- [イメージが左右反対に印刷される](#)
- [印刷が歪むまたは不鮮明になる](#)
- [同じ印刷上でイメージが別のイメージと重なる](#)
- [ペンの設定が適用されない](#)

- [イメージに木目が現れる\(エアロワーム\)](#)
- [正方形が正方形でない](#)
- [塗りつぶし領域の端で色がずれる](#)

一般的なアドバイス

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

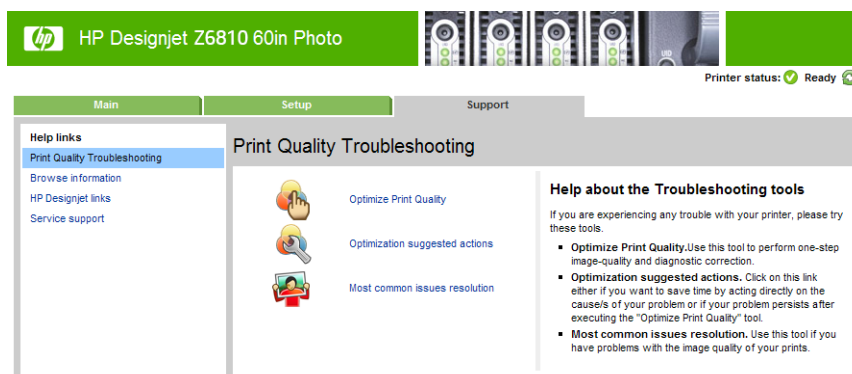
- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[47 ページの用紙の注文](#)を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。

⚠ 注意： 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。印刷品質の低下が起こりやすいのは、印刷品質のスライダを**[高速]**の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを**[高速]**に設定した場合です。
- 環境状況(温度、湿度)が推奨する範囲内にあることを確認します。[215 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。[139 ページのインクカートリッジをメンテナンスする](#)を参照してください。
- 印刷の実行中は、用紙に触れないようにします。


トラブルシューティング用ツール

埋め込み Web サーバでトラブルシューティング用ツールにアクセスするには、**[サポート]**タブを選択します。最初の2つのツールは、フロントパネルの**[イメージ品質の保守]**メニューからもアクセスできます。




印刷品質の最適化



このオプションは、プリンタおよびサプライ品が最適な印刷品質を提供できるように調整します。すべてのキャリブレーションおよび修復ルーチンを自動的に実行するには、**[次へ]**をクリックします。プロセス全体で用紙の 80cm を消費し、最大 20 分かかることがあります。

📖 注記： このオプションは、フロントパネルからも選択できます。メインメニューから 、**[印刷品質の最適化]**の順に選択します。

最適化された推奨措置

このオプションは、内部チェックの結果に基づいて、印刷品質を向上させるための一連の推奨されるアクションを提供します。これらのアクションには、プリントヘッドの取り付け直し、特定のキャリブレーションを実行するための用紙の変更、いくつかのプリンタ コンポーネントのクリーニングなどが含まれる場合があります。これらは提案される順に実行します。

 **ヒント**：問題の原因に基づいて直接行動することによって時間を節約したい場合、または自動的に [印刷品質を最適化する] プロセスの後で問題が解決されない場合に、このオプションを使用します。

 **注記**：このオプションは、フロントパネルからも選択できます。メインメニューから 、[最適化の提案されるアクション]の順に選択します。

最も一般的な問題の解決策

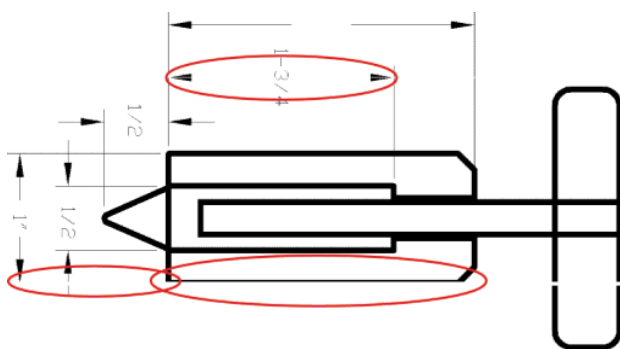
このオプションは、大判印刷でユーザが直面する最も一般的な印刷品質に関する問題の一部を解決する上で役立てていただけるように設計されました。

- イメージに、暗いまたは明るい横線(バンディング)が見られる
- 粒状感
- 線品質の低下
- 色が正確に再現されない


最初のウィンドウで、発生している印刷品質の問題を選択し、[次へ]をクリックします。

適切な解決策のリストが表示されます。手順に従って解決処理を行います。

描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない



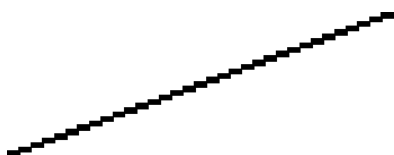
1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。
3. HP-GL/2 ドライバを使用している場合、イメージの解像度が印刷解像度よりも高いと、線品質が低下する場合があります。 [アプリケーションの最大解像度] オプションは、Windows ドライバのダイアログの [詳細設定] タブで、 [ドキュメントのオプション]- [プリンタの機能] の下に表示されます。 オプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷します。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、 [イメージ診断の印刷] を印刷します。 [70 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

5. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。 軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。
6. プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、**[取り付けられている用紙の表示]**を選択して、用紙送りのキャリブレーションのステータスを確認します。 ステータスが**[保留]**になっている場合は用紙送りキャリブレーションを実行します。 [43 ページの用紙送りのキャリブレーションを実行する](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP Customer Care センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはギザギザになった場合、以下の手順に従ってください。




1. イメージ自体に問題がある場合もあります。 イメージの編集に使用しているソフトウェアプログラムで、イメージの品質を向上させてみます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。
3. HP-GL/2 ドライバを使用している場合、イメージのレンダリング解像度を、印刷時の必要に応じて 300 dpi または 600 dpi に変更します。 **[アプリケーションの最大解像度]** オプションは、Windows ドライバのダイアログの **[詳細設定]** タブにある、**[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]** に表示されます。

描画またはテキストの一部が印刷されない

高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があります。一部の特別なワークフローでは、期待した出力が得られない場合があります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

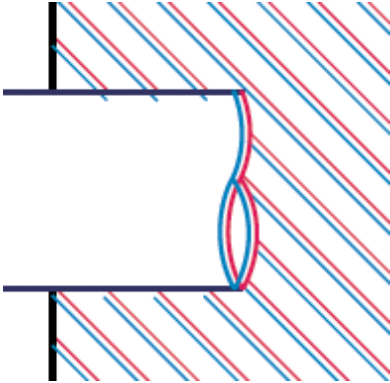
- ドライバまたはフロントパネルで、最終ページサイズに応じてより小さいページサイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のプログラムで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。
- お使いのソフトウェアでビットマップイメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。
- Windows ドライバのダイアログの **[詳細設定]** タブで、**[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]** を選択し、以下の手順に従います。
 - **[ビットマップ形式でジョブを送信する]** を **[有効]** に設定します (HP-GL/2 ドライバのみ)。
 - **[アプリケーションの最大解像度]** を「300」に設定します。

 **注記:** 上記の設定はトラブルシューティングのみのために挙げたものであり、最終的な出力品質や、印刷ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、問題が解決されない場合は、これらの設定をデフォルト値に戻してください。

線が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。




この問題を修正するには以下の手順に従います。

1. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。

線がぼやけている (にじむ)



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明に見える原因となります。以下の対策を試します。

1. 環境状況(温度、湿度)が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。 [215 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。確認するには、プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、[取り付けられている用紙の表示]を選択します。
3. HP 厚手コート紙、HP スーパー厚手コート紙、またはデジタルファインアート紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線が少しゆがんでいる

用紙自体がゆがんでいる可能性があります。これは、用紙を不適切な環境で使用または保管している場合に発生します。 [215 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。

イメージに、暗いまたは明るい横線(バンディング)が見られる

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合(色は異なる場合があります)は、下の手順に従います。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、印刷品質のスライダを [速度] に設定している場合は、[品質] に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. [イメージ診断の印刷] を印刷します。 [70 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
4. フロントパネルで用紙の用紙送りのキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが [保留] になっている場合は用紙送りキャリブレーションを実行します。 [43 ページの用紙送りのキャリブレーションを実行する](#)を参照してください。
5. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。

問題が解決しない場合は、日本 HP Customer Care センターにお問い合わせください。

イメージが粒状になる



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択した用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#) を参照してください。 場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。 たとえば、印刷品質のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。 または、単方向印刷を試すことができます。 印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#) を参照してください。 軸合わせを行って問題が解決した場合は、この時点でジョブを再印刷します。
5. フロントパネルで用紙の用紙送りのキャリブレーションステータスを確認します。 ステータスが **[保留]** になっている場合は用紙送りキャリブレーションを実行します。 [43 ページの用紙送りのキャリブレーションを実行する](#) を参照してください。

問題が解決しない場合は、日本 HP Customer Care センターにお問い合わせください。 [183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#) を参照してください。

イメージにメタリックの色相 (褐色化する) が現れる

褐色化とは、特定の角度から見た場合に、メタリックの色相のあるイメージのことを言います。褐色化は、フォト用紙などの非マット紙上に顔料インクで印刷した場合に最も一般的に発生します。標準の印刷品質オプションと褐色化効果が含まれたイメージを使用する場合、スライダを **[品質]** に移動します。 [81 ページの印刷品質の選択](#) を参照してください。

イメージを光沢紙に印刷する際に褐色化が発生する場合は、**[全プリントカートリッジ]** 印刷オプションを使用してみてください。 Windows ドライバでこのオプションを使用するには、**[カラー]** タブをクリックし、**[全プリントカートリッジ]** オプションを選択します。

印刷結果が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。
2. HP 厚手コート紙、HP スーパー厚手コート紙、またはより厚手のデジタルファインアート紙などに変更してみてください。

触れたときに印刷が汚れる

黒の顔料は、指やペンで触れると汚れます。これは特に、ベラム紙、半透明ボンド紙、フィルム、業務用フォト用紙、ナチュラルトレーシングペーパーで顕著になります。

汚れを少なくするには、以下の手順に従ってください。

- 湿度が高すぎない環境で印刷してみます。 [215 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- イメージの純粋な黒のオブジェクトを、こげ茶などの暗い色に変更して、黒インクではなくカラーインクで印刷するようにします。
- HP 厚手コート紙を使用します。
- 乾燥時間を増やします。 [45 ページの乾燥時間を変更する](#)を参照してください。

用紙にインク跡が付く

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

コート紙の表面に汚れがある

コート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。

この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。フロントパネルの [\[キャンセル\]](#) ボタンを押して、コンピュータソフトウェアのジョブをキャンセルします。そのままにしておくと、インクが染み込んだ用紙が原因で、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

- 推奨用紙の使用。 [27 ページのサポートされている用紙の種類](#)を参照してください。
- 印刷するイメージに強い色彩が含まれている場合は、HP 厚手コート紙または HP スーパー厚手コート紙を使用してみてください。

- 巻き取りリールを使用します。
- ソフトウェアアプリケーションを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを少なくとも10mm大きくします。
- 用紙を少なくとも10mm手動で送ります。フロントパネル: [用紙]-[用紙を移動]を選択します。
- 必要に応じて、用紙ではない材料に変更してみてください。

光沢紙の表面に汚れやキズがある

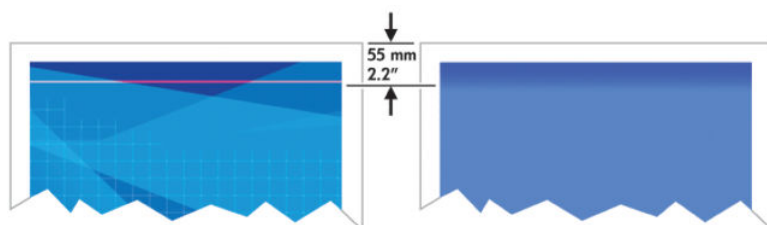
光沢紙は、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。これは、印刷したインクの量と、印刷時の環境条件によって異なります。用紙の表面に触れないようにして、印刷物は注意深く扱ってください。

用紙の裏にインクが付着する

プラテンや給紙ローラーに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。 [136 ページのプラテンのクリーニング](#)を参照してください。

印刷の上部で不具合が発生する

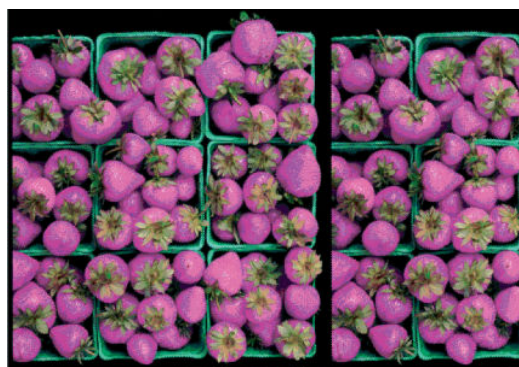
用紙の端から5.5cm以内の、印刷の最初の部分にのみ不具合が発生し、色調がそろっていない帯が現れることがあります。



この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. おそらく最も簡単な解決策は、問題の起こりやすい(ページの始まり)範囲が空白になるように、ソフトウェアアプリケーションを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを大きくすることです。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。 [81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。

色が正確に再現されない



印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の解決方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。同時に、カラーキャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが[ペンディング]または[失効]の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります。Z6810をお使いの場合は[99 ページのカラーキャリブレーション](#)を、Z6610をお使いの場合は[103 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。変更を行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[81 ページの印刷品質の選択](#)を参照してください。[速度]オプションを選択した場合、正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーションカラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラープロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[93 ページの「カラーマネージメント」](#)を参照してください。カラープロファイルを作成する必要がある場合は、Z6810をお使いの場合は[100 ページのカラープロファイリング](#)を、Z6610をお使いの場合は[104 ページのカラープロファイリング](#)を参照してください。
5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決したらジョブを再印刷します。
6. [イメージ診断の印刷]を印刷します。[70 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
7. さまざまなソフトウェアプログラムを使用したカラーアシスタンスの手順については、お使いのプリンタモデルに応じて <http://www.hp.com/go/Z6600/support/>または <http://www.hp.com/go/Z6800/support/>で HP Knowledge Center 参照してください(このコンテンツは英語でのみ提供されています)。

問題が解決しない場合は、日本 HP Customer Care センターにお問い合わせください。[183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)を参照してください。

PANTONE* 色が正確に再現されない

[108 ページの HP プロフェッショナル PANTONE* エミュレーション](#)を参照してください。

他の HP DesignJet と色が一致しない


異なる 2 機種プリンタ (HP DesignJet Z6810 シリーズプリンタと HP DesignJet 5500 シリーズプリンタなど) でイメージを印刷した場合、2 つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。ここでは、特定のプリンタを別のプリンタで一致させる方法を説明します。

PostScript ドライバで印刷する

PostScript ドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。以下の例では、HP DesignJet Z6810 シリーズプリンタおよび HP DesignJet 5500 シリーズプリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。[140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタドライバがインストールされていることを確認します。HP 製プリンタの最新のプリンタドライバを、<http://www.hp.com/go/Z6800/drivers/>からダウンロードします。


3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。 HP DesignJet Z6810 のフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【プリンタの設定】-【カラー キャリブレーション】-【オン】を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. イメージを HP DesignJet 5500 で印刷するには、通常の設定を使用します。
7. 同じイメージを、今度は HP DesignJet Z6810 で印刷する準備を行います。

ソフトウェアで、イメージのカラー スペースを設定し、HP DesignJet 5500 とそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。 ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーションカラー スペース (CMYK カラー スペース) に変換されている必要があります。 変換方法の詳細については、ソフトウェアプログラムのオンライン ヘルプを参照してください。 このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに 5500 が作成した色が、Z6810 によってエミュレートされます。

8. HP DesignJet Z6810 用 PostScript ドライバで【カラー管理】セクションに移動し、CMYK 入力プロファイルを、ソフトウェアで選択したものと同一 HP DesignJet 5500 のカラー スペース (エミュレーションカラー スペース) に設定します。
9. HP DesignJet Z6810 でイメージを印刷します。



HP-GL/2 ドライバで印刷する

HP-GL/2 ドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 [140 ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。 HP 製プリンタの最新のプリンタ ドライバを、<http://www.hp.com/go/Z6800/drivers/>からダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。 HP DesignJet Z6810 プリンタシリーズのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【プリンタの設定】-【カラー キャリブレーション】-【オン】を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. HP DesignJet Z6810 用 HP-GL/2 ドライバで、【カラー】タブを選択し、カラー マネージメントオプションのリストから【プリンタのエミュレーション】を選択します。 次に、エミュレートされるプリンタのリストから DesignJet 5500 を選択します。
7. HP DesignJet 5500 用 HP-GL/2 ドライバで、【オプション】タブを選択して、【マニュアルカラー】-【カラーコントロール】-【ディスプレイカラー】を選択します。 また、【用紙サイズ】タブを選択して、【用紙の種類】を選択します。

同一の HP-GL/2 ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされた HP-GL/2 ドライバを使用して HP-GL/2 ファイル (PLT ファイルとも呼ばれます) を生成し、生成したファイルを別のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 [140ページのプリンタファームウェアのアップデート](#)を参照してください。
2. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。 HP DesignJet Z6810 のフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に【プリンタの設定】-【カラー キャリブレーション】-【オン】を選択します。
3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
4. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
5. HP DesignJet 5500 用に生成した HP-GL/2 ファイルを、HP DesignJet Z6810 で印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。
 - 埋め込み Web サーバを使用する場合： カラー オプションを【デフォルト】のままにします。
 - フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に【印刷設定】-【カラー オプション】-【プリンタのエミュレート】-【HP DesignJet 5500 シリーズ】を選択します。


その他の HP DesignJet プリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれの HP-GL/2 ドライバを使用して印刷したときと一致するように (選択できる場合は sRGB に)、両方のプリンタを設定します。

まったく印刷されない

フロントパネルのグラフィック言語が【自動】(デフォルト) に設定されている場合は、他の設定を試してみます。たとえば、PostScript ファイルでは【PostScript】、HP-GL/2 ファイルでは【HP-GL/2】などです。次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を【自動】に再設定します。

一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に【キャンセル】を押した場合、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- 【I/O タイムアウト】設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。フロントパネルで接続アイコン  を選択し、【詳細設定】-【I/O タイムアウトの選択】を選択して【I/O タイムアウト】の設定値を大きくしてから、もう一度印刷を行います。
- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。ネットワークケーブルを確認します。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページサイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワークソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで説明されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューするこ

とにより、この問題を印刷前に確認することができます。[86 ページの印刷をプレビューする](#)を参照してください。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。

印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン

- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域（「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます）を確認します。たとえば、ソフトウェアプログラムによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用してみてください。[84 ページのマージン オプションを選択する](#)を参照してください。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]**を使用することによって正常に印刷できることがあります。[84 ページのマージン オプションを選択する](#)を参照してください。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にびったり収まるようにします。


イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAW などのプログラムは、16 ビットの内部座標系を使用するため、32,768 ピクセルを超えるイメージを処理できません。これより大きいイメージを印刷しようとすると、イメージの下部が印刷されません。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- HP-GL/2 ドライバを使用している場合、イメージが 32,768 ピクセル以下になるように解像度を下げることができます。Windows ドライバのダイアログには、**[アプリケーションの最大解像度]**が含まれており、解像度が自動的に下げられます。このオプションは、**[詳細設定]** タブで **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** の下に表示されます。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のプログラムで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。

イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される


- ソフトウェアで選択したページサイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

イメージが誤った向きに回転される


フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[印刷設定]** - **[用紙オプション]** - **[回転]** を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。

PostScript 以外のファイル：**[ネスティング]** が **[オン]** の場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。[89 ページの用紙を節約するためにジョブをネスティングする](#)を参照してください。


イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [印刷設定]-[用紙オプション]-[左右反転の有効化] を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。



印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク (またはコンピュータ) に接続しているインタフェースケーブルに問題が発生した可能性があります。ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [印刷設定]-[グラフィック言語の選択] を選択します。言語の設定が [自動] (デフォルト) でない場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScript ファイルでは [PostScript]、HP-GL/2 ファイルでは [HP-GL/2] などです。次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、および RIP によっては、この問題を解決する独自の方法があります。詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

同じ印刷上でイメージが別のイメージと重なる

[I/O タイムアウト] の設定が長すぎる可能性があります。フロントパネルでこの設定を短くして、もう一度印刷してください。接続アイコン 、[詳細設定]-[I/O タイムアウトの選択] の順に選択します。

ペンの設定が適用されない

-  アイコンを選択してから [印刷設定]-[HP-GL/2]-[パレットの定義] を選択して、フロントパネルの設定を変更しましたが、このパレットは [印刷設定]-[HP-GL/2]-[パレットの選択] で選択されていません。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にするには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷設定]-[HP-GL/2]-[パレットの選択]-[ソフトウェア] を選択します。

イメージに木目が現れる (エアロワーム)



エアロワームは、波打っている水平方向の帯状のムラで、空気により引き起こされる DPE (ドット配置エラー) です。場合によっては、エアロワームによってイメージに木目が現れます。低品質および高速で設定された印刷ジョブで最も一般的に発生します。カスタム印刷品質設定が [高品質] に設定されていると、発生しません。

エアロワームを解消するには、より高い画質印刷設定を選択します。 [81 ページの印刷品質の選択](#) を参照してください。

正方形が正方形でない

薄手の用紙では、印刷されたイメージの片側が反対側よりも大きくなる場合があります。この問題を避けるには、選択した用紙のプリセットで真空レベルを最低の設定まで下げることをお勧めします。

真空レベルは、HP DesignJet Utility の [Color Center] - [用紙プリセット管理] - [印刷プロパティの変更] - [真空レベル] で変更できます。

塗りつぶし領域の端で色がずれる

幅の広い印刷されていない領域の端で、色が違って見えます。また、この領域が薄い色で塗りつぶされている場合には、色が一貫していない場合もあります。

この問題を抑えるには、以下を試みてください。

- 画像を 90 度または 180 度回転させます。
- 高速モードと通常モードで印刷します。
- 単方向モードで印刷します。
- イメージの端にカラーバーを追加します。
- プリンターの右側近くで印刷します。
- より多くのサービスをもつ特殊用紙のプリセットを使用します。普通紙、コート紙、厚手コート紙、スーパー厚手コート紙、および高光沢/半光沢フォト用紙用の新しいプリセットがあります。EWS の [設定] タブを開き、[用紙管理] オプション、[用紙の表示/非表示] タブを選択します。メディアの非表示リストから、使用するメディアを表示リストに移動して選択し、[適用] ボタンをクリックします。

14 トラブルシューティング (用紙)

- [用紙が正しく取り付けられない](#)
- [用紙が詰まっている](#)
- [印刷物がスタッカに正しくスタックされない](#)
- [自動用紙カッターが機能しない](#)
- [巻き取りリールの紙詰まり](#)
- [巻き取りリールで巻き取ることができない](#)

用紙が正しく取り付けられない

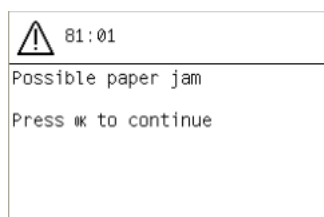
用紙を正しく取り付けられない場合は、以下の点を確認してください。

- 用紙が、斜めまたは間違った位置に取り付けられている可能性があります。用紙の右端が、プラテンの右端にある半円に揃えられているかどうかを確認してください。また、先端がプラテンの金属バーに揃えられているかどうかを確認してください。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- プラテンへの用紙経路の紙詰まりは、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れていることが原因の場合があります。用紙の先端の 2cm (1 インチ) を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 用紙の取り付けで問題が発生し、何回かやり直してもフロントパネルに **青い線に合わせてください** が継続して表示される場合は、前に向かって用紙を 50 センチほど引き出し、青い線に合わせて巻き戻すと、用紙が自動的に合わせられます。

用紙が詰まっている

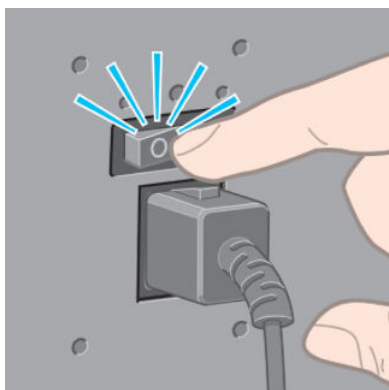
紙詰まりが発生した場合、通常は「紙詰まりの可能性あります」というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次の 2 つのエラーコードのいずれかが表示されます。

- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッドキャリッジが左右に移動できません。



プリントヘッドの給紙経路を確認する

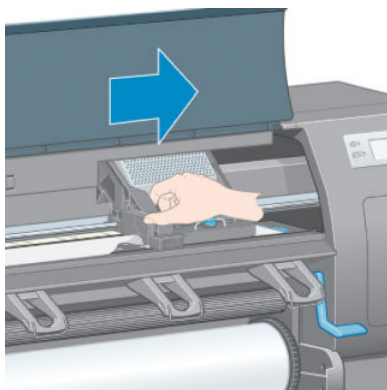
1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。



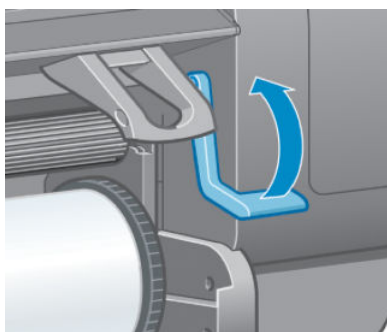
2. プリンタのウィンドウを開きます。



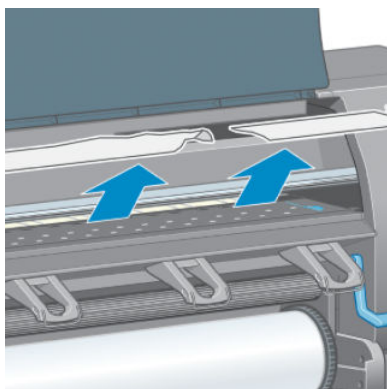
3. プリントヘッドキャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



4. 用紙取り付けレバーを上がるまで持ち上げます。



5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。



6. 残りのロール紙をプリンタから慎重に引き出します。

7. プリンタの電源を入れます。

8. ロールを再取り付けします。 [33 ページのロールをプリンタに取り付ける](#)を参照してください。
9. さらにプリンタ内に障害の原因となる用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができます。
10. 素材詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。 [69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

用紙経路を確認する

- この問題は、ロールが終了したときに、ロールの端がボール紙のコアに張り付いている場合に発生する可能性があります。この場合は、ロールの終端をコアから切り取ってください。次に、プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の[166 ページのプリントヘッドの給紙経路を確認する](#)の手順に従います。

印刷物がスタッカに正しくスタックされない

- 用紙は端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタッカに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

自動用紙カッターが機能しない

自動用紙カッターは、巻き取りリールを使用する場合、および一部の厚手の用紙の種類で印刷する場合は無効になっています。

巻き取りリールの紙詰まり

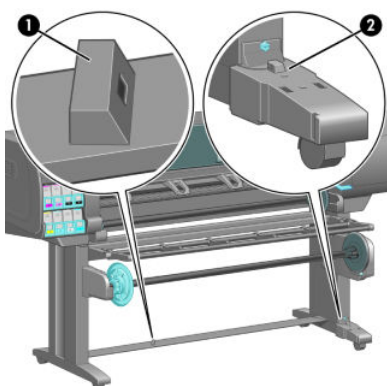
用紙が巻き取りリールスピンドルの芯でひどく破損している場合、プリンタのカッターを使用して用紙をカットしたり取り除いたりしないでください。代わりに、用紙を可能な限りウィンドウに近づけて手動でカットし、次に、ロール紙を取り外します。 [34 ページのプリンタからロールを取り外す](#)を参照してください。

巻き取りリールで巻き取ることができない

巻き取りリールで期待した通りに巻き取ることができないと、印刷物が床の上に出力されてしまう場合があります。プリンタは、巻き取りリールの問題を認識すると、問題が解決されるまで印刷ジョブを中断します。プリンタが問題を認識しない場合、ジョブの印刷が続行されます。考えられる問題と解決策を以下の表に示します。

巻き取りリールのLEDステータス	問題	印刷ジョブが中断された？	考えられる原因	考えられる解決策
遅く点滅	巻き取りリールが巻き取っていない	はい	センサービームが3秒以上遮られた。	巻き取りリールセンサーが、紙や用紙収集スタッカなどで遮られていないことを確認してください。下の図を参照して、用紙収集スタッカがフットプレースの後ろに置かれていることを確認します。 また、巻き取りリールの電源スイッチが[オン]の位置にあることを確認します。
遅く点滅	巻き取りリールが巻き取っていない	いいえ	センサーケーブルがたるんでいるか、抜けている。	センサーケーブルが正しく接続されていることを確認します。
赤色に点灯	巻き取りリールが巻き取っていない	いいえ	巻き取りリールモーターに、負荷がかかりすぎている。	用紙が極端にきつく巻かれていないことを確認します。管状の芯は、 35ページの巻き取りリールを使用するの手順10 で示されているように挿入して垂れ下がるようにしてください。
緑色に点灯	巻き取りリールが巻き取っていない	いいえ	巻き取りリールの電源スイッチが[オフ]の位置にある。	巻き取りリールの電源スイッチが[オン]の位置にあることを確認します。
緑色に点灯	巻き取りリールが間違った方向で巻き取っている	いいえ	巻き取りリールの巻き取り方向スイッチが間違った巻き取り位置にある。 3秒後、プリンタで問題が認識され、印刷ジョブが中断されます。この表にリストされている最初のエラーを参照してください。	巻き取りリールの巻き取り方向スイッチを正しい位置にカチッと入れてください

以下の図に、巻き取りリールセンサーとケーブルを示します。



1. 巻き取りリールセンサー
2. 巻き取りリールセンサーとケーブル格納ユニット

15 インクシステムに関するトラブルシューティング

- [インクカートリッジを挿入できない](#)
- [プリントヘッドが挿入できない](#)
- [メンテナンスカートリッジを挿入できない](#)
- [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直すか交換するようにメッセージが表示される](#)
- [プリントヘッドのクリーニング](#)
- [プリントヘッドの軸合わせ](#)

インクカートリッジを挿入できない

1. 正しいカートリッジ(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジが国/地域に適していることを確認します(国/地域は、カートリッジラベルの773の後の文字によって示されています)。
3. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. カートリッジの向きが正しいかどうか、インクカートリッジの正面の矢印が上を向いているかどうかを確認します。

⚠注意：インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

プリントヘッドが挿入できない

1. 正しいプリントヘッド(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドから、保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. プrintヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プrintヘッドの向きが正しいかどうかを(他のPrintヘッドと比較して)確認します。
5. プrintヘッドのカバーが閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

メンテナンスカートリッジを挿入できない

保守カートリッジの種類が正しく、向きが正しいかどうかを確認します。


フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直すか交換するようにメッセージが表示される

1. プrintヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プrintヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行います。[66 ページのプリントヘッドの電極をクリーニングする](#)を参照してください。
3. プrintヘッドをキャリッジに再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいPrintヘッドを挿入します。


プリントヘッドのクリーニング


プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的にPrintヘッドの自動クリーニングが実行されます。ただし、印刷品質の低下が見られ、他の方法では問題を解決できない場合は、Printヘッドをクリーニングする必要があります。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止できます。

Printヘッドのステータスプロット印刷すると、問題のあるカラーが判断できます。十分に機能していないPrintヘッドを2個1組選択します。クリーニングするPrintヘッドが不明な場合は、すべてのPrintヘッドをクリーニングします。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで  アイコンを選択し、**[プリントヘッドのクリーニング]**を選択してから、クリーニング対象のプリントヘッドを選択します。すべてのプリントヘッドまたは一部のプリントヘッドをクリーニングできます。

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5分ほどかかります。2つのプリントヘッドをクリーニングするには、3分ほどかかります。

 **注記：**すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。


 **注記：**プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、または、長期間の保管後に印刷した際カラーに一貫性がない場合、ジョブを印刷する前にプリントヘッドからインクを除去することをお勧めします。プリントヘッドからインクを除去すると、色調を最大にそろえることができます。ただし、プリントヘッドの状態に問題がある場合には**解決策にはなりません**。


プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

カスタム用紙を使用して紙が詰まった場合、または色が正確に再現されない場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[69 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

 **注記：**紙詰まりが発生した場合は、プリントヘッドを取り付け直してから軸合わせ処理を行います。

 **ヒント：**印刷に使用するのと同じ用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行います。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙を使用することもできますが、最低限の結果しか得られません。


 **警告！**半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

プリントヘッドを再度取り付ける手順


1. プリントヘッドの軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの**[キャンセル]**ボタンを押してください。

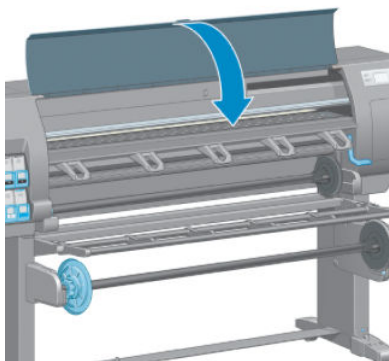
 **注意：**プリントヘッドの軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。

2. 使用する用紙を取り付けます。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。


 **警告！**半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。[61 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[63 ページのプリントヘッドを取り付ける](#)を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

 **注記：**プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。





4. この処理には 10 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。


 **注記：**プリントヘッドの軸合わせ処理中に、キャリブレーションイメージが印刷されます。処理中にエラーがある場合は、フロントパネルに表示されます。

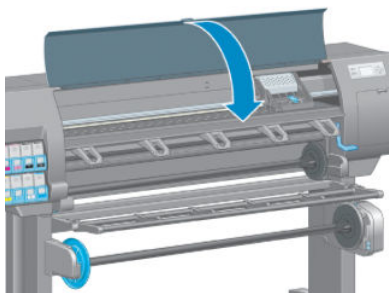
[イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます。最高の品質を得るには、フォト用紙をお勧めします。普通紙、ボンド紙、薄手のコート紙を使用することもできますが、最低限の結果しか得られません。

 **警告！**半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンパス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

2. フロントパネルで  アイコンを選択し、次に【**プリントヘッドの軸合わせ**】を選択します。プリンタはプリントヘッドの軸合わせを行うのに十分な用紙があるかどうか確認します。
3. 取り付けた用紙がプリントヘッドの軸合わせを行う上で許容範囲内ならば、プリンタは軸合わせを行い、軸合わせパターンを印刷します。

 **注記：**プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。



4. この処理には 10 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャンエラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合は、**スキャンの問題**に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因は以下のシナリオのいずれかになります。

- プリントヘッドの軸合わせ処理で使用した用紙が許容範囲外だった場合。推奨する用紙の種類の内いずれかを使用して、軸合わせ処理を繰り返します。
- プリントヘッドが汚れている場合。プリントヘッドをクリーニングしてください。[172 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照してください。
- プリントヘッドの軸合わせの処理中にプリンタのウィンドウが開いた場合。ウィンドウを閉じて、軸合わせ処理を繰り返します。

推奨する以下の解決方法を行っても問題が解消されない場合、すべてのプリントヘッドを交換してください。プリントヘッドを交換しても問題が解消されない場合、スキャニングシステムに問題がある可能性があります。

16 その他のトラブルシューティング

- [プリンタが印刷しない](#)
- [印刷ジョブの生成中にソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止する](#)
- [プリンタの印刷が遅い](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [\[メモリ不足\] エラーメッセージ](#)
- [プラテンローラーからきしみ音がする](#)
- [HP DesignJet Utility にアクセスできない](#)
- [プレビュー待ちのとき、印刷ジョブがキャンセルおよび削除される](#)
- [プリンタアラート](#)

プリンタが印刷しない

コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合の理由には、以下が含まれます。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルが反応しない場合、電源ケーブルが正しく取り付けられていること、および電源ソケットが動作していることを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している可能性があります。このような現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **[電源]** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、日本 HP Customer Care センターにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が間違っている可能性があります。
- 正しいプリンタドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。
- 用紙に関する以下のいずれかのシナリオが存在している可能性があります。
 - プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されていない。
 - ロール紙に、ジョブ全体が印刷できるだけの十分な用紙がセットされていない。

このような場合は、あるジョブが印刷される一方、別のジョブが印刷キューで一時停止の状態になります。この問題を解決するには、プリンタからロール紙を取り外し、フロントパネルに表示される処理手順に従って、新しいロール紙をセットします。

- ネスティングが **[オン]** になっているため、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- プリンタドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。このような場合は、Web ブラウザにプレビューが表示されます。

印刷ジョブの生成中にソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止する

高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があります。これが原因で、ソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止します。印刷解像度を下げることでこのようなシナリオを回避できますが、印刷解像度を下げると印刷品質が低下します。

Windows HP-GL/2 ドライバで、**[詳細設定]** タブを選択し、次に **[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]** を選択して、**[アプリケーションの最大解像度]** を **[300]** に設定します。

プリンタの印刷が遅い

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- 印刷品質を **[高品質]** に設定している場合。印刷品質が **[高品質]** に設定されたイメージの印刷には、より多くの時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されているかどうか確認してください。
- プリンタがネットワークに接続されていますか？ ネットワーク上のすべてのコンポーネント（ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル）が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。

- 乾燥時間を[長い]に設定している場合。乾燥時間を[自動]に変更してみてください。[45 ページの乾燥時間を変更する](#)を参照してください。
- プリントヘッドの状態は良いですか？ プリントヘッドのクリーニングが必要な場合、印刷時間が長くなる可能性があります。フロントパネルまたは内蔵 Web サーバでプリントヘッドのステータスを確認してください。必要に応じてプリントヘッドをクリーニングするか交換します。
- イメージにインク濃度の高い黒い塗りつぶしがある場合。インク濃度の高い黒い塗りつぶしがあると、印刷時間が長くなる場合があります。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。



- プリンタに画像を送信しても、フロントパネルのディスプレイに[受信中]というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラーメッセージが表示される。
- データ送信時に、コンピュータまたはプリンタが停止する。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。

- ソフトウェアプログラムで、正しいプリンタが選択されていることを確認します。
- 別のソフトウェアプログラムを使用して、そのプリンタが正常に動作することを確認します。
- 大きな画像の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチボックス、バッファボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェースケーブルを別のものに変えて試してみます。[14 ページの使用する接続方法を選択する](#)を参照してください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず[18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)をお読みください。

1. フロントパネルで接続アイコン  を選択し、次に[詳細設定]-[埋め込み Web サーバ]-[埋め込み Web サーバを使用]-[オン]を選択します。
2. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、フロントパネルに移動し、接続アイコン  を選択します。
3. 使用している接続の種類を選択します。
4. [情報の表示]を選択します。
5. 次の情報が表示されます。[IP 有効：はい]。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

それでもまだ埋め込み Web サーバにアクセスできない場合は、フロントパネルの **[電源]** ボタンでプリンタの電源をいったん切ってから、もう一度入れ直してください。


内蔵 Web サーバへのアクセスに非常に時間がかかる場合は、プロキシサーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、**[ツール]** > **[インターネット オプション]** > **[接続]** > **[LAN の設定]** をクリックし、**[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない]** チェックボックスをオンにします。または、**[詳細設定]** ボタンをクリックして、**[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない]** の一覧にプリンタの IP アドレスを追加することもできます。
- MAC OS X で Safari を使用している場合は、**[Safari]** - **[環境設定]** - **[詳細]** を選択し、**プロキシ:** をクリックします。**[設定の変更]** ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を **[プロキシ設定を使用しないホストとドメイン]** の一覧に追加します。

[メモリ不足] エラー メッセージ

コンピュータでのファイルサイズと、そのファイルの印刷に必要なメモリ量には、直接の関係はありません。実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、ジョブの印刷に必要なメモリ量を推定することは困難です。より大きなジョブの印刷を過去に行ったことがある場合でも、プリンタに搭載されているメモリでは特定のジョブを印刷するのに十分ではない可能性があります。プリンタにメモリを追加することが、1つの解決策になります。

Windows HP-GL/2 ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、**[詳細設定]** タブを選択し、次に **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** - **[ビットマップ形式でジョブを送信する]** を選択します。



 **注記:** このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

プラテンローラーからきしみ音がする

プラテンローラーからきしみ音がする場合は、HP サポートに連絡してください。 http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html

HP DesignJet Utility にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず [19 ページの HP DesignJet Utility へのアクセス](#) をお読みください。

1. フロントパネルで接続アイコン  を選択し、次に **[詳細設定]** - **[Web サービス]** - **[HP DesignJet Utility ソフトウェア]** - **[有効化]** を選択します。
2. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、フロントパネルに移動し、接続アイコン  を再び選択します。
3. 使用している接続の種類を選択します。
4. **[情報の表示]** を選択します。

それでもまだ接続できない場合は、フロントパネルの **[電源]** ボタンを使用してプリンタの電源を切ってから、入れ直してください。

プレビュー待ちのとき、印刷ジョブがキャンセルおよび削除される

このプリンタでは、最大 64 ページまでプレビューが保存されます。プレビューするために選択したジョブに 64 ページを超えるページが含まれている場合、65 ページ目の処理がプリンタで開始されると、予告なしにジョブがキャンセルおよび削除されます。65 ページ以上のジョブをプレビューする場合、65 ページ目の処理がプリンタで開始される前に**【続ける】**ボタンを押します。プレビューイメージは最初のページが処理されるとすぐに準備されるため、プレビューイメージの確認には十分な時間が必要です。

プリンタアラート


このプリンタは、次の 2 種類のアラートを発信します。

- **【エラー】**:主に、プリンタが印刷できないという事実を警告します。ただし、ドライバの場合は、プリンタが印刷できない場合にもクリッピングなどの印刷を損なう可能性のある状態もエラーで警告する可能性があります。
- **【警告】**: キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には 4 つの異なるアラート コミュニケータがあります。

- **フロントパネルディスプレイ** : フロントパネルには、関連性が最も高い警告のみが表示されます。通常は、ユーザが確認して **【OK】** ボタンを押す必要がありますが、警告の場合は、タイムアウト後に表示されなくなります。プリンタがアイドル状態になる場合や、より重大な警告がない場合は、「カートリッジのインク残量が少なくなっています」など、常時表示される警告が再表示されます。
- **内蔵 Web サーバ** : 内蔵 Web サーバのウィンドウの右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告内容がステータスに表示されます。
- **ドライバ** : ドライバからアラートが表示されます。最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されます。
- **HP DesignJet Utility**: アラートを表示するには、**【概要】** タブに移動して、右側に **【要注意の項目】** リストを確認します。

デフォルトでは、印刷中に問題が発生した場合のみアラートが表示されます。たとえば、カートリッジの残りが少なくなった、インクがなくなった、プリンタの用紙がなくなったなどの場合です。アラートが有効になっていて、印刷を妨げる問題がある場合は、プリンタが印刷できない理由を説明するポップアップウィンドウが表示されます。必要な結果を得るには、指示に従って操作します。

 **注記**: 双方向通信をサポートしない環境があります。このような場合は、アラートはジョブの所有者に届きません。

17 HP カスタマー・ケア

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナルサービス](#)
- [HP Instant Support](#)
- [HP プロアクティブサポート](#)
- [カスタマーセルフリペア](#)
- [HP のサポートに問い合わせる](#)

はじめに

HP Customer Care は、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP DesignJet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識をもち、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。

HP Customer Care の詳細については、<http://www.hp.com/go/graphicarts/>をご覧ください。または電話でお問い合わせください([186 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照)。

保証を登録するには、<http://register.hp.com/>をご覧ください。

HP プロフェッショナルサービス

Knowledge Center

HP は専用のサービスとリソースを取り揃えており、HP DesignJet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスが得られます。

Knowledge Center の HP コミュニティは、大判印刷に携わる方々のコミュニティです。ご登録いただくと、以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード - 製品の最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート - オンラインのトラブルシューティング、HP Customer Care へのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフロー - および詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です。
- 最新の製品情報 - 製品、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライセンター

Knowledge Center は、製品に応じて、以下の場所で参照できます。

- <http://www.hp.com/go/Z6610/support/>
- <http://www.hp.com/go/Z6810/support/>

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えて製品の保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモートサポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイトサービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内(一部の国ではご利用いただけません)

HP Care Packの詳細は、弊社 Web サイト (<http://www.hp.com/go/printservices/>) をご覧ください。

HP インストール

HP インストール サービスは、お客様に代わって製品の開梱、セットアップ、および接続を行います。

これは、HP Care Pack サービスの一部です。詳しくは、<http://www.hp.com/go/printservices/>を参照してください。

HP Instant Support

HP Instant Support プロフェッショナル エディションは、製品から診断情報を収集し、HP のナレッジベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HP のトラブルシューティング用のツールです。

HP Instant Support のセッションを開始するには、製品の内蔵 Web サーバの[トラブルシューティング]ページに表示されるリンクをクリックします。[18 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照してください。

HP Instant Support を利用できるようにするには：

- 製品の接続方法が TCP/IP を使用したものであること。HP Instant Support は、内蔵 Web サーバからのみアクセス可能です。
- Web にアクセスできること。HP Instant Support は、Web ベースのサービスです。

HP Instant Support は現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HP Instant Support の詳細については、<http://www.hp.com/go/ispe/>をご覧ください。

HP プロアクティブ サポート

HP Proactive Support では、お客様に問題が発生する前に製品の問題を先制的に特定、診断、および解決することによって、製品のダウンタイムにかかる費用を削減することができます。HP プロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HP のイメージおよび印刷スイートサービスのコンポーネントである Proactive Support を利用すると、投資価値の最大化、製品アップタイムの増加、製品管理コストの削減に明確な焦点を置いて、印刷環境を制御することができます。

HP では、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

Windows では HP DesignJet Utility を、Mac OS X では HP プリンタ モニタをそれぞれ有効化でき、コンピュータと HP の Web サーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度を指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。これらの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- HP DesignJet Utility (Windows) では、**[ツール]**メニュー、**[HP プロアクティブ サポート]**(HP DesignJet Utility 1.0 では利用不可)を選択します。
- HP プリンタ モニタ (Mac OS X) では、**[環境設定]**-**[監視]**-**[HP プロアクティブ サポートの有効化]**を選択します。

プロアクティブサポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。解決方法が自動的に適用される場合があります。問題を解決するための手順を実行するように求められる場合もあります。

カスタマーセルフリペア

HPのカスタマーセルフリペアプログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HPが交換部品をお客様(エンドユーザ)に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様の都合のよいときに部品を交換できます。


便利、簡単に使用できる


- HPのサポート担当者は、不具合のあるハードウェアコンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。
- 交換部品は速達で送られ、多くの在庫部品はHPに連絡したその日に発送されます。
- 現在保証期間中または契約対象になっているほとんどのHP製品にてご利用いただけます。
- ほとんどの国でご利用いただけます。

カスタマーセルフリペアの詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair/>を参照してください。

HPのサポートに問い合わせる

HPサポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェアドライバおよびRIPをインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
 - お使いの製品：製品番号、シリアル番号、およびサービスID(フロントパネルの情報アイコンを使用して確認できます)。
 - 印刷品質のサポートを受ける場合は、問題を示すサンプルを印刷します。
 - フロントパネルにエラーコードが表示される場合は、エラーコードをメモに取り、[207 ページの「フロントパネルのエラーメッセージ」](#)を参照
 - お使いのコンピュータ
 - お使いの特別な機器やソフトウェア(スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェアドライバなど)
 - お使いのケーブル(製品番号)とケーブルの購入場所
 - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
 - [サービス情報の印刷]を印刷しておいてください。サポートセンターからこれらのページのFAX送信をお願いする場合があります。

フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に【サービス情報の印刷】-【上記の全ページの印刷】を選択します。

埋め込み Web サーバを使用する場合：【サポート】タブの【サービス サポート】ページにアクセスして、【プリンタ情報】-【全ページ】を選択します。

電話番号

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。 http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html をご覧ください。

A シナリオ (無人印刷ジョブ)


このシナリオでは、PSP (印刷サービス プロバイダ) が業務終了間際に新たな注文を受注したことを想定しています。この注文は翌日早く納品する必要があります。プリンタは現在印刷を行っており、また、キュー内には翌日までに納品が必要なジョブがあります。最も良い解決方法は、新しいジョブのキューを実行し、無人印刷を行うことです。

以下の情報には、無人印刷を心配することなく行うために必要な作業が記載されています。

タスク 1: デジタルコンテンツの取り扱い

以下の手順に従って、デジタルコンテンツを正しく取り扱います。

1. Adobe Acrobat で PDF ファイルを開きます。
2. フォントや高解像度のイメージなど、ジョブを送信するのに必要なすべての情報があることを確認します。
3. 印刷の向き、マージン、印刷上の体裁、カラーや解像度をチェックして、印刷または仕上がりの不一致がないことを確認します。
4. 小型プリンタで作業のドラフトのコピーを印刷し、校正刷りとして検証します。
5. RIP 用に PDF を生成します。
6. PDF を RIP へ送信します。

 **注記:** 現在の作業量、用紙、およびインク サプライ品で、ジョブが完了し、所定の時間までに納品できることを確認します。

タスク 2: 使用方法 (用紙)

キューになっているすべてのジョブと新しい注文をカバーできるだけの十分な用紙が、ロール紙に残っていることを確認します。十分な用紙が残っていない場合、印刷キューを一時停止し、新しいロール紙をセットします。

用紙の取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 A-1 使用方法 (用紙)

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
用紙の取り外し	34 ページのプリンタからロールを取り外す を参照してください。
用紙の取り付け	31 ページのロールをスピンドルに取り付ける を参照してください。
ロールを巻き取りリールに取り付ける	35 ページのロールを巻き取りリールに取り付ける を参照してください。

表 A-1 使用方法 (用紙) (続き)

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
用紙プリセットを確認する	42 ページの用紙に関する情報を表示する を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
用紙をセットできない	166 ページの用紙が正しく取り付けられない を参照してください。
用紙プリセットが見つからない	44 ページの用紙プリセットのダウンロード および 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。
HP 純正用紙を持っていない	44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する および 27 ページのサポートされている用紙の種類 を参照してください。
用紙が詰まっている	166 ページの用紙が詰まっている を参照してください。
巻き取りリールで紙詰まりが発生している	168 ページの巻き取りリールの紙詰まり を参照してください。
巻き取りリールで巻き取ることができない	168 ページの巻き取りリールで巻き取ることができない を参照してください。

 **注記**：用紙に関する詳細情報は、[25 ページの「使用方法 \(用紙\)」](#)を参照してください。

タスク 3：インクシステムの取り扱い

ご使用のプリントヘッドの状態がよく、キューになっているすべてのジョブを印刷するための十分なインク残量があることを確認してください。インク残量が低すぎる場合、印刷キューを一時停止し、必要に応じてコンポーネントの交換と軸合わせを行います。

インクシステムの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 A-2 インクシステムの取り扱い

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
インクカートリッジ情報を確認する	75 ページのインクカートリッジ情報の表示 を参照してください。
インクカートリッジを取り外す	58 ページのインクカートリッジを取り外す を参照してください。
インクカートリッジを挿入する	60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
プリントヘッド情報を確認する	76 ページのプリントヘッド情報の表示 を参照してください。
プリントヘッドを取り外す	61 ページのプリントヘッドを取り外す を参照してください。
プリントヘッドを取り付ける	63 ページのプリントヘッドを取り付ける を参照してください。
プリントヘッドの軸合わせ	69 ページのプリントヘッドの軸合わせ を参照してください。
保守カートリッジを取り外す	72 ページの保守カートリッジを取り外す を参照してください。
保守カートリッジを取り付ける	74 ページの保守カートリッジを取り付ける を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
埋め込み Web サーバにアクセスできない	179 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない を参照してください。
インクカートリッジを取り付けられない	172 ページのインクカートリッジを挿入できない を参照してください。

表 A-2 インクシステムの取り扱い(続き)

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
プリントヘッドを取り付けられない	172 ページのプリントヘッドが挿入できない を参照してください。
プリンタがプリントヘッドを認識しない	66 ページのプリントヘッドの電極をクリーニングする を参照してください。

 **注記**：インクシステムに関する詳細情報は、[53 ページの「インクシステムの取り扱い」](#)を参照してください。


タスク 4：印刷ジョブの取り扱い

インク消耗品と用紙の残量を確認したら、ジョブをプリンタに送信できます。画面のプレビューで、必要に応じ、用紙の種類、プリントサイズ、部数、およびネスティングの調整を行います。次に、ジョブを RIP キューに移動します。

印刷ジョブの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 A-3 印刷ジョブの取り扱い

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
ジョブを送信する	80 ページの印刷ジョブを作成する を参照してください。
ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する	120 ページのジョブのインクと用紙の使用状況を確認する を参照してください。
ジョブをキャンセルする	116 ページのキューからジョブを削除する を参照してください。
印刷キューを管理する	113 ページの「ジョブキュー管理」 を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
埋め込み Web サーバにアクセスできない	179 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない を参照してください。

 **注記**：印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラーキャリブレーションを実行してみてください。カラーキャリブレーションの詳細については、Z6810 をお使いの場合は [99 ページのカラーキャリブレーション](#)を、Z6610 をお使いの場合は [103 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。

タスク 5：印刷されるイメージの調整


印刷の品質を確認します。印刷されるイメージの調整に関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。


表 A-4 インクシステムの取り扱い

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
印刷品質の選択	81 ページの印刷品質の選択 を参照してください。
用紙サイズの選択	83 ページの用紙サイズの選択 を参照してください。
マージン オプションを選択する	84 ページのマージン オプションを選択する を参照してください。

表 A-4 インクシステムの取り扱い(続き)


タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
印刷を拡大縮小する	85 ページの印刷を拡大縮小する を参照してください。
重なった線の処理方法を変更する	86 ページの重なった線の処理方法を変更する を参照してください。
グレースケールで印刷	89 ページのグレー階調で印刷する を参照してください。
切り取り線を印刷する	87 ページの切り取り線を印刷する を参照してください。
イメージを回転または自動回転させる	87 ページのイメージを回転させる および 88 ページの自動回転 を参照してください。
カラー エミュレーション モードを選択する	109 ページのカラー エミュレーション モード を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
印刷品質に関する問題が発生している	149 ページの「印刷品質の問題のトラブルシューティング」 を参照してください。

 **注記** : 印刷されるイメージの調整に関する詳細情報は、[79 ページの「印刷オプション」](#)を参照してください。

 **注記** : 印刷後に巻き取りリールからロール紙を取り外す操作に関する詳細情報は、[40 ページのロール紙を巻き取りリールから取り外す](#)を参照してください。

B シナリオ (予約なしで入った緊急ジョブ)

このシナリオでは、PSP (印刷サービス プロバイダ) が予約のない緊急な注文を受注したことを想定しています。この注文は 2 時間以内に納品する必要があります。プリンタは現在印刷を行っており、キュー内にはジョブがありますが、印刷優先順位が最も高いのは新しいジョブです。また、新しいジョブの場合、現在プリンタにセットされている用紙とは別の用紙が必要です。


 **注記:** 新しいジョブは、RIP 処理された保管ファイル内にすでにあるデジタルコンテンツのリピートオーダーです

以下の情報には、予約なしで入った緊急なジョブを正しく行うために必要な作業が記載されています。

タスク 1: デジタルコンテンツの取り扱い

以下の手順に従って、デジタルコンテンツを正しく取り扱います。


1. RIP ワークステーションでデジタルコンテンツを見つけます。
2. Adobe Acrobat で PDF ファイルを開きます。
3. フォントや高解像度のイメージなど、ジョブを送信するのに必要なすべての情報があることを確認します。
4. 印刷の向き、マージン、印刷上の体裁、カラーや解像度をチェックして、印刷または仕上がりの不一致がないことを確認します。

 **注記:** 現在の作業量、用紙、およびインク サプライ品で、ジョブが完了し、所定の時間までに納品できることを確認します。

タスク 2: 印刷ジョブの取り扱い

予約なしで入った新しいジョブの緊急性により、印刷キュー内にある現在のジョブを中断する必要があります。以下の手順に従って、印刷ジョブを取り扱います。


1. キューを一時停止します。 [115 ページのジョブ キューの一時停止](#) を参照してください。
2. 新しいジョブをキューの先頭に移動します。
3. 必要に応じ、光沢、用紙の種類、プリントサイズ、部数、およびネスティングについて、新しいジョブの設定を調整します。
4. 現在プリンタにあるジョブは、最後のイメージの完了後、キャンセルします。

 **注記:** キューの再開は、用紙とインク システムの処理を終えた場合にのみ行います。新しいジョブの終了後は、再びキューを一時停止し、キューに残っているジョブが誤った用紙で印刷されないようにしてください。

印刷ジョブの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 B-1 印刷ジョブの取り扱い


タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
ジョブを送信する	80 ページの印刷ジョブを作成する を参照してください。
ジョブをキャンセルする	116 ページのキューからジョブを削除する を参照してください。
印刷キューを管理する	113 ページの「ジョブキュー管理」 を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
埋め込み Web サーバにアクセスできない	179 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない を参照してください。

 **注記：**印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラー キャリブレーションを実行してみてください。カラーキャリブレーションに関する詳細情報は、[\[ref:カラーキャリブレーション\]](#)を参照してください。

タスク 3：使用方法 (用紙)

新しいジョブには、中断したジョブとは異なる用紙が必要です。以下の手順に従って、用紙を取り扱います。

1. プリンタから印刷結果を取り除き、残りのジョブをメモしておきます。
2. 現在セットされている用紙を取り外します。
3. ジョブに必要な正しい用紙を取り付けます。

 **注記：**印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえるには、カラー キャリブレーションを実行してみてください。カラーキャリブレーションの詳細については、Z6810 をお使いの場合は[99 ページのカラーキャリブレーション](#)を、Z6610 をお使いの場合は[103 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。

用紙の取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 B-2 使用方法 (用紙)

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
用紙の取り外し	34 ページのプリンタからロールを取り外す を参照してください。
ロール紙を巻き取りリールから取り外す	40 ページのロール紙を巻き取りリールから取り外す を参照してください。
用紙の取り付け	31 ページのロールをスピンドルに取り付ける を参照してください。
ロールを巻き取りリールに取り付ける	35 ページのロールを巻き取りリールに取り付ける を参照してください。
用紙プリセットを確認する	42 ページの用紙に関する情報を表示する を参照してください。
カラー キャリブレーションを実行する	Z6810 をお使いの場合は 99 ページのカラーキャリブレーション を、Z6610 をお使いの場合は 103 ページのカラーキャリブレーション を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
用紙をセットできない	166 ページの用紙が正しく取り付けられない を参照してください。

表 B-2 使用方法 (用紙) (続き)

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
用紙プリセットが見つからない	44 ページの用紙プリセットのダウンロード および 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。
HP 純正用紙を持っていない	44 ページの HP 純正以外の用紙を使用する および 27 ページのサポートされている用紙の種類 を参照してください。
用紙が詰まっている	166 ページの用紙が詰まっている を参照してください。
巻き取りリールで紙詰まりが発生している	168 ページの巻き取りリールの紙詰まり を参照してください。
巻き取りリールで巻き取ることができない	168 ページの巻き取りリールで巻き取ることができない を参照してください。

 **注記** : 用紙に関する詳細情報は、[25 ページの「使用方法 \(用紙\)」](#)を参照してください。

タスク 4 : インク システムの取り扱い

ご使用のプリントヘッドの状態がよく、キューになっているすべてのジョブを印刷するための十分なインク残量があることを確認してください。インク残量が低すぎる場合、印刷キューを一時停止し、必要に応じてコンポーネントの交換と軸合わせを行います。

インク システムの取り扱いに関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。

表 B-3 インク システムの取り扱い

タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
インクカートリッジ情報を確認する	75 ページのインクカートリッジ情報の表示 を参照してください。
インクカートリッジを取り外す	58 ページのインクカートリッジを取り外す を参照してください。
インクカートリッジを挿入する	60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
プリントヘッド情報を確認する	76 ページのプリントヘッド情報の表示 を参照してください。
プリントヘッドを取り外す	61 ページのプリントヘッドを取り外す を参照してください。
プリントヘッドを取り付ける	63 ページのプリントヘッドを取り付ける を参照してください。
プリントヘッドの軸合わせ	69 ページのプリントヘッドの軸合わせ を参照してください。
保守カートリッジを取り外す	72 ページの保守カートリッジを取り外す を参照してください。
保守カートリッジを取り付ける	74 ページの保守カートリッジを取り付ける を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
埋め込み Web サーバにアクセスできない	179 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない を参照してください。
インクカートリッジを取り付けられない	172 ページのインクカートリッジを挿入できない を参照してください。
プリントヘッドを取り付けられない	172 ページのプリントヘッドが挿入できない を参照してください。
プリンタがプリントヘッドを認識しない	66 ページのプリントヘッドの電極をクリーニングする を参照してください。


 **注記**：インクシステムに関する詳細情報は、[53 ページの「インクシステムの取り扱い」](#)を参照してください。

タスク 5：印刷されるイメージの調整

印刷の品質を確認します。印刷されるイメージの調整に関する情報を素早く見つけるのに役立つため、下の表に、このユーザーズガイドの該当するセクションを示します。


表 B-4 インクシステムの取り扱い


タスク項目	ユーザーズガイド対象セクション
印刷品質の選択	81 ページの印刷品質の選択 を参照してください。
用紙サイズを選択	83 ページの用紙サイズを選択 を参照してください。
マージン オプションを選択する	84 ページのマージン オプションを選択する を参照してください。
印刷を拡大縮小する	85 ページの印刷を拡大縮小する を参照してください。
重なった線の処理方法を変更する	86 ページの重なった線の処理方法を変更する を参照してください。
グレースケールで印刷	89 ページのグレー階調で印刷する を参照してください。
切り取り線を印刷する	87 ページの切り取り線を印刷する を参照してください。
イメージを回転または自動回転させる	87 ページのイメージを回転させる および 88 ページの自動回転 を参照してください。
カラー エミュレーション モードを選択する	109 ページのカラー エミュレーション モード を参照してください。
トラブルシューティング	ガイド対象セクション
印刷品質に関する問題が発生している	149 ページの「印刷品質の問題のトラブルシューティング」 を参照してください。

 **注記**：印刷されるイメージの調整に関する詳細情報は、[79 ページの「印刷オプション」](#)を参照してください。

C フロントパネルメニュー

この付録では、フロントパネルメニューシステムのオプションを一覧表示して、説明します。

 **注記**：ファームウェアのアップデートは、メニューシステムへの変更をもたらす場合があります、その場合、この付録はいくつかの点で古くなります。

フロントパネルメニューのよりグラフィカルで最新の図を印刷するには、フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に[ユーザ情報の印刷]-[メニューマップの印刷]を選択します。

- [用紙メニュー](#)
- [ジョブ管理メニュー](#)
- [インクメニュー](#)
- [セットアップメニュー](#)
- [イメージ品質の保守メニュー](#)
- [接続メニュー](#)
- [印刷メニュー](#)
- [情報メニュー](#)

表の表記のキー

[E]：埋め込み Web サーバでも利用可能

[J]：ジョブキューまたは選択したジョブの状態により異なる

[P]：PostScript/PDF アップグレードでのみ利用可能

用紙メニュー



用紙の取り付け	ロール紙の取り付け
	巻き取りリールの取り付け
	スピンドルの取り付け方法
用紙の取り外し	ロール紙の取り外し
	巻き取りリールの取り外し
用紙情報の表示	
アクティブ な用紙の種類を変更	(select paper category and type (用紙のカテゴリおよび種類の選択))
用紙の種類の一覧	(select paper category and type (用紙のカテゴリおよび種類の選択)) 用紙の詳細を表示
用紙を移動	
巻き取りリール	巻き取りリールの有効化
	情報の表示

[**ロールの取り付け**] および [**巻き取りリールの取り付け**] では、取り付けプロセスの図が表示されます。これらのオプションは、用紙がすでに取り付けられている場合はロックされています。

[**スピンドルの取り付け方法**] ではアニメーションが表示されます。

[**ロールの取り外し**] および [**巻き取りリールの取り外し**] では、取り外しプロセスの図が表示されます。これらのオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

[**取り付けられている用紙の表示**] では、取り付けられている用紙についての情報が表示されます。表示される情報は、ステータス、用紙ベンダー、用紙の種類、幅、長さ、カラーキャリブレーションです。

[**アクティブな用紙の種類の変更**] では、選択可能な用紙の種類の一覧が表示されます。このオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

[**用紙の種類の一覧**] では、カテゴリ別にグループ分けされたインストール済みの用紙の種類の一覧が表示され、それぞれを表示または削除できます。[**用紙の詳細を表示**] では、選択した用紙の種類、カテゴリ、ベンダー、消去可能なステータス、および改訂情報が表示されます。

[**用紙の移動**] では、用紙を前後に移動するための双方向の対話が表示されます。このオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

ジョブ管理メニュー



前回のジョブの再印刷

印刷の一時停止 (または再開)

ジョブキュー

キューは空です [J]

(select job (ジョブの選択)) [J]

情報の表示

続行

キューの先頭に移動する

部数

再印刷

キャンセル

削除

[ジョブキュー]では、ジョブキューのジョブが表示されます。ジョブは印刷後にキューに残ります。

[情報の表示]では、選択したジョブの名前、ステータス、日付、印刷した部数およびページ。

[続行]では、保留になっているジョブを印刷するために排出されます。

[キューの先頭に移動する]では、選択したジョブをキューの先頭に移動し、現在のジョブが終了したらすぐに印刷するようにします。

インクメニュー



インク容量の表示

View printhead status (プリントヘッドのステータスの表示)

インクカートリッジの交換

プリントヘッドの交換

メンテナンスカートリッジの交換

インクアブソバーの交換

インクカートリッジ情報 View (color) ink cartridge ((カラー) インクカートリッジの表示)

プリントヘッド情報 View (colors) printhead ((カラー) プリントヘッドの表示)

メンテナンスカートリッジ詳細情報

保守アブソバーの情報

エンコーダストリップのクリーニング

[インク容量の表示]では、プリンタのすべてのカートリッジのインク容量が表示されます。表示上で点滅しているカートリッジは、インク容量が少なくなっていることを警告しています。

[プリントヘッドのステータスの表示]では、プリンタのすべてのプリントヘッドの保証または状態のステータスが表示されます。プリントヘッドが保証期間中である場合は、「保証」と表示され、それ以外の場合は、状態のステータスが表示されます。

[(カラー) インクカートリッジの表示]では、選択したインクカートリッジに関するカラー、製品名、製品番号、シリアル番号、ステータス、インク残量 (ml)、容量 (ml)、有効期限、メーカー、保証のステータス、およびサポートされているインクカートリッジの情報が表示されます。

[(カラー) プリントヘッドの表示]では、選択したプリントヘッドに関するカラー、製品名、製品番号、シリアル番号、ステータス、噴射したインク量 (ml)、および保証のステータスの情報が表示されます。

[保守カートリッジ情報]では、保守カートリッジに関するステータス、残量 (%) および製品番号。

セットアップメニュー



印刷設定	グラフィック言語の選択 [E]
	印刷品質
	品質レベルの選択
	高精細の有効化
	エコノモードの有効化
	カラー オプション
	カラー/グレースケール
	RGB/ソースプロファイルの選択
	プリンターのエミュレート (Z6810のみ)
	CMYK ソースファイルの選択 [P]
	レンダリング用途の選択 [P]
	黒点の補正 [P]
	HP PANTONE® エミュレーション [P]。PS/PDF アップグレードキットがインストールされている場合にのみ使用できます。
	用紙オプション
	用紙サイズの選択
	上下の余白を削除
	サイズ変更
	回転
	左右反転の有効化
	切り取り線の有効化
	用紙情報の印刷の有効化
	マージン設定
	マージン設定の選択
	マージンレイアウトの選択 [E]
	HP-GL/2 の設定
	パレットの選択
	パレットの定義
	マージの有効化
	PostScript の設定 [P]
	エンコードの選択
	標高の選択
用紙の取り扱い	乾燥時間の選択
	カッターの有効化
ジョブ管理オプション	キューの有効化 [E]
	印刷の開始 [E]
	ネスティングの設定
	ネスティングの有効化 [E]
	待ち時間の選択
	切り取り線の有効化 [E]

		Oversize nested job margin (オーバーサイズのネスティング ジョブのマージン)
	自動回転	
	Max. number of printed jobs (印刷済みのジョブの最大値) [E]	
	ジョブ「リカバリモード」の選択	
	用紙が一致しない場合の動作	
フロントパネルオプション	言語の選択	
	画面コントラストの選択	
	ブザーの有効化	
	単位の選択 [E]	
	日付と時刻オプション	View current device time (現在の日時の表示) [E]
		日付の設定 [E]
		時刻の設定 [E]
		タイムゾーンの設定 [E]
	スリープモードの有効化	
	スリープモード待ち時間	
リセット	エンコーダ「クリーニング」のリセット	
	工場出荷時の設定に戻す	
アクセサリ	他のアクセサリ	その他のアクセサリのインストール

[切り取り線の有効化] は、メニューの **[用紙オプション]** (個々のジョブに適用) と **[ネスティングの設定]** (ネストされたジョブに適用) の 2 か所に表示されます。デフォルト値は、両方の場合に [オフ] です。

[パレットの選択] では、[ソフトウェア]、[パレット A]、[パレット B] および [デフォルト] を選択できます。

[パレットの定義] では、パレット A、パレット B およびデフォルトのパレットを定義できます。これを行うには、0 ~ 15 の間のペンのいずれかを選択します。その後、ペンの幅またはカラーを変更できます。幅は 0.13mm ~ 12.0mm、カラーは 0 ~ 255 まで変更できます。

[手動乾燥時間] では、乾燥時間を 1 ~ 1800 秒まで選択できます。デフォルト値は 100 秒です。

[ネスティングの有効化] では、[オフ]、[通常の順序]、および [最適な順序] を選択できます。ネスティングを有効にするには、**[印刷の開始]** を **[処理後]** に設定する必要があります。

イメージ品質の保守メニュー



印刷品質の最適化	
最適化操作	
カラーキャリブレーション	
プリントヘッドの軸合わせ	
イメージ診断の印刷	
拡張精度キャリブレーション	拡張精度のキャリブレーション
	拡張精度の調整
	拡張精度のリセット
プリントヘッドのクリーニング	すべてのクリーニング
	Clean (colors) ((カラー) のクリーニング)
カラーキャリブレーションの有効化	

接続メニュー



ギガビットイーサネット	情報の表示	
	設定の表示	
	設定の変更	
	工場出荷時の設定に戻す	
Jetdirect EIO	情報の表示	
	設定の表示	
	設定の変更	
	工場出荷時の設定に戻す	
詳細設定	I/O タイムアウトの選択	
	SNMP を使用	
	内蔵 Web サーバ	内蔵 Web サーバを使用
		EWS のアクセスコントロールをリセット
	Web サービス	プリンタユーティリティソフトウェア
		色と用紙の管理
		工場出荷時の設定に戻す

【情報の表示】では、インタフェースがインストールされているかどうか、IP アドレスが有効になっているかどうか、およびこのインタフェースで印刷が有効になっているかどうかが表示されます。MAC アドレスも表示されます。

【設定の表示】には、リンクステータス、IP アドレス、設定モード、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、mDNS サービス名、および MAC アドレス。

【設定の変更】では、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、およびアイドルタイムアウトを変更できます。ホスト名文字列を表示し、IP アドレス設定方法を [BOOTP]、[DHCP]、[Auto IP] および [手動] から選択することもできます。

【プリンタユーティリティソフトウェア】では、HP DesignJet Utility の使用の有効化と無効化を切り替えることができます。

印刷メニュー



デモ印刷	ファインアートの印刷
	モノクロ写真印刷
	カラー写真印刷
	リテール デモ印刷
	GIS マップ印刷
ユーザ情報の印刷	メニュー マップの印刷
	現在の設定の印刷
	使用状況レポートの印刷
	HP-GL/2 パレットの印刷
	PS フォント一覧の印刷 [P]
サービス情報の印刷	ステータス情報の印刷
	プリンタ使用状況の印刷
	イベント ログの印刷
	キャリブレーション状況の印刷
	接続設定の印刷
	上記の全ページの印刷

情報メニュー



プリンタ情報の表示

プリンタ ログ

システム エラー

システムに関する警告

プリントヘッド

インクカートリッジ

[プリンタ情報の表示] では、製品名、製品番号、シリアル番号、サービス ID、言語、メモリ、ディスク容量、およびファームウェアバージョンを含む一般的なプリンタ情報が表示されます。

D フロントパネルのエラーメッセージ

状況によっては、フロントパネルにエラーメッセージが表示されます。その場合は、[推奨]列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストにないエラーメッセージがフロントパネルに表示され、的確な対応が不明な場合は、日本 HP サポートにお問い合わせください。 [183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)を参照してください。

表 D-1 テキストメッセージ

メッセージ	推奨
[カラー]カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。 58 ページのインクカートリッジを取り外す および 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
[カラー]カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
[Color] cartridge is incorrect ([カラー]カートリッジが正しくありません)	国/地域に適したカートリッジを取り付けてください。 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] エラー：取り付けられていません	該当するプリントヘッドを取り付けてください。 63 ページのプリントヘッドを取り付ける を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] エラー：取り外して下さい	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類(カラーおよび番号)の新しいプリントヘッドを取り付けてください。 61 ページのプリントヘッドを取り外す および 63 ページのプリントヘッドを取り付ける を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] エラー：交換して下さい	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。 61 ページのプリントヘッドを取り外す および 63 ページのプリントヘッドを取り付ける を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] エラー：再度取り付け下さい	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 172 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直すか交換するようにメッセージが表示される を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] は保証期間切れです	試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。『 法律情報 』を参照してください。
[カラー]プリントヘッド #[n] での保証に関する警告です	間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。『 法律情報 』を参照してください。
[警告] 内部エラー：印刷ファイルを作成できません	このプリンタには、印刷メニューファイルはありません。内蔵 Web ファイル経由で印刷メニューファイルを読み込んでください。

表 D-1 テキスト メッセージ (続き)

メッセージ	推奨
問題のあるカートリッジ。[カラー]カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 58 ページのインクカートリッジを取り外す および 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
I/O エラー	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。
IO 警告	再試行してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。
PDL エラー: インクシステムの準備ができていません	プリントヘッドをクリーニングしてください。 172 ページのプリントヘッドのクリーニング を参照してください。
PDL エラー: ジョブがクリップされました	イメージが用紙またはプリンタに対して大きすぎます。より大きい用紙を取り付けるか、またはイメージサイズを小さくしてください。
PDL エラー: メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してください。必要に応じて、ジョブが複雑にならないようにしてください。
PDL エラー: 用紙切れ	用紙を追加してください。
PDL エラー: 解析エラー	印刷ジョブがプリンタで解析できません。作成し直して、再送信してください。プリンタの接続を確認してください。
PDL エラー: 印刷モードエラー	用紙の種類またはジョブに対して指定した印刷品質が不適切です。取り付けられている用紙の種類または印刷設定を変更してください。
PDL エラー: 印刷エラー	ジョブをもう一度送信してください。
PDL エラー: 仮想メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してください。必要に応じて、ジョブが複雑にならないようにしてください。
[カラー]カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 58 ページのインクカートリッジを取り外す および 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
[カラー]カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。 58 ページのインクカートリッジを取り外す および 60 ページのインクカートリッジを挿入する を参照してください。
更新: 失敗しました 無効なファイルです。	正しいファームウェアのアップデートファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。

状況によっては、フロントパネルに数字でエラー メッセージが表示されます。その場合は、[推奨]列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストにないエラー メッセージがフロントパネルに表示される場合は、プリンタの電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 [183 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)を参照してください。

表 D-2 数字のエラー メッセージ

エラー コード	推奨
26.n.01 (n には問題のあるインクカートリッジの番号が入ります)	問題のあるインクカートリッジを取り外し、もう一度、プリンタに取り付けます。それでも同じエラーが表示される場合は、問題のインクカートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。

表 D-2 数字のエラー メッセージ(続き)

エラー コード	推奨
29:01	メンテナンスカートリッジが正しく取り付けられていません。プリンタの右側にある保守カートリッジのドアを開け、保守カートリッジが正しく取り付けられていることを確認したら、ドアを閉めます。問題が解決されない場合は、保守カートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。
32:1.01	巻き取りリールでエラーが発生しました。用紙が巻き取りリールのスピンドル芯にしっかり巻きついており、巻き取り方向が正しく設定されていることを確認してください。
32:2.01	巻き取りリールを検出できません。巻き取りリールのセンサーケーブルが正しく接続されていることを確認します。
61:01	<p>ファイル形式がサポートされていません。プリンタがジョブを処理できません。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フロントパネルの [電源] ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを外します。電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 • グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。 21 ページのグラフィック言語の設定を変更する を参照してください。 • プリンタにファイルを再送信します。 • プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。 <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
61:04.1	PostScript フォントが見つかりません。フォントを再度インストールするには、最新のファームウェアリリースをインストールします。 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。
61:04.2	用紙の種類の識別子が認識されません。用紙の種類の識別子を再度インストールするには、最新のファームウェアリリースをインストールします。 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。
61:08	用紙の種類が変更されました。ジョブを再送信してください。
61:08.1	ファイルがパスワード保護されているため、印刷できません。パスワード保護を使用しないでジョブを再送信してください。
61:08.2	ジョブにフォーマットエラーまたは間違っただ設定値が含まれています。ジョブを再送信してください。
63:04	<p>ネットワークカードで入出力エラーが発生しました。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークケーブルがネットワークカードに正しく接続されていることを確認します。 • プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 140 ページのプリンタファームウェアのアップデート を参照してください。 <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
71:03	「メモリ不足」エラーが発生しました。フロントパネルの [電源] ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを外します。電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。
71:08	表示リストメモリが不十分です。次の変更のうち少なくとも1つを実行して、ジョブを再送信します。解像度を 300dpi に下げる、Econofast 印刷モードを選択する、[ビットマップ形式でジョブ送信する] を選択して印刷ジョブの主な処理をプリンタではなくコンピューターで実行する。

表 D-2 数字のエラー メッセージ (続き)

エラーコード	推奨
74:01	<p>ファームウェアアップデートファイルのアップロード中にエラーが発生しました。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルの [電源] ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを外します。電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 もう一度、このファームウェアアップデート ファイルをプリンタにアップロードしてください。 140 ページのプリンタ ファームウェアのアップデート を参照してください。 <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
76:03	<p>ハードディスクがいっぱいです。埋め込み Web サーバを使用して、プリンタのハードディスクから不要なファイルを削除します。</p> <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
77:04	<p>埋め込み Web サーバの内部ソフトウェア エラーが発生しました。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルの [電源] ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを外します。電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 140 ページのプリンタ ファームウェアのアップデート を参照してください。 <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
79	<p>ファームウェア エラー。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルの [電源] ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを外します。電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 140 ページのプリンタ ファームウェアのアップデート を参照してください。 <p>問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>
81:01、81:03、86:01	<p>プリンタのウィンドウを開け、ドライブローラーの動きを妨げるものがないことを確認します。用紙が詰まってドライブローラーの動きが妨げられている場合は、用紙の負荷レバーを持ち上げて、障害を取り除きます。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 183 ページの「HP カスタマー・ケア」 を参照してください。</p>

E プリンタの仕様

- [機能の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [エコロジーに関する仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

機能の仕様

表 E-1 HP インク サプライ

HP 774 プリントヘッド	Z6810: マットブラック/クロマティックレッド、マゼンタ/イエロー、ライトマゼンタ/ライトシアン、フォトブラック/ライトグレー Z6610: マゼンタ/イエロー、フォトブラック/ライトグレー Z6610: マットブラック/シアン
メンテナンスカートリッジ	特定の色に依存せず
HP 771 インクカートリッジ	Z6810: マットブラック、マゼンタ、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、フォトブラック、ライトグレー Z6610: マットブラック、イエロー、ライトシアン、マゼンタ、フォトブラック、ライトグレー
HP 773 インクカートリッジ	Z6810: マットブラック、マゼンタ、イエロー、ライトマゼンタ、シアン、フォトブラック、ライトグレー Z6610: マットブラック、イエロー、ライトシアン、マゼンタ、フォトブラック、ライトグレー
HP 774 インクカートリッジ	Z6810: クロマティックレッド

表 E-2 用紙サイズ

	最小	最大 (42 インチ)	最大 (60 インチ)
幅	610mm	1067 mm	1524 mm
長さ	420mm	外経が最大で 170mm のロール紙	外経が最大で 170mm のロール紙

表 E-3 印刷解像度 (Windows HP-GL/2 ドライバを使用)

印刷品質	フォト用紙での最大解像度	レンダリング解像度	印刷解像度
[高画質]	オン	1200×1200	2400×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性セミグロスフォト用紙、光沢フォト用紙、セミグロス/半光沢フォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)
[高画質]	オフ	600×600	600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性セミグロスフォト用紙、光沢フォト用紙、セミグロス/半光沢フォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)

表 E-3 印刷解像度 (Windows HP-GL/2 ドライバを使用) (続き)

印刷品質	フォト用紙での最大解像度	レンダリング解像度	印刷解像度
[普通]	未定義	600×600	600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性セミグロスフォト用紙、光沢フォト用紙、セミグロス/半光沢フォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)
[高速]	未定義	300×300	600×1200 (普通紙、インクジェット普通紙、HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)

表 E-4 マージン設定

横のマージン	5 mm
上マージン (上端)	5 mm 11.5mm (光沢紙)
下マージン (下端)	5 mm

表 E-5 機構的な精度

気温 23°C (73°F)、相対湿度 50 ~ 60%、HP マットフィルムを使用して A0 サイズを [高品質] または [標準] で印刷した場合、指定ベクトル長±0.1%または±0.1 mm (いずれか大きい方)。

表 E-6 サポートされているグラフィック言語

HP DesignJet Z6610/Z6810	HP-GL/2、CALS G4
PS/PDF アップグレードキットをインストールした HP DesignJet Z6610/Z6810	Adobe Postscript レベル 3、PDF 1.7、TIFF、JPEG

物理的仕様

表 E-7 プリンタの物理的仕様

	42in	60in
重量 (スタンド部を含む)	163kg (359 ポンド) 未満	最大 195kg
幅	1990mm (78.3 インチ) 未満	最大 2450mm
奥行き	最大 700mm (巻き取りリールを除く) 最大 860mm (巻き取りリールを含む)	最大 700mm (巻き取りリールを除く) 最大 860mm (巻き取りリールを含む)
高さ	≈ 1370mm	≈ 1370mm

メモリの仕様

表 E-8 メモリの仕様

Z6610/Z6810 メモリ (DRAM)	1024MB
Z6610ps/Z6810ps メモリ (DRAM)	1536MB
ハードディスク	500GB

電源の仕様

表 E-9 プリンタの電源の仕様

入力電圧	5A で 100 ~ 127V AC (±10%) / 3A で 220~240V AC (±10%)
周波数	50/60Hz (±3Hz)
現在	5A / 3A
使用量	420W (最大)
印刷	270W
使用可能	最大 48W
スリープ	最大 5W
オフ	最大 0.3W

エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合における WEEE および RoHS の指示に準拠しています。


ENERGY STAR および ENERGY STAR のマークは米国の登録商標で、これらの製品モデルが ENERGY STAR® 認証を取得しているかどうかを表しています。次を参照してください。<http://www.hp.com/go/energystar>からインストールパッケージにアクセスします。

プリンタの最新のエコロジー仕様については、<http://www.hp.com/>にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください(US サイト)。

動作環境の仕様

表 E-10 プリンタの動作環境の仕様

最高品質で印刷するための相対湿度範囲	20 – 80% (用紙の種類により変動)
最高品質で印刷するための温度範囲	15 ~ 30°C (59 ~ 86°F) (用紙の種類により変動)
印刷するための温度範囲	5 ~ 40°C (41 ~ 104°F)
動作していないときの温度範囲	-20 ~ +55°C (-4 ~ +131°F)
印刷時の最大高度	3000m

 **注記：** プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で結露し、インク漏れやプリンタエラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも 3 時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

動作音に関する仕様

表 E-11 プリンタの動作音に関する仕様

音圧	
印刷	53dB (A)
待機状態	39 dB (A)
スリープ	39 dB (A)
音響出力	
印刷	7B (A)
待機状態	5.5 B (A)
スリープ	5.5 B (A)

用語集

Bonjour

IETF ゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されています。LAN (ローカルエリアネットワーク) で使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

色の精度

元の画像にできるだけ忠実な色あいを印刷する能力で、色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定の色について色を完全に一致させることができない場合があります。

色の一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じ色を印刷する機能。

カラー モデル

数値でカラーを想定したシステム。そのようなシステムの例として、RGB または CMYK があります。

カラー スペース

各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。例えば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カッター

プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ESD

静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れた時に火花を発生させたり、衣服を張り付かせたりします。制御された静電気には役に立つ利点がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の1つは、静電気放電に敏感なデバイス(プリントヘッドまたはインクカートリッジなど)を扱う前に、製品の接地した箇所(主に金属部分)に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

イーサネット

ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能な色および濃度値の範囲。

HP-GL/2

HP Graphics Language 2 : HP 社が定義するベクトルグラフィック描画用の言語。

I/O

入出力 : デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体である、国際カラーコンソーシアムの略称です。

インクカートリッジ

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

IP アドレス

TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4 組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

Jetdirect

HP 社のプリントサーバシリーズの商品名。直接ローカルエリア ネットワークへ接続することが可能になります。

LED

発光ダイオード：電気的な刺激が与えられると発光する半導体デバイスです。

MAC アドレス

Media Access Control address (メディア アクセス コントロール アドレス)の略。 ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。 IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、 デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

用紙

書くため、または印刷用に作られた薄くて平らな物質。通常は繊維をパルプ化し、乾燥させ、プレスして作られます。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタ ドライバ

生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから 1 つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。

Rendezvous

Apple Computer 社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在は Bonjour と呼ばれます。

スピンドル

印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

索引

記号/数字

16ビットカラー イメージの印刷 86

A

アクセサリ
注文 147
アカウントिंग 120
動作音に関する仕様 216
用紙の種類追加 44
アラート
エラー 181
警告 181
アプリケーションが停止する 178
ArcGIS 132

B

バンディングの問題 43
用紙スタッカ
積み重ねの問題 168
白黒 89
空白のページ 161
ぼやけた線 154
ブザーのオン/オフ 19

C

キャリブレーション
Z6610の色 103
Z6810の色 99
用紙を取り付けられない 166
キャリッジの潤滑 138
用紙送りセンサーの窓をクリーニングする 137
プラテンのクリーニングを行う 136
プリンタをクリーニングする 136
下部の一部が印刷されない 161
一部のイメージ 161

カラー精度
プリンタ間 159
PANTONE 159
カラー調整オプション 107
カラーキャリブレーション 103
Z6810 99
カラーエミュレーションモード 109
カラーマネジメントプロセス
Z6610 102
Z6810 98
カラーマネジメント
オプション 105
カラープロファイリング
Z6610 104
Z6810 100

カラー 94
通信の問題 179
埋め込み Web サーバのコンポーネント 10
プリンタのコンポーネント 4
設定する 20
プリンタを接続する
方法を選択する 14
MAC OS X ネットワーク 15
Windows でのネットワーク接続 14
フロントパネルのコントラスト 20
切り取り線 87
カスタマー・ケア 184
カスタマーセルフリペア 186
カッターが機能しない 168

フロントパネルのコントラスト 20
切り取り線 87
カスタマー・ケア 184
カスタマーセルフリペア 186
カッターが機能しない 168

D

ディスク消去 144
印刷が歪む 163
ガイドの構成 3
用紙プリセットのダウンロード 44
試し印刷 128

試し印刷 82
乾燥時間
キャンセルしています 45
変更 45
概要 27

E

エコロジーに関する仕様 215
節約
インク 91
用紙 89
内蔵 Web サーバ
アクセス 18
アクセスできない 179
インクおよび用紙の使用状況 120
インクシステムのステータス 75
ジョブキュー ジョブのプレビュー 114
ジョブキュー 114
言語 18
メインコンポーネント 10
プリンタの使用状況に関する情報 120
動作環境の仕様 215
ディスクの消去 144

F

プリンタの機能 4
ファームウェアのアップデートでは 140
フロントパネルのエラーメッセージ
すべて 207
フロントパネルのボタン
排紙およびカット 8
用紙のセット 8
印刷の一時停止 8
用紙情報の表示 8
フロントパネルオプション
用紙送りの調整 43

- プリントヘッドの軸合わせ 70, 174
- 内蔵 Web サーバを使用 179
- 自動回転 88
- カラーキャリブレーション 100, 104
- 用紙送りをキャリブレーションする 43
- アクティブな用紙の種類の変更 27
- プリントヘッドのクリーニング 66
- パレットの定義 163
- 用紙情報の印刷の無効化 46
- プリンタのエミュレート 110
- ブザーの有効化 19
- 切り取り線の有効化 87
- マージの有効化 87
- 左右反転の有効化 163
- キューの有効化 115
- 排紙およびカット 46
- インクカートリッジ情報 76
- ジョブキュー 116
- ロールの取り付け 33
- 巻き取りリールの取り付け 35
- 設定の変更 21
- 印刷品質を最適化する 151
- 最適化の提案されるアクション 152
- PANTONE エミュレーション 109
- 印刷の一時停止 115
- イメージ診断の印刷 71
- プリントヘッド情報 76
- 印刷品質 82
- インクアブソーバーの交換 142
- インクカートリッジの交換 58
- 保守カートリッジの交換 73
- プリントヘッドの交換 61
- 再印刷 116
- 用紙送りのリセット 44
- サイズ変更 85
- 回転 88
- 表示の明るさの選択 20
- 乾燥時間の選択 46
- グラフィック言語の選択 21
- I/O タイムアウトの選択 161, 163
- 言語の選択 18
- パレットの選択 163
- 用紙が一致しない場合の動作の選択 23
- 用紙サイズの選択 83
- 単位の選択 20
- 待ち時間の選択 91
- スリープモード待ち時間 19
- ロールの取り外し 34
- 巻き取りリールの取り外し 40
- インク容量の表示 55
- 取り付けられている用紙の表示 42, 43, 99, 103
- 用紙の詳細を表示 45
- プリントヘッドのステータスの表示 57
- 印刷の開始 115
- フロントパネル 8
- コントラスト 20
- 言語 18
- 単位 20
- 前面図
 - 42 インチ プリンタ 5
 - 60 インチ プリンタ 6
- 機能の仕様 212
- G**
- 用語集 217
- 粒状感 156
- グラフィック言語 213
- グレー階調 89
- H**
- ハードディスクの仕様 214
- プレビュー待ち
 - 印刷ジョブがキャンセルおよび削除される 181
- HP Care Pack 184
- HP カスタマー・ケア 184
- HP DesignJet Utility
 - アクセス 19
 - アクセスできない 180
 - 言語 19
 - 主な機能 11
- HP-GL/2 21
- HP インストール 185
- HP Instant Support 185
- HP プロアクティブサポート 185
- HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション 108
- HP サポート 186
- I**
- イメージ診断の印刷 70
- イメージの問題
 - 空白のページ 161
 - 下部の一部が印刷されない 161
 - 一部のイメージ 161
 - 印刷が歪む 163
 - 印刷されないオブジェクト 153
 - 重なっているイメージ 163
 - ペンの設定が無効 163
 - イメージが小さい 162
 - 左右反対のイメージ 163
 - 誤った向きに回転 162
 - 印刷が不鮮明 163
- インクアブソーバー
 - 変更する 141
- インクカートリッジ
 - 詳細 54
 - 挿入できない 172
 - 情報 75
 - 取り付ける 60
 - メンテナンス 139
 - 注文 77
 - 補充 55
 - 取り外し 58
 - 仕様 212
- インクシステムのステータス 75
- インクシステムのヒント 57
- インク
 - 節約して使用 91
 - 使用状況 120
- Instant Support 185
- 印刷メニュー 11
- IP アドレス 18
- J**
- ジョブキュー
 - ジョブの削除 116
 - 内蔵 Web サーバ 114
 - ジョブの確認 115
 - ジョブのプレビュー 内蔵 Web サーバ 114
 - 一時停止 115
 - ジョブの優先順位の変更 116
 - ジョブを再印刷する 116
 - ステータスメッセージ 116
 - オフにする 115
 - 印刷の開始 115
- ジョブステータス 116
- ジョブ
 - 作成 80

- 保存 81
- 送信 80
- K**
- Knowledge Center 184
- L**
- 言語 18
- 線の太さ 152
- 用紙の取り付けの問題 166
- ロール紙をプリンタに取り付ける 33
- ロール紙をスピンドルに取り付ける 31
- キャリッジを潤滑する 138
- プラテンローラーを潤滑する 180
- M**
- メンテナンスカートリッジ
 - 詳細 57
 - 取り付ける 74
 - 取り外し 72
- メンテナンス 139
- マージン 84
 - 仕様 213
- 最大解像度 83
- 機構的な精度 213
- メモリエラー 180
- メモリの仕様 214
- 左右反対のイメージ 163
 - 色がずれる 154
- モデル、製品 2
- プリンタを移動する 139
- N**
- ネスティングの処理をしています 89
- ネットワーク設定 20
- O**
- オン/オフ 12
- 注文
 - アクセサリ 147
 - インクカートリッジ 77
 - 保守カートリッジ 78
 - 用紙 47
 - プリントヘッド 78
- メモリ不足エラー 180
- 重なっているイメージ 163
- 重なった線 86
- シナリオ(無人印刷ジョブ) 189
- P**
- ページサイズ 83
- 用紙送りのキャリブレーション 43
- 紙詰まり 166
 - 巻き取りリール 168
- 用紙が平らになっていない 156
- 用紙プリセット
 - ダウンロードする 44
- 用紙サイズ(最大と最小) 212
- 用紙の種類 44, 47
 - フロントパネルでの表示名 27
 - サポートされている 27
- 用紙
 - 送り 43, 46
 - 取り付けられない 166
 - 情報を表示する 42
 - 節約して使用 89
 - 送ってカット 46
 - 一致しない場合の動作 23
 - 概要 26
 - 一覧 22
 - 用紙情報の印刷 46
 - サイズ 83
 - ヒント 26, 47
 - 使用状況 120
- ペンの設定が無効 163
- Photoshop
 - 印刷 126
 - 画像のサイズ変更 124
- 物理的仕様 213
- 電源の投入/切断 12
- 電源の仕様 215
- 予防保守 139
- 印刷をプレビューする 86
- Photoshop での写真の印刷 126
- プリンタの主なコンポーネント 4
- プリンタの主な機能 4
- プリンタが印刷しない 178
- プリンタサービス
 - 顧客の貢献プログラム 15
- プリンタソフトウェア 9
 - Mac OS X でのアンインストール 15
 - Windows でのネットワークインストール 14
- ファイルの印刷 80
- プリントヘッドクリーナ
 - 挿入できない 172
 - 仕様 212
- プリントヘッドドロップ検出器
 - クリーニング 67
- プリントヘッド
 - 詳細 57
 - 軸合わせ 69, 173
 - 挿入できない 172
 - クリーニング; パージ 172
 - 電極をクリーニングする 66
 - クリーニング 66
 - 情報 76
 - 取り付ける 63
 - 注文 78
 - 修復 66
 - 取り外し 61
 - 取り付け直し 172
 - セーフモード 56
 - 仕様 212
- 用紙情報の印刷 46
- 印刷ジョブ
 - 作成 80
 - インクの使用状況 120
 - ネスティングの処理をしています 89
 - 用紙の使用状況 120
 - 保存 81
 - 送信 80
- 印刷プレビュー 86
- 印刷品質の問題
 - 正方形が正方形でない 164
 - バンディング 155
 - ぼやけた線 154
 - 褐色化する 156
 - 塗りつぶし領域の端で色がずれる 164
 - 色が正確に再現されない 158
 - 一般的 151
 - 粒状感 156
 - 横線 155
 - インクが残る 157
 - 線の太さ 152
 - 色がずれる 154
 - 用紙が平らになっていない 156
 - 汚れる 157
 - 段状の線画 153
 - 印刷上部 158
 - トラブルシューティング用ツール 151
 - ゆがんだ線 155
 - 木目が現れる 163
- 印刷品質
 - 変更 81
- 印刷解像度 212
- Proactive Support 185

製品モデル 2

Q

品質、高い 82

R

背面図

42 インチ プリンタ 6

60 インチ プリンタ 7

インクカートリッジの補充 55

国/地域、選択 55

ジョブを再印刷する 116

印刷を拡大縮小する 85

Photoshop での画像のリサイズ
124

解像度 212

ローラーの潤滑 180

ロール紙

プリンタに取り付ける 33

スピンドルに取り付ける 31

取り外す 34

イメージの回転 87

誤った向きに回転 162

S

安全に関する注意事項 2

印刷を拡大縮小する 85

シナリオ

無人印刷ジョブ 189

予約なしで入った緊急ジョブ
193

安全なディスク消去 144

スリープモード待ち時間 19

印刷が遅い 178

イメージが小さい 162

汚れる 157

ソフトウェア 9

仕様

動作音 216

エコロジー 215

動作環境 215

機能 212

グラフィック言語 213

ハードディスク 214

インク サプライ 212

マージン 213

機構的な精度 213

メモリ 214

用紙サイズ 212

物理的 213

電源 215

印刷解像度 212

分光測光器 97

ローラーからきしみ音がする
180

用紙スタッカでの積み重ねの問題 168

情報

インクカートリッジ 75

プリンタ使用状況 120

ステータス 116

段状の線画 153

保存ジョブ 81

プリンタを保管する 139

ジョブの送信 80

サポートされている用紙 27

サポート サービス

HP Care Pack 184

HP カスタマー・ケア 184

HP Instant Support 185

HP プロアクティブサポート
185

HP サポート 186

Knowledge Center 184

製品のインストール 185

保証期間の延長 184

スイッチのオン/オフ 12

T

巻き取りリール

巻き取ることができない 168

モーター 7

使用 35

電話番号 187

電源のオン/オフ 12

U

印刷が不鮮明 163

プリンタからロール紙を取り外
す 34

シナリオ(予約なしで入った緊急ジ
ョブ) 193

巻き取りリールを使用する 35

W

ゆがんだ線 155

保証期間の延長 184